

令和5年度
本校スクーリングの
しおり・授業概要

Himeji University

目 次

はじめに	1
I. スクーリングとは	1
II. 開講科目	2
1. スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧	2
◆令和5年度以降入学生用／令和4年度1年次入学生・科目等履修生用.....	3
◆令和元・2・3年度入学生用／令和4年度3年次編入学生用	4
◆平成30年度入学生用／平成28・29年度1年次入学生・科目等履修生用	5
◆図書館司書・司書教諭・学芸員	6
III. 開講日程	7
1. スクーリング実施時期	7
2. 授業時間帯	7
3. スクーリング時間割	8
【本校1期】 令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・科目等履修生用...	8
【本校2期】 令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・科目等履修生用...	9
【本校1期】 令和元・2・3年度入学生用／令和4年度3年次編入生用	10
【本校2期】 令和元・2・3年度入学生用／令和4年度3年次編入生用	11
【本校1期】 平成30年度入学生用／平成28・29年度1年次入学生用.....	12
【本校2期】 平成30年度入学生用／平成28・29年度1年次入学生用.....	13
【本校1期】 図書館司書・司書教諭・学芸員用	14
【本校2期】 図書館司書・司書教諭・学芸員用	15
【本校3期～8期】 全入学年度生共通	16
令和5年度本校スクーリング「遠隔授業」対象科目一覧	17

IV. 受講申請の方法	23
① 申請方法 学修サポートサイト (UniVision) による申請	24
1. 受講申請の流れ	24
2. 学修サポートサイト (UniVision) による申請受付期間について	25
② 申請方法 OCR提出による申請	28
1. 受講申請の流れ	28
2. OCR提出による受講申請の受付期間	29
3. OCR提出による受講申請時の提出書類	29
①受講料納入届	29
〔受講料納入届の記入方法〕	30
②スクーリング受講申請票	32
〔スクーリング受講申請票の記入方法〕	33
③ その他提出書類について 学修サポートサイト(UniVision)による申請、OCR提出による申請共通(該当者のみ提出)	35
①健康調査書	35
②上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願	35
③各種申込書	36
a) 諸経費納入整理票(3連続り)	36
b) 旅客運賃割引証交付願(正科生のみ)	36
c) 実習用通学証明書(正科生のみ)	36
V. スクーリングについて	37
1. 受講方法	37
〔正科生に関する留意事項〕	37
〔教員免許取得希望者に関する留意事項〕	37
2. 卒業との関連について	37
3. 受講準備	38
4. 受講にあたっての注意事項	38
5. 受講許可証について	38
6. 単位認定試験について	38
7. 授業時間について	39
8. 気象警報による休講措置について	39

9. 交通費および宿泊費について	40
10. 授業中の心得について	40
11. 結果通知について	40
12. 購入本の準備について	41
13. 欠席届の提出について	42
〔欠席届の提出方法〕	42
14. 「遠隔（オンライン）」スクーリング受講について.....	44
VI. 持参品について	47
VII. 学内生活に関する事項	48
1. 校舎内の出入りについて	48
2. スクーリング中の通学方法について	48
3. 学生証の携帯について	48
4. 図書館の利用について	48
5. 掲示板	49
6. ピアノの使用について	49
7. 健康管理室について	49
8. 体育館について	49
9. 貴重品の取扱いについて	49
10. 食堂・売店について	50
11. 本校スクーリング中の窓口業務の取扱いについて	50
12. 学内での喫煙について	50
13. 健康管理上の注意事項について	50
VIII. 教育(養護)実習事前・事後指導スクーリングについて	51
1. 履修方法	51
2. 教育(養護)実習事前・事後指導スクーリングの流れ	52
3. 「教育(養護)実習事前・事後指導」(事後指導スクーリング)	
開講日程および受講申請受付期間（OCR提出による申請）	52

IX. 教職実践演習のスクーリング開講日程および申請について	53
1. 「教職実践演習」について	53
2. 「教職実践演習」の履修の流れについて	53
3. 「教職実践演習」スクーリング開講日程 および受講申請受付期間（OCR提出による申請）.....	54
4. 実習との関連について	54
5. 修了・卒業との関連について	54
X. 「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」 スクーリング日程及び申請について	55
1. 「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」の 履修の流れについて	55
2. 「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」 「音楽表現(ピアノ)」スクーリング開講日程および受講申請受付期間（OCR提出による申請）	56
3. 「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」の受講申請方法(OCRによる受講申請)	57
4. 「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」の実技試験について	58
令和5年度授業概要について.....	60
XI. 保育教諭について	
1. OCR提出による受講申請受付期間・開講科目及び開講日程について	151
2. 受講申請の方法	152
① 申請方法 学修サポートサイト（UniVision）による申請.....	152
受講申請の流れ.....	152
② 申請方法 OCR提出による申請	153
(1) 受講申請の流れ	153
(2) スクーリング受講申請時の提出書類（OCR提出による受講申請）	154
①スクーリング受講申請票〔スクーリング受講申請票の記入方法〕	154
3. 授業概要について	
「リズム表現」	155
「乳児保育」	156
XII. 会場アクセス	157
XIII. 各種手続き用紙について	165

はじめに

この冊子は、令和5年度に開講する本校スクーリングについて説明したものです。よく理解して間違いや勘違いのないように、実り多いスクーリングとなるよう心がけてください。

なお、スクーリングの申請は、手続期間を厳守していただきます。期間前、期間後の申請は、理由の如何にかかわらず「期間外の申請」となり受付しませんので、あらかじめご了承ください。

また、この「スクーリングのしおり」で理解できない点や問題点が生じた場合は、通信教育事務課へお尋ねください。

I. スクーリングとは

通信教育は、自宅においてテキストで学習をする通信授業と姫路大学に通学して本学の指定する教員による授業を受講する面接授業の「スクーリング」があります。

スクーリングは、1単位7.5コマ（1.5日）と2単位15コマ（3日）の2つの形式で実施されます。（こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）は第1段階、第2段階の2回に分けて開催されます。）

本学では夏期（8月～9月）と春期（2月～3月）を中心に「集中講義」方式で時間割を編成しています。

スクーリングは、教職員ならびに学生相互の交流を通して人格の形成を図るという意図が含まれていますので、単に自宅（宿舎）と大学の往復に終始するのみではなく、授業以外の時間も大いに活用して、自己の研鑽に努める等、実りの多い学園生活を送るよう努力してください。

Ⅱ．開 講 科 目

1. スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

令和5年度に開講するスクーリング科目は、入学年度によるカリキュラムの違いから、科目名や受講可能な科目が異なります。そのため、「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」は入学年度別に記載しておりますので、下記の表を参考に、各自受講可能な科目を確認してください。

《スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧参照ページ一覧》

入 学 年 度	ページ一覧
令和5年度以降入学生 令和4年度入学生（1年次入学生・科目等履修生）	p. 3
令和元・2・3年度入学生 令和4年度入学生（3年次編入学生）	p. 4
平成30年度入学生 平成28・29年度入学生（1年次入学生・科目等履修生）	p. 5
図書館司書・司書教諭・学芸員	p. 6
科目別履修生（保育教諭コース）	p.151

注 意

※「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」に記載のない科目は、受講することができません。

◆スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

【令和5年度以降入学学生用／令和4年度1年次入学生・科目等履修生用】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 面接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
一 年 次 科 目	10010	情報処理技術Ⅰ(基礎)	1.5	7.5	S	7,000	
	10020	スポーツ(実技)	3.0	15.0	S	8,000	
	24096	音楽表現(ピアノ)第1段階	1.0	5.0	S	6,000	
	24096	音楽表現(ピアノ)第2段階	1.0	5.0	S	6,000	
	24097	音楽表現(声楽)	1.5	7.5	S	7,000	
	24098	言語表現	1.5	7.5	S	7,000	
	24100	造形表現	1.5	7.5	S	7,000	
	24101	身体表現	1.5	7.5	S	7,000	
	34008	音楽	1.5	7.5	R・S	7,000	
	34089	図画工作	1.5	7.5	R・S	7,000	
	34094	体育	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	30111	こどもと表現Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	30112	こどもと表現Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	30113	こどもと表現Ⅲ	1.5	7.5	S	7,000	
	50022	看護学Ⅰ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40053	こどもの理解と援助	1.5	7.5	S	7,000	
40058	乳児保育Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
40060	社会的養護Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
一 年 次 科 目	10025	芸術論	1.5	7.5	R・S	7,000	
	10035	外国語総合Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	10036	外国語総合Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	20046	教育心理学	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20090	特別支援演習	1.5	7.5	S	7,000	
	30091	保育内容(環境Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30092	保育内容(健康Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30093	保育内容(人間関係Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	31095	保育内容(言葉)	1.5	7.5	S	7,000	※③
	30099	保育内容(表現)	1.5	7.5	S	7,000	
	30096	保育内容(環境Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30097	保育内容(健康Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30098	保育内容(人間関係Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	50018	養護概説	1.5	7.5	R・S	7,000	
	50023	看護学Ⅱ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40033	こどもの食と栄養	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40059	こどもの健康と安全	1.5	7.5	S	7,000	
	40041	保育実習論Ⅰ ※①	3.0	15.0	S	14,000	事後レポート有
40042	保育実習論Ⅱ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
40043	保育実習論Ⅲ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
三 年 次 科 目	14018	英語コミュニケーションⅡ	1.5	7.5	S	7,000	※③
	20094	国語科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20020	社会科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20021	算数科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20022	理科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20023	生活科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20024	家庭科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20025	音楽科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20026	図工科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20027	体育科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20095	外国語(英語)指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事前指導)	1.5	7.5	S	7,000	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事後指導)	1.0	2.0	S	0	※②
	30088	書写	1.5	7.5	S	7,000	
	54024	看護演習	1.5	7.5	S	7,000	
	40061	子育て支援	1.5	7.5	S	7,000	
四 年 次 科 目	10011	情報処理技術Ⅱ(応用)	1.5	7.5	S	7,000	
	20093	教職実践演習	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20045	教職実践演習(養護)	1.5	7.5	R・S	7,000	

※①…1年次入学生対象科目

※②…事前および事後のレポート提出有。事前指導は受講料7,000円、事後指導は受講料0円です。

※③…入学年度によって履修方法が異なります。必ず入学年度を確認してください。

◆スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

【令和元・2・3年度入学生用／令和4年度3年次編入学生用】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 面接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
一 年 次 科 目	10010	情報処理技術Ⅰ(基礎)	1.5	7.5	S	7,000	
	10020	スポーツ(実技)	3.0	15.0	S	8,000	
	20096	保育の表現技術(ピアノ)第1段階	1.0	5.0	S	6,000	
	20096	保育の表現技術(ピアノ)第2段階	1.0	5.0	S	6,000	
	20097	保育の表現技術(声楽)	1.5	7.5	S	7,000	
	20098	保育の表現技術(言語)	1.5	7.5	S	7,000	
	20100	保育の表現技術(造形)	1.5	7.5	S	7,000	
	20101	保育の表現技術(身体)	1.5	7.5	S	7,000	
	30105	音楽Ⅱ(ピアノ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30106	音楽Ⅲ(声楽)	1.5	7.5	S	7,000	
	30107	音楽Ⅳ(器楽)	1.5	7.5	S	7,000	
	30090	図画工作Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	34094	体育	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	50022	看護学Ⅰ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40053	こどもの理解と援助	1.5	7.5	S	7,000	
	40058	乳児保育Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
40060	社会的養護Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
二 年 次 科 目	10025	芸術論	1.5	7.5	R・S	7,000	
	10035	外国語総合Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	10036	外国語総合Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	20046	教育心理学	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20090	特別支援演習	1.5	7.5	S	7,000	
	30091	保育内容(環境Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30092	保育内容(健康Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30093	保育内容(人間関係Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	31095	保育内容(言葉)	1.5	7.5	S	7,000	※③
	30099	保育内容(表現)	1.5	7.5	S	7,000	
	30096	保育内容(環境Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30097	保育内容(健康Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30098	保育内容(人間関係Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	20099	保育の表現技術(合奏)	1.5	7.5	S	7,000	
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	50018	養護概説	1.5	7.5	R・S	7,000	
	50023	看護学Ⅱ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40033	こどもの食と栄養	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40056	保育総合演習	1.5	7.5	S	7,000	
	40059	こどもの健康と安全	1.5	7.5	S	7,000	
	40041	保育実習論Ⅰ ※①	3.0	15.0	S	14,000	事後レポート有
	40042	保育実習論Ⅱ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有
40043	保育実習論Ⅲ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
三 年 次 科 目	14018	英語コミュニケーションⅡ	1.5	7.5	S	7,000	※③
	20094	国語科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20020	社会科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20021	算数科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20022	理科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20023	生活科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20024	家庭科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20025	音楽科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20026	図工科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20027	体育科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20095	外国語(英語)指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事前指導)	1.5	7.5	S	7,000	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事後指導)	1.0	2.0	S	0	※②
	30088	書写	1.5	7.5	S	7,000	
	50024	看護演習	3.0	15.0	S	14,000	
	40061	子育て支援	1.5	7.5	S	7,000	
	四 年 次 科 目	10011	情報処理技術Ⅱ(応用)	1.5	7.5	S	7,000
20093		教職実践演習	1.5	7.5	R・S	7,000	
20045		教職実践演習(養護)	1.5	7.5	R・S	7,000	

※①…1年次入学生対象科目

※②…事前および事後のレポート提出有。事前指導は受講料7,000円、事後指導は受講料0円です。

※③…入学年度によって履修方法が異なります。必ず入学年度を確認してください。

◆スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

【平成30年度入学生用 / 平成28・29年度1年次入学生・科目等履修生用】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 面接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
一 年 次 科 目	10010	情報処理技術Ⅰ(基礎)	1.5	7.5	S	7,000	
	10020	スポーツ(実技)	3.0	15.0	S	8,000	
	30018	こどもと造形表現Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	30035	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)第1段階	1.0	5.0	S	6,000	
	30035	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)第2段階	1.0	5.0	S	6,000	
	30028	こどもと音楽表現Ⅱ(声楽)	1.5	7.5	S	7,000	
	30031	こどもと体育Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	30094	体育	1.5	7.5	S	7,000	
	30090	図画工作Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	30100	音楽Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	30101	音楽Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	40039	社会的養護内容	1.5	7.5	S	7,000	
	40027	相談援助	1.5	7.5	S	7,000	
	40001	乳幼児保育	1.5	7.5	R・S	7,000	
	50013	看護学演習Ⅰ	1.5	7.5	R・S	7,000	
二 年 次 科 目	20046	教育心理学	1.5	7.5	R・S	7,000	
	30091	保育内容(環境Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30096	保育内容(環境Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30092	保育内容(健康Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30097	保育内容(健康Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30093	保育内容(人間関係Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30098	保育内容(人間関係Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30019	こどもと造形表現Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	30032	こどもと体育Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	30099	保育内容(表現)	1.5	7.5	S	7,000	
	40003	遊戯療法Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	40004	遊戯療法Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	40033	こどもの食と栄養	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	40032	こどもの保健Ⅲ	1.5	7.5	S	7,000	
	40041	保育実習論Ⅰ ※①	3.0	15.0	S	14,000	事後レポート有
40042	保育実習論Ⅱ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
40043	保育実習論Ⅲ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
50018	養護概説	1.5	7.5	R・S	7,000		
三 年 次 科 目	20022	理科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20025	音楽科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20026	図工科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20027	体育科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	30088	書写	1.5	7.5	S	7,000	
	50014	看護学演習Ⅱ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	50020	養護実習事前・事後指導(事前指導)	1.5	7.5	S	7,000	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事後指導)	1.0	2.0	S	0	※②
四 年 次 科 目	10011	情報処理技術Ⅱ(応用)	1.5	7.5	S	7,000	
	20084	教職実践演習(幼・小)	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20045	教職実践演習(養護)	1.5	7.5	R・S	7,000	

※①…1年次入学生対象科目

※②…事前および事後のレポート提出有。事前指導は受講料7,000円、事後指導は受講料0円です。

◆スクーリング開講科目・科目コード一覧（養成課程）【図書館司書・司書教諭・学芸員】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 面接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
図書館司書	70003	図書館情報技術論	1.5	7.5	R・S	0	スクーリング受講料は、授業料に含まれているため納入は不要です。
	70008	情報サービス演習	1.5	7.5	R・S	0	
	70009	図書館情報資源概論	1.5	7.5	R・S	0	
	70011	情報資源組織演習	1.5	7.5	R・S	0	
司書教諭	70020	情報メディアの活用	1.5	7.5	R・S	0	
学芸員	70032	播磨の海浜生物	1.5	7.5	R・S	0	
	70033	古文書学	1.5	7.5	R・S	0	
	70038	博物館資料保存論	1.5	7.5	R・S	0	
	70039	博物館展示論	1.5	7.5	R・S	0	
	70041	博物館情報・メディア論	1.5	7.5	R・S	0	

※養成課程に所属している学生のみスクーリングを受講することができます。

Ⅲ．開 講 日 程

1. スクーリング実施時期

本学を会場とする「本校スクーリング」は、2つの時期で開講しています。(講義内容に違いはございません。) 各自の職場や家庭の事情などを考慮して都合のよい日程を選んで受講申請をしてください。時期によって受講申請期間が異なりますので、よく確認して手続きを行ってください。

また、入学の時期とスクーリングの受付期間は必ずしも連動していません。従って、入学の時期が遅くなった場合は、希望のスクーリングに間に合わないことになります。このような場合には、次回以降のスクーリングを受けるよう準備してください。

こちらの本をよく読んで間違いのないようにしてください。

本 校	時 期	スクーリング開講期間
	1 期	令和5年8月1日(火)～9月30日(土)
	2 期	令和6年2月1日(木)～3月31日(日)

※「教職実践演習」のスクーリングの開講日程は、p.16、p.54に記載しています。

※「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」「保育の表現技術(ピアノ)」「音楽表現(ピアノ)」のスクーリングの開講日程はp.16、p.56に記載しています。

※申請方法により受付期間が異なります。ご注意ください。

2. 授業時間帯

① 授業時間

次の時間割によって授業を行い、午前・午後各授業をそれぞれ2.5コマとします。

	時 間 帯
午前授業	9:00～13:00
午後授業	14:00～18:00
全日授業	9:00～18:00

② 各自の都合で早退を申し出ても、個人による授業時間の短縮は一切認めません。

スクーリングによる単位の取得は、所定の時間の授業を受けて、スクーリング終了後に実施する単位認定試験を受験し合格することが必要です。

③ 時間割は、諸事情により変更する場合がありますので、予めご承知おきください。

なお、変更する場合は、機関誌「しらさぎ通信」等で通知します。

3. スクーリング時間割

本校 1 期

令和 5 年度以降入学生
令和 4 年度 1 年次入学生・科目等履修生用

日程	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
8月1日(火)	こどもと表現 I		芸術論		家庭科指導法				8月1日(火)
8月2日(水)									8月2日(水)
8月3日(木)	音楽		保育内容(人間関係 I)		体育科指導法				8月3日(木)
8月4日(金)			養護概説		図工科指導法				8月4日(金)
8月5日(土)									8月5日(土)
8月6日(日)			保育実習論 II		書写				8月6日(日)
8月7日(月)	身体表現								8月7日(月)
8月8日(火)			こどもの食と栄養		音楽科指導法				8月8日(火)
8月9日(水)									8月9日(水)
8月10日(木)			保育内容(健康 I)		理科指導法				8月10日(木)
8月11日(金)	こどもの理解と援助								8月11日(金)
8月12日(土)									8月12日(土)
8月13日(日)									8月13日(日)
8月14日(月)									8月14日(月)
8月15日(火)									8月15日(火)
8月16日(水)									8月16日(水)
8月17日(木)									8月17日(木)
8月18日(金)									8月18日(金)
8月19日(土)									8月19日(土)
8月20日(日)			教育心理学						8月20日(日)
8月21日(月)	体育(RS)		保育内容(表現)		英語コミュニケーション II				8月21日(月)
8月22日(火)									8月22日(火)
8月23日(水)			特別支援演習						8月23日(水)
8月24日(木)	スポーツ(実技)								8月24日(木)
8月25日(金)			保育実習論 I						8月25日(金)
8月26日(土)									8月26日(土)
8月27日(日)	科目試験								8月27日(日)
8月28日(月)	看護学 I								8月28日(月)
8月29日(火)					社会科指導法				8月29日(火)
8月30日(水)									8月30日(水)
8月31日(木)			保育内容(健康 II)		外国語(英語)指導法				8月31日(木)
9月1日(金)	こどもと表現 III		看護学 II						9月1日(金)
9月2日(土)									9月2日(土)
9月3日(日)	言語表現		こどもの健康と安全		算数科指導法				9月3日(日)
9月4日(月)					看護演習(1単位)				9月4日(月)
9月5日(火)									9月5日(火)
9月6日(水)	情報処理技術 I(基礎)				子育て支援				9月6日(水)
9月7日(木)	音楽表現(声楽)		外国語総合 I		生活科指導法				9月7日(木)
9月8日(金)									9月8日(金)
9月9日(土)	図画工作		教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導		教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導				9月9日(土)
9月10日(日)									9月10日(日)
9月11日(月)			保育内容(環境 II)						9月11日(月)
9月12日(火)					国語科指導法				9月12日(火)
9月13日(水)			保育内容(人間関係 II)						9月13日(水)
9月14日(木)									9月14日(木)
9月15日(金)									9月15日(金)
9月16日(土)	社会的養護 II						情報処理技術 II(応用)		9月16日(土)
9月17日(日)			外国語総合 II						9月17日(日)
9月18日(月)	乳児保育 II								9月18日(月)
9月19日(火)	こどもと表現 II								9月19日(火)
9月20日(水)									9月20日(水)
9月21日(木)			保育内容(環境 I)						9月21日(木)
9月22日(金)									9月22日(金)
9月23日(土)					養護実習事前・事後指導 事前指導				9月23日(土)
9月24日(日)									9月24日(日)
9月25日(月)	造形表現								9月25日(月)
9月26日(火)									9月26日(火)
9月27日(水)									9月27日(水)
9月28日(木)			保育内容(言葉)						9月28日(木)
9月29日(金)									9月29日(金)
9月30日(土)			保育実習論 III						9月30日(土)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載の pp.17 ~ 20 をご確認ください。

授業時間 午前 9:00~13:00 午後 14:00~18:00 全日 9:00~18:00

日程	1年次		2年次		3年次		4年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
2月1日(木)			保育内容(環境Ⅰ)		家庭科指導法				2月1日(木)
2月2日(金)									2月2日(金)
2月3日(土)	音楽表現(声楽)		養護概説		書写				2月3日(土)
2月4日(日)	こどもの理解と援助								2月4日(日)
2月5日(月)			外国語総合Ⅰ		図工科指導法				2月5日(月)
2月6日(火)	看護学Ⅰ		保育内容(表現)		音楽科指導法				2月6日(火)
2月7日(水)			保育内容(人間関係Ⅰ)		英語コミュニケーションⅡ				2月7日(水)
2月8日(木)									2月8日(木)
2月9日(金)									2月9日(金)
2月10日(土)	情報処理技術Ⅰ(基礎)								2月10日(土)
2月11日(日)									2月11日(日)
2月12日(月)			教育心理学						2月12日(月)
2月13日(火)	言語表現		こどもの食と栄養						2月13日(火)
2月14日(水)									2月14日(水)
2月15日(木)	こどもと表現Ⅱ		看護学Ⅱ						2月15日(木)
2月16日(金)					生活科指導法				2月16日(金)
2月17日(土)					算数科指導法				2月17日(土)
2月18日(日)	身体表現		特別支援演習						2月18日(日)
2月19日(月)									2月19日(月)
2月20日(火)	音楽		保育内容(人間関係Ⅱ)						2月20日(火)
2月21日(水)									2月21日(水)
2月22日(木)	図画工作		保育内容(健康Ⅰ)						2月22日(木)
2月23日(金)									2月23日(金)
2月24日(土)	乳児保育Ⅱ								2月24日(土)
2月25日(日)	科目試験								2月25日(日)
2月26日(月)									2月26日(月)
2月27日(火)	社会的養護Ⅱ				社会科指導法				2月27日(火)
2月28日(水)									2月28日(水)
2月29日(木)			保育内容(言葉)		外国語(英語)指導法				2月29日(木)
3月1日(金)					看護演習(1単位)				3月1日(金)
3月2日(土)			教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導		養護実習事前・事後指導 事前指導				3月2日(土)
3月3日(日)									3月3日(日)
3月4日(月)									3月4日(月)
3月5日(火)			外国語総合Ⅱ		国語科指導法				3月5日(火)
3月6日(水)									3月6日(水)
3月7日(木)			保育内容(健康Ⅱ)		理科指導法				3月7日(木)
3月8日(金)									3月8日(金)
3月9日(土)									3月9日(土)
3月10日(日)					教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導				3月10日(日)
3月11日(月)									3月11日(月)
3月12日(火)	こどもと表現Ⅲ		保育実習論Ⅰ						3月12日(火)
3月13日(水)									3月13日(水)
3月14日(木)									3月14日(木)
3月15日(金)	卒業式								3月15日(金)
3月16日(土)			保育実習論Ⅱ				情報処理技術Ⅱ(応用)		3月16日(土)
3月17日(日)									3月17日(日)
3月18日(月)			保育内容(環境Ⅱ)						3月18日(月)
3月19日(火)			保育実習論Ⅲ						3月19日(火)
3月20日(水)									3月20日(水)
3月21日(木)	造形表現				体育科指導法				3月21日(木)
3月22日(金)	こどもと表現Ⅰ				子育て支援				3月22日(金)
3月23日(土)									3月23日(土)
3月24日(日)									3月24日(日)
3月25日(月)									3月25日(月)
3月26日(火)	スポーツ(実技)		こどもの健康と安全						3月26日(火)
3月27日(水)									3月27日(水)
3月28日(木)	体育(RS)								3月28日(木)
3月29日(金)			芸術論						3月29日(金)
3月30日(土)									3月30日(土)
3月31日(日)									3月31日(日)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載のpp.17～20をご確認ください。

授業時間 午前 9:00～13:00 午後 14:00～18:00 全日 9:00～18:00

本校 1 期

令和元・2・3 年度入学生用 令和 4 年度 3 年次編入生用

日程	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
8 月 1 日(火)									8 月 1 日(火)
8 月 2 日(水)									8 月 2 日(水)
8 月 3 日(木)									8 月 3 日(木)
8 月 4 日(金)									8 月 4 日(金)
8 月 5 日(土)									8 月 5 日(土)
8 月 6 日(日)									8 月 6 日(日)
8 月 7 日(月)									8 月 7 日(月)
8 月 8 日(火)									8 月 8 日(火)
8 月 9 日(水)									8 月 9 日(水)
8 月 10 日(木)									8 月 10 日(木)
8 月 11 日(金)									8 月 11 日(金)
8 月 12 日(土)									8 月 12 日(土)
8 月 13 日(日)									8 月 13 日(日)
8 月 14 日(月)									8 月 14 日(月)
8 月 15 日(火)									8 月 15 日(火)
8 月 16 日(水)									8 月 16 日(水)
8 月 17 日(木)									8 月 17 日(木)
8 月 18 日(金)									8 月 18 日(金)
8 月 19 日(土)									8 月 19 日(土)
8 月 20 日(日)									8 月 20 日(日)
8 月 21 日(月)									8 月 21 日(月)
8 月 22 日(火)									8 月 22 日(火)
8 月 23 日(水)									8 月 23 日(水)
8 月 24 日(木)									8 月 24 日(木)
8 月 25 日(金)									8 月 25 日(金)
8 月 26 日(土)									8 月 26 日(土)
8 月 27 日(日)	科目試験								8 月 27 日(日)
8 月 28 日(月)									8 月 28 日(月)
8 月 29 日(火)									8 月 29 日(火)
8 月 30 日(水)									8 月 30 日(水)
8 月 31 日(木)									8 月 31 日(木)
9 月 1 日(金)									9 月 1 日(金)
9 月 2 日(土)									9 月 2 日(土)
9 月 3 日(日)									9 月 3 日(日)
9 月 4 日(月)									9 月 4 日(月)
9 月 5 日(火)									9 月 5 日(火)
9 月 6 日(水)									9 月 6 日(水)
9 月 7 日(木)									9 月 7 日(木)
9 月 8 日(金)									9 月 8 日(金)
9 月 9 日(土)									9 月 9 日(土)
9 月 10 日(日)									9 月 10 日(日)
9 月 11 日(月)									9 月 11 日(月)
9 月 12 日(火)									9 月 12 日(火)
9 月 13 日(水)									9 月 13 日(水)
9 月 14 日(木)									9 月 14 日(木)
9 月 15 日(金)									9 月 15 日(金)
9 月 16 日(土)									9 月 16 日(土)
9 月 17 日(日)									9 月 17 日(日)
9 月 18 日(月)									9 月 18 日(月)
9 月 19 日(火)									9 月 19 日(火)
9 月 20 日(水)									9 月 20 日(水)
9 月 21 日(木)									9 月 21 日(木)
9 月 22 日(金)									9 月 22 日(金)
9 月 23 日(土)									9 月 23 日(土)
9 月 24 日(日)									9 月 24 日(日)
9 月 25 日(月)									9 月 25 日(月)
9 月 26 日(火)									9 月 26 日(火)
9 月 27 日(水)									9 月 27 日(水)
9 月 28 日(木)									9 月 28 日(木)
9 月 29 日(金)									9 月 29 日(金)
9 月 30 日(土)									9 月 30 日(土)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載の pp.17 ~ 20 をご確認ください。

授業時間 午前 9:00~13:00 午後 14:00~18:00 全日 9:00~18:00

日程	1年次		2年次		3年次		4年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
2月1日(木)			保育内容(環境Ⅰ)		家庭科指導法				2月1日(木)
2月2日(金)									2月2日(金)
2月3日(土)	保育の表現技術(声楽)		養護概説		書写				2月3日(土)
2月4日(日)	こどもの理解と援助								2月4日(日)
2月5日(月)			外国語総合Ⅰ		図工科指導法				2月5日(月)
2月6日(火)	看護学Ⅰ		保育内容(表現)						2月6日(火)
2月7日(水)					音楽科指導法				2月7日(水)
2月8日(木)	音楽Ⅳ(器楽)		保育内容(人間関係Ⅰ)		英語コミュニケーションⅡ				2月8日(木)
2月9日(金)									2月9日(金)
2月10日(土)	情報処理技術Ⅰ(基礎)								2月10日(土)
2月11日(日)									2月11日(日)
2月12日(月)	音楽Ⅱ(ピアノ)		教育心理学						2月12日(月)
2月13日(火)	保育の表現技術(言語)		こどもの食と栄養						2月13日(火)
2月14日(水)									2月14日(水)
2月15日(木)			看護学Ⅱ						2月15日(木)
2月16日(金)			保育総合演習		生活科指導法				2月16日(金)
2月17日(土)									2月17日(土)
2月18日(日)	保育の表現技術(身体)		特別支援演習		算数科指導法				2月18日(日)
2月19日(月)									2月19日(月)
2月20日(火)			保育内容(人間関係Ⅱ)		看護演習(2単位)				2月20日(火)
2月21日(水)									2月21日(水)
2月22日(木)			保育内容(健康Ⅰ)						2月22日(木)
2月23日(金)									2月23日(金)
2月24日(土)	乳児保育Ⅱ								2月24日(土)
2月25日(日)	科目試験								2月25日(日)
2月26日(月)			保育の表現技術(合奏)						2月26日(月)
2月27日(火)	社会的養護Ⅱ				社会科指導法				2月27日(火)
2月28日(水)									2月28日(水)
2月29日(木)			保育内容(言葉)		外国語(英語)指導法				2月29日(木)
3月1日(金)									3月1日(金)
3月2日(土)			教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導						3月2日(土)
3月3日(日)					養護実習事前・事後指導事前指導				3月3日(日)
3月4日(月)									3月4日(月)
3月5日(火)			外国語総合Ⅱ		国語科指導法				3月5日(火)
3月6日(水)									3月6日(水)
3月7日(木)			保育内容(健康Ⅱ)		理科指導法				3月7日(木)
3月8日(金)	図画工作Ⅱ								3月8日(金)
3月9日(土)									3月9日(土)
3月10日(日)					教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導				3月10日(日)
3月11日(月)									3月11日(月)
3月12日(火)			保育実習論Ⅰ						3月12日(火)
3月13日(水)									3月13日(水)
3月14日(木)									3月14日(木)
3月15日(金)	卒業式								3月15日(金)
3月16日(土)			保育実習論Ⅱ						3月16日(土)
3月17日(日)							情報処理技術Ⅱ(応用)		3月17日(日)
3月18日(月)			保育内容(環境Ⅱ)						3月18日(月)
3月19日(火)	音楽Ⅲ(声楽)		保育実習論Ⅲ						3月19日(火)
3月20日(水)									3月20日(水)
3月21日(木)	保育の表現技術(造形)								3月21日(木)
3月22日(金)					体育科指導法				3月22日(金)
3月23日(土)									3月23日(土)
3月24日(日)					子育て支援				3月24日(日)
3月25日(月)									3月25日(月)
3月26日(火)	スポーツ(実技)		こどもの健康と安全						3月26日(火)
3月27日(水)									3月27日(水)
3月28日(木)	体育(RS)								3月28日(木)
3月29日(金)			芸術論						3月29日(金)
3月30日(土)									3月30日(土)
3月31日(日)									3月31日(日)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載のpp.17～20をご確認ください。

授業時間 | 午前 9:00～13:00 | 午後 14:00～18:00 | 全日 9:00～18:00

日程	1 年次		1 年次-2		2 年次		2 年次-2		3 年次		4 年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
8月1日(火)													8月1日(火)
8月2日(水)													8月2日(水)
8月3日(木)					保育内容(人間関係Ⅰ)				体育科指導法				8月3日(木)
8月4日(金)					養護概説				図工科指導法				8月4日(金)
8月5日(土)													8月5日(土)
8月6日(日)					保育実習論Ⅱ				書写				8月6日(日)
8月7日(月)	子どもと体育Ⅰ												8月7日(月)
8月8日(火)					子どもの食と栄養				音楽科指導法				8月8日(火)
8月9日(水)	図画工作Ⅱ												8月9日(水)
8月10日(木)					保育内容(健康Ⅰ)				理科指導法				8月10日(木)
8月11日(金)					子どもと体育Ⅱ								8月11日(金)
8月12日(土)													8月12日(土)
8月13日(日)					遊戯療法Ⅰ								8月13日(日)
8月14日(月)													8月14日(月)
8月15日(火)													8月15日(火)
8月16日(水)													8月16日(水)
8月17日(木)													8月17日(木)
8月18日(金)													8月18日(金)
8月19日(土)	音楽Ⅰ												8月19日(土)
8月20日(日)					教育心理学								8月20日(日)
8月21日(月)	体育				保育内容(表現)								8月21日(月)
8月22日(火)													8月22日(火)
8月23日(水)			相談援助										8月23日(水)
8月24日(木)	スポーツ(実技)												8月24日(木)
8月25日(金)					保育実習論Ⅰ								8月25日(金)
8月26日(土)													8月26日(土)
8月27日(日)													8月27日(日)
科目試験													
8月28日(月)	看護学演習Ⅰ												8月28日(月)
8月29日(火)													8月29日(火)
8月30日(水)							子どもの保健Ⅲ						8月30日(水)
8月31日(木)					保育内容(健康Ⅱ)								8月31日(木)
9月1日(金)									看護学演習Ⅱ				9月1日(金)
9月2日(土)													9月2日(土)
9月3日(日)													9月3日(日)
9月4日(月)													9月4日(月)
9月5日(火)													9月5日(火)
9月6日(水)	情報処理技術Ⅰ(基礎)				子どもと造形表現Ⅱ								9月6日(水)
9月7日(木)	子どもと音楽表現Ⅱ(声楽)												9月7日(木)
9月8日(金)													9月8日(金)
9月9日(土)					教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導								9月9日(土)
9月10日(日)					保育内容(環境Ⅱ)				教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導				9月10日(日)
9月11日(月)													9月11日(月)
9月12日(火)													9月12日(火)
9月13日(水)					保育内容(人間関係Ⅱ)								9月13日(水)
9月14日(木)													9月14日(木)
9月15日(金)													9月15日(金)
9月16日(土)	社会的養護内容										情報処理技術Ⅱ(応用)		9月16日(土)
9月17日(日)													9月17日(日)
9月18日(月)	乳幼児保育												9月18日(月)
9月19日(火)													9月19日(火)
9月20日(水)													9月20日(水)
9月21日(木)					保育内容(環境Ⅰ)								9月21日(木)
9月22日(金)													9月22日(金)
9月23日(土)					遊戯療法Ⅱ					養護実習事前・事後指導事前指導			9月23日(土)
9月24日(日)													9月24日(日)
9月25日(月)	子どもと造形表現Ⅰ												9月25日(月)
9月26日(火)													9月26日(火)
9月27日(水)	音楽Ⅱ												9月27日(水)
9月28日(木)													9月28日(木)
9月29日(金)													9月29日(金)
9月30日(土)					保育実習論Ⅲ								9月30日(土)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載の pp.17～20 をご確認ください。

日程	1年次		2年次		2年次-2		3年次		4年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
2月1日(木)			保育内容(環境Ⅰ)								2月1日(木)
2月2日(金)											2月2日(金)
2月3日(土)	こどもと音楽表現Ⅱ(声楽)		養護概説					書写			2月3日(土)
2月4日(日)											2月4日(日)
2月5日(月)								図工科指導法			2月5日(月)
2月6日(火)	看護学演習Ⅰ		保育内容(表現)					音楽科指導法			2月6日(火)
2月7日(水)											2月7日(水)
2月8日(木)			保育内容(人間関係Ⅰ)								2月8日(木)
2月9日(金)											2月9日(金)
2月10日(土)	情報処理技術Ⅰ(基礎)		遊戯療法Ⅱ								2月10日(土)
2月11日(日)											2月11日(日)
2月12日(月)	音楽Ⅱ		教育心理学								2月12日(月)
2月13日(火)	相談援助		こどもの食と栄養								2月13日(火)
2月14日(水)											2月14日(水)
2月15日(木)								看護学演習Ⅱ			2月15日(木)
2月16日(金)											2月16日(金)
2月17日(土)											2月17日(土)
2月18日(日)	こどもと体育Ⅰ										2月18日(日)
2月19日(月)											2月19日(月)
2月20日(火)			保育内容(人間関係Ⅱ)								2月20日(火)
2月21日(水)											2月21日(水)
2月22日(木)			保育内容(健康Ⅰ)								2月22日(木)
2月23日(金)			遊戯療法Ⅰ								2月23日(金)
2月24日(土)	乳幼児保育										2月24日(土)
2月25日(日)	科目試験										2月25日(日)
2月26日(月)											2月26日(月)
2月27日(火)	社会的養護内容										2月27日(火)
2月28日(水)											2月28日(水)
2月29日(木)											2月29日(木)
3月1日(金)											3月1日(金)
3月2日(土)			教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導								3月2日(土)
3月3日(日)								看護実習事前・事後指導事前指導			3月3日(日)
3月4日(月)											3月4日(月)
3月5日(火)											3月5日(火)
3月6日(水)											3月6日(水)
3月7日(木)			保育内容(健康Ⅱ)					理科指導法			3月7日(木)
3月8日(金)	図画工作Ⅱ										3月8日(金)
3月9日(土)											3月9日(土)
3月10日(日)								教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導			3月10日(日)
3月11日(月)											3月11日(月)
3月12日(火)			保育実習論Ⅰ								3月12日(火)
3月13日(水)											3月13日(水)
3月14日(木)											3月14日(木)
3月15日(金)	卒業式										3月15日(金)
3月16日(土)			保育実習論Ⅱ								3月16日(土)
3月17日(日)											3月17日(日)
3月18日(月)			保育内容(環境Ⅱ)						情報処理技術Ⅱ(応用)		3月18日(月)
3月19日(火)	音楽Ⅰ		保育実習論Ⅲ		こどもと体育Ⅱ						3月19日(火)
3月20日(水)											3月20日(水)
3月21日(木)	こどもと造形表現Ⅰ										3月21日(木)
3月22日(金)			こどもと造形表現Ⅱ					体育科指導法			3月22日(金)
3月23日(土)											3月23日(土)
3月24日(日)			こどもの保健Ⅲ								3月24日(日)
3月25日(月)											3月25日(月)
3月26日(火)	スポーツ(実技)										3月26日(火)
3月27日(水)											3月27日(水)
3月28日(木)	体育										3月28日(木)
3月29日(金)											3月29日(金)
3月30日(土)											3月30日(土)
3月31日(日)											3月31日(日)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載の pp.17～20 をご確認ください。

授業時間 午前 9:00～13:00 午後 14:00～18:00 全日 9:00～18:00

日程	図書館司書		図書館司書教諭		学芸員		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
8月1日(火)							8月1日(火)
8月2日(水)	図書館情報技術論						8月2日(水)
8月3日(木)							8月3日(木)
8月4日(金)							8月4日(金)
8月5日(土)							8月5日(土)
8月6日(日)					博物館資料保存論		8月6日(日)
8月7日(月)							8月7日(月)
8月8日(火)	情報資源組織演習						8月8日(火)
8月9日(水)							8月9日(水)
8月10日(木)							8月10日(木)
8月11日(金)							8月11日(金)
8月12日(土)							8月12日(土)
8月13日(日)							8月13日(日)
8月14日(月)							8月14日(月)
8月15日(火)							8月15日(火)
8月16日(水)							8月16日(水)
8月17日(木)							8月17日(木)
8月18日(金)							8月18日(金)
8月19日(土)							8月19日(土)
8月20日(日)							8月20日(日)
8月21日(月)							8月21日(月)
8月22日(火)							8月22日(火)
8月23日(水)							8月23日(水)
8月24日(木)							8月24日(木)
8月25日(金)	情報サービス演習						8月25日(金)
8月26日(土)							8月26日(土)
8月27日(日)	科目試験						8月27日(日)
8月28日(月)							8月28日(月)
8月29日(火)							8月29日(火)
8月30日(水)							8月30日(水)
8月31日(木)							8月31日(木)
9月1日(金)							9月1日(金)
9月2日(土)							9月2日(土)
9月3日(日)					博物館展示論		9月3日(日)
9月4日(月)							9月4日(月)
9月5日(火)							9月5日(火)
9月6日(水)							9月6日(水)
9月7日(木)							9月7日(木)
9月8日(金)							9月8日(金)
9月9日(土)							9月9日(土)
9月10日(日)					播磨の海浜生物		9月10日(日)
9月11日(月)	図書館情報資源概論						9月11日(月)
9月12日(火)							9月12日(火)
9月13日(水)							9月13日(水)
9月14日(木)							9月14日(木)
9月15日(金)							9月15日(金)
9月16日(土)					古文書学		9月16日(土)
9月17日(日)							9月17日(日)
9月18日(月)					博物館情報・メディア論		9月18日(月)
9月19日(火)							9月19日(火)
9月20日(水)							9月20日(水)
9月21日(木)							9月21日(木)
9月22日(金)							9月22日(金)
9月23日(土)							9月23日(土)
9月24日(日)							9月24日(日)
9月25日(月)			情報メディアの活用				9月25日(月)
9月26日(火)							9月26日(火)
9月27日(水)							9月27日(水)
9月28日(木)							9月28日(木)
9月29日(金)							9月29日(金)
9月30日(土)							9月30日(土)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載の pp.17～20 をご確認ください。

日程	図書館司書		図書館司書教諭		学芸員		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
2月1日(木)							2月1日(木)
2月2日(金)							2月2日(金)
2月3日(土)							2月3日(土)
2月4日(日)	図書館情報技術論				博物館展示論		2月4日(日)
2月5日(月)							2月5日(月)
2月6日(火)							2月6日(火)
2月7日(水)							2月7日(水)
2月8日(木)							2月8日(木)
2月9日(金)					古文書学		2月9日(金)
2月10日(土)							2月10日(土)
2月11日(日)	図書館情報資源概論				播磨の海浜生物		2月11日(日)
2月12日(月)							2月12日(月)
2月13日(火)							2月13日(火)
2月14日(水)							2月14日(水)
2月15日(木)							2月15日(木)
2月16日(金)							2月16日(金)
2月17日(土)							2月17日(土)
2月18日(日)					博物館資料保存論		2月18日(日)
2月19日(月)							2月19日(月)
2月20日(火)							2月20日(火)
2月21日(水)							2月21日(水)
2月22日(木)							2月22日(木)
2月23日(金)							2月23日(金)
2月24日(土)			情報メディアの活用		博物館情報・メディア論		2月24日(土)
2月25日(日)	科目試験						2月25日(日)
2月26日(月)							2月26日(月)
2月27日(火)							2月27日(火)
2月28日(水)							2月28日(水)
2月29日(木)							2月29日(木)
3月1日(金)							3月1日(金)
3月2日(土)					博物館実習 A (歴史)		3月2日(土)
3月3日(日)	情報資源組織演習						3月3日(日)
3月4日(月)					博物館実習 A (美術)		3月4日(月)
3月5日(火)							3月5日(火)
3月6日(水)							3月6日(水)
3月7日(木)							3月7日(木)
3月8日(金)							3月8日(金)
3月9日(土)							3月9日(土)
3月10日(日)					博物館実習 A (自然)		3月10日(日)
3月11日(月)							3月11日(月)
3月12日(火)							3月12日(火)
3月13日(水)							3月13日(水)
3月14日(木)							3月14日(木)
3月15日(金)	卒業式						3月15日(金)
3月16日(土)	情報サービス演習						3月16日(土)
3月17日(日)							3月17日(日)
3月18日(月)							3月18日(月)
3月19日(火)							3月19日(火)
3月20日(水)							3月20日(水)
3月21日(木)							3月21日(木)
3月22日(金)							3月22日(金)
3月23日(土)							3月23日(土)
3月24日(日)							3月24日(日)
3月25日(月)							3月25日(月)
3月26日(火)							3月26日(火)
3月27日(水)							3月27日(水)
3月28日(木)							3月28日(木)
3月29日(金)							3月29日(金)
3月30日(土)							3月30日(土)
3月31日(日)							3月31日(日)

※各教科の実施方法(遠隔 or 対面)は各科目のシラバス「実施方法」欄ならびに遠隔実施対象科目記載の pp.17～20 をご確認ください。

授業時間 午前 9:00～13:00 午後 14:00～18:00 全日 9:00～18:00

本校 3期～8期

全入学年度生共通

実施期	科目名	実施方法	日程	受付期間（消印有効）
本校5期	こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ） 保育の表現技術（ピアノ） 音楽表現（ピアノ）	第1段階 対面	令和5年7月23日（日） 9：00～18：00	令和5年6月12日（月）～6月23日（金）
本校7期			令和5年12月3日（日） 9：00～18：00	
本校6期	こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ） 保育の表現技術（ピアノ） 音楽表現（ピアノ）	第2段階 対面	令和5年9月24日（日） 9：00～18：00	令和5年8月14日（月）～8月25日（金）
本校8期			令和6年3月10日（日） 9：00～18：00	

※詳細はpp.55～59をご参照ください。

※上記申請期間は「OCRによる申請期間」です。学修サポートサイト（UniVision）による申請期間はp.25を参照ください。

実施期	科目名	実施方法	日程	受付期間（消印有効）
本校3期	養護実習事前・事後指導（事後指導）	対面	令和5年7月15日（土） 9：00～12：00	令和5年5月23日（火）～6月3日（土）
	教職実践演習（養護）	対面	令和5年7月15日（土） 14：00～18：00 令和5年7月16日（日） 9：00～18：00	
	教育実習事前・事後指導（幼稚園）事後指導 教育実習事前・事後指導（小学校）事後指導	対面	令和5年7月22日（土） 9：00～12：00	
	教職実践演習（幼・小）/教職実践演習	対面	令和5年7月22日（土） 14：00～18：00 令和5年7月23日（日） 9：00～18：00	
本校4期	養護実習事前・事後指導（事後指導）	対面	令和5年11月11日（土） 9：00～12：00	令和5年9月25日（月）～10月6日（金）
	教職実践演習（養護）	対面	令和5年11月11日（土） 14：00～18：00 令和5年11月12日（日） 9：00～18：00	
	教育実習事前・事後指導（幼稚園）事後指導 教育実習事前・事後指導（小学校）事後指導	対面	令和5年11月18日（土） 9：00～12：00	
	教職実践演習（幼・小）/教職実践演習	対面	令和5年11月18日（土） 14：00～18：00 令和5年11月19日（日） 9：00～18：00	

※詳細はpp.51～54をご参照ください。

※上記申請期間は「OCRによる申請期間」です。学修サポートサイト（UniVision）による申請期間はp.25を参照ください。

令和5年度本校スクーリング「遠隔授業」対象科目一覧

※遠隔授業を受講する場合には「遠隔授業受講申請書」の提出が必要です。

【各項目について】

担当教員名…遠隔授業を担当する教員名です。

スクーリング科目名…遠隔授業を実施する科目名です。授業内容は、スクーリングのしおりを確認してください。

授業実施方法…遠隔で授業を実施する科目に絞って記載をしていますが、日程によって実施方法が異なる科目がありますので、注意してください。

(1) 使用ツール…授業で使用するアプリケーションです。MeetはGoogle Meetです。記載のツールが使用できるよう環境を整えてください。

(2) 教員によるオリエンテーションの有無…有の場合、必ず参加してください。参加しない場合、その科目の成績はつきません。ただし、参加者が限定されている場合（例：始めてMeetを使用する人のみ対象等）はその限りではありません。

(3) 教員によるオリエンテーション実施日時、開催時間数（目安）…教員によるオリエンテーションの実施日、実施時間の目安です。実施時間は前後する場合があります。オリエンテーションは必ず参加してください。

(4) 準備が必要な物…授業受講時に準備が必要な物です。授業受講までに、全て用意してください。用意できない場合は大学以外の場所では受講できません。また、スクーリング授業概要も確認し、学生持参品も併せて用意してください。

(5) スマートフォンのみの受講の可否…可の場合、スマートフォンのみで受講が可能ですが、パソコンでの受講を推奨します。不可の科目はスマートフォンのみでは受講できませんので、必ずパソコンで受講してください。授業プリントは原則Google Classroom内にて掲示されます。Classroomの使用方法を必ず確認してください。

(6) その他連絡事項…その他スクーリング受講に関する通知です。

※各使用ツール、アプリの個別の使い方の質問等にはお答えできませんので、オリエンテーション並びに授業受講までに各自ご確認ください。

※見落としのないよう十分にご注意ください。

※こちらに記載の科目以外は「対面」で授業を実施します。

NO	担当教員名	スクーリング科目名	授業実施方法	使用ツール(URLはClassroomにて発表します。)	教員によるオリエンテーションの有無(要参加)	教員によるオリエンテーション実施日時、開催時間数(目安)	準備が必要な物	スマートフォンのみの受講の可否(不可の場合パソコンでの受講が必要)	その他連絡事項
1	和田 幸司	社会科指導法	遠隔	Meet	無	無	指導案を作成するため、パソコンでの受講が望ましいですが、スマートフォン、タブレットでも問題ありません。Word、Googleドキュメント等を活用して作成をします。遠隔授業受講必要環境を整えてください。 模擬授業に使用するため教科書は必ず購入してください。	可	
2	和田 憲明	英語コミュニケーションⅡ	遠隔	Zoom	無	無	プリンターを準備すること。	条件付きで可(プリンター要)	
3	和田 憲明	外国語総合Ⅰ	遠隔	Zoom	無	無	プリンターを準備すること。	条件付きで可(プリンター要)	
4	和田 憲明	外国語総合Ⅱ	遠隔	Zoom	無	無	プリンターを準備すること。	条件付きで可(プリンター要)	
5	和田 憲明	外国語(英語)指導法	遠隔	Zoom	無	無	プリンターを準備すること。	条件付きで可(プリンター要)	
6	戸邊 俊哉	情報メディアの活用	遠隔(対面での受講も可)	Meet	無	無	・授業画面を見ながらキーボード入力などができること。 ・情報メディアの活用は「遠隔」or「対面」どちらの受講方法も可能です。希望する受講方法を遠隔授業受講申請書(⑩その他連絡事項欄)に記載してください。	条件付きで可(文章の入力ができること)	

NO	担当教員名	スクーリング科目名	授業実施方法	使用ツール(URLはClassroomにて発表します。)	教員によるオリエンテーションの有無(要参加)	教員によるオリエンテーション実施日時、開催時間数(目安)	準備が必要な物	スマートフォンのみの受講の可否(不可の場合パソコンでの受講が必要)	その他連絡事項
7	戸邊 俊哉	図書館情報技術論	遠隔 (対面での受講も可)	Meet	無	無	・授業画面を見ながらキーボード入力などができること。 ・図書館情報技術論は「遠隔」or「対面」どちらの受講方法も可能です。希望する受講方法を遠隔授業受講申請書(⑩その他連絡事項欄)に記載してください。	条件付きで可 (文章の入力ができること)	
8	白石 愛子	こどもと表現Ⅲ(声楽)/ 音楽Ⅰ/音楽Ⅲ(声楽)	遠隔	Meet	有	[本校1期] R5. 8/4(金) 14:00~14:30 [本校2期] R6. 3/13(水) 14:00~14:30 ※オリエンテーションの日程の都合が合わない場合は通信教育事務課までご連絡ください。 受講者全員(大学での受講者含)オリエンテーションの受講が必要です。 所要時間30分程度	①歌える環境で受講して下さい。整わない場合は、大学で受講することができます。 ②Meetの音声ON・カメラONができること。 ③購入本がない場合は受講することができません。	可	
9	山本 千紗 白石 愛子	音楽	初日:対面 2日目:遠隔	Meet	無	無	①1日目(9時~18時)は対面でおこないますが、2日目(9時~13時)は遠隔で行います。 ②2日目の遠隔授業は声楽演習となり受講環境としてピアノは必要ありませんが、歌える環境で受講して下さい。整わない場合は、大学で受講することができます。 ③Google Meetの基本的な操作ができ、音声ON・カメラONができる環境であること。	可	
10	藤田美知枝	看護学演習Ⅰ/ 看護学Ⅰ	遠隔	Meet	無	無	出席確認の際にカメラを使用するため、カメラが使用できる場所で受講すること。	可	
11	平松 恵子	養護概説	遠隔	Meet	無	無	遠隔授業受講必要環境を整えておくこと。	可	

申請手続きの前の確認事項

●履修登録は済んでいますか？

履修登録をしていない科目はスクーリングの申請ができません。初回の履修登録は履修登録用紙（OCR用紙）を使用してください。2回目以降の履修登録（履修科目の追加）は、履修科目変更願を使用してください。

●スクーリング受講ができる科目ですか？

入学年度によってカリキュラムが異なりますので、スクーリングの受講ができる科目とできない科目があります。pp.3～6の開講科目一覧でよく確認してください。

●配当年次に達していますか？

正科生のスクーリングは学年毎に開講科目が設定されており、現在の学年より上の学年の科目を受講することはできません。しかし、下の学年の科目を受講することは可能です。科目等履修生は、配当年次に関係なく、履修登録している科目のスクーリングを受講することができます。

●受講希望のスクーリング科目（複数）は、日程が重複していませんか？

受講希望をしているスクーリング科目が複数ある場合は、必ず開講日程を確認し、日程および時間が重複していないか確認してください。

重複してスクーリング受講申請をした場合、日程が重複している科目のみ申請受付ができません。（重複していないその他の科目は、受付をします。）

日程および時間が重複しており、受付ができなかった科目については、郵便での書面通知をします。（電話連絡はいたしません。）OCRによる受講申請の場合、通知により、訂正したスクーリング受講申請票は、受付期間内（消印有効）であれば受付ができますが、期間外に届いた申請票は、いかなる理由であっても受付をしません。本学から連絡する重複科目の通知は普通郵便で行います。

●本当にスクーリング受講申請をしなければいけない科目ですか？

既に合格をしているスクーリング科目は、受講することができません。スクーリング受付期間前に、科目別履修状況表、学修サポートサイト（UniVision）で履修状況を確認し申請をしてください。間違えて合格済みのスクーリング科目の申請を行った場合、原則返金はいたしませんのでご注意ください。

●教育（養護）実習前に必ず修得しなければならない科目があるのを知っていますか？

教育（養護）実習を行うためには、指定された科目を修得しなければなりません。各自入学年度の学習（修）便覧を確認し、計画的に学習を進めてください。なお、指定された科目が定められた期日までに修得できなかった場合、実習は延期をすることになります。詳細は、入学年度の学習（修）便覧を確認してください。

●図書館司書・司書教諭・学芸員・保育教諭コースのスクーリング科目の受講料は不要です。

スクーリング受講料は、授業料に含まれているため納入は不要です。OCRによる受講申請の場合、「スクーリング受講申請票」のみ提出し、「受講料納入届」の提出は不要です。

●印刷・面接科目について

「印刷・面接」科目は、指定がなければ、レポートの作成とスクーリング受講のどちらを先に学習しても構いません。但し、それぞれが合格しなければ、単位が認められません。

Ⅳ. 受講申請の方法

スクーリングは学修サポートサイト (UniVision) による申請、OCR 提出による申請の 2 種類の方法で受講申請が可能です。申請期間はそれぞれの申請方法に対して設けられていますので、ご確認ください。なお、学修サポートサイト (UniVision) による申請での受講料の支払いは「口座振替」となります。詳細については pp.24 ~ 27 をご確認ください。

注意事項

- ・学修サポートサイト (UniVision) による申請は期日までに口座登録を行っている方が対象です。各期決められた期日までに口座登録をしていない場合、学修サポートサイト (UniVision) による申請は行えませんのでご注意ください (申請は無効となります)。
- ・学修サポートサイト (UniVision) による申請、OCR 提出による申請それぞれに申請期間が定められています。

1 申請方法 学修サポートサイト (UniVision) による申請

1. 受講申請の流れ

申請希望科目入力

受付期間内に学修サポートサイト(UniVision)へログインし、スクーリングを申請します。

※申請後確認メールが届きます。

※健康調査書の提出、上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付の依頼、本学にて購入が必要なテキストの購入手続き(pp.35~36、p.41参照)が必要な方は別途必要書類を受講申請期間内に郵送してください。



受講料口座引き落とし

p.25に記載の振替日に指定口座より受講料を引き落とします。

※指定口座が残高不足の場合、スクーリング申請は無効となります。(再振替はありません。)

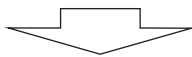
※図書館司書・司書教諭・学芸員・保育教諭コースのスクーリング科目の受講料は、授業料に含まれていますので、引き落としはありません。



スクーリング受講許可通知

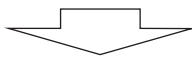
本学での手続き終了後、スクーリング受講許可証が送付されます。

受講許可証は、それぞれ実施期の一番早いスクーリング日程の10日前を目安に発送します。



スクーリング受講

指定の購入本や持参物などは、事前に用意して受講してください。スクーリングは指定された日程・時間帯全ての授業に出席しなければなりません。



結 果

スクーリング結果は、学修サポートサイト(UniVision)で確認してください。

2. 学修サポートサイト (UniVision) による申請受付期間について

	科目名	実施日程	受付期間	引き落とし日 (振替日)	口座登録用紙 提出期限 (必着)
本校 1期	pp.8～15記載の科目	令和5年8月1日(火)～ 令和5年9月30日(土)	令和5年5月9日(火)～ 令和5年5月15日(月)	令和5年6月5日(月)	令和5年5月2日(火)
本校 2期		令和6年2月1日(木)～ 令和6年3月31日(日)	令和5年11月3日(金)～ 令和5年11月9日(木)	令和5年12月5日(火)	令和5年11月4日(土)
本校 3期	養護実習事前・事後指導(事後指導)	令和5年7月15日(土) 9:00～12:00	令和5年4月21日(金)～ 令和5年4月27日(木)	令和6年5月23日(火)	令和5年4月22日(土)
	教職実践演習(養護)	令和5年7月15日(土) 14:00～18:00 令和5年7月16日(日) 9:00～18:00			
	教育実習事前・事後指導 (幼稚園)事後指導 教育実習事前・事後指導 (小学校)事後指導	令和5年7月22日(土) 9:00～12:00			
	教職実践演習(幼・小)/ 教職実践演習	令和5年7月22日(土) 14:00～18:00 令和5年7月23日(日) 9:00～18:00			
本校 4期	養護実習事前・事後指導(事後指導)	令和5年11月11日(土) 9:00～12:00	令和5年8月16日(水)～ 令和5年8月22日(火)	令和5年9月25日(月)	令和5年8月23日(水)
	教職実践演習(養護)	令和5年11月11日(土) 14:00～18:00 令和5年11月12日(日) 9:00～18:00			
	教育実習事前・事後指導 (幼稚園)事後指導 教育実習事前・事後指導 (小学校)事後指導	令和5年11月18日(土) 9:00～12:00			
	教職実践演習(幼・小)/ 教職実践演習	令和5年11月18日(土) 14:00～18:00 令和5年11月19日(日) 9:00～18:00			
本校 5期	保育の表現技術(ピアノ)/ 音楽表現(ピアノ)第1段階	令和5年7月23日(日)	令和5年5月9日(火)～ 令和5年5月15日(月)	令和5年6月5日(月)	令和5年5月2日(火)
本校 6期	保育の表現技術(ピアノ)/ 音楽表現(ピアノ)第2段階	令和5年9月24日(日)	令和5年7月6日(木)～ 令和5年7月13日(木)	令和5年8月7日(月)	令和5年7月6日(木)
本校 7期	保育の表現技術(ピアノ)/ 音楽表現(ピアノ)第1段階	令和5年12月3日(日)	令和5年9月22日(金) ～令和5年9月29日(金)	令和5年10月23日(月)	令和5年9月22日(金)
本校 8期	保育の表現技術(ピアノ)/ 音楽表現(ピアノ)第2段階	令和6年3月10日(日)	令和6年1月5日(金)～ 令和6年1月12日(金)	令和6年2月5日(月)	令和6年1月5日(金)

※再振替はありません。

学修サポートサイト (UniVision) によるスクーリング受講申請の手続きについて

メニュー [総合学習情報] → [スクーリング申請] タブをクリックします。

総合学習情報

2015/02/10 14:51

学籍番号	C11310001	氏名	弘徳 太郎C11310001(コウトウ タロウ)
所属	教育学部 こども未来学科(創造教育課程) 保育士養成コース	学年・学生種別	3年 正科生(1年次入学)
カリキュラムコード	2013500	学籍状態	在学

個別のお知らせ 履修状況 レポート課題状況 スクーリング状況 **スクーリング申請** 科目試験状況 科目試験申請 退学状況

■ 申請可能スクーリング科目一覧

選択	科目コード	科目名
<input type="radio"/>	10020	スポーツ(実技)
<input type="radio"/>	20060	中学教科教育法(社会) I
<input type="radio"/>	30061	ソルフェージュ

申請

■ 申請済みスクーリング科目一覧

選択	科目コード	科目名	申請年月日	変更期限	開催期間	開催場所	スクーリング費
<input type="radio"/>	30028	こどもと音楽表現Ⅱ(声楽)	2014/12/16	2015/03/31	2015/02/21 ~ 2015/02/22	本学	7,000
<input type="radio"/>	40040	保育村園談支援	2014/12/16	2015/03/31	2015/02/13 ~ 2015/02/14	本学	7,000

合計申請済みスクーリング費: 14,000円

取消

[スクーリング申請 (タブ)]

申請可能スクーリング科目一覧の表示項目は以下のとおりです。

項目	説明	備考
選択	スクーリング申請する場合に対象の科目コードを選択します。	
科目コード	申請可能な科目コードが表示されます。	
科目名	申請可能な科目名が表示されます。	

申請済みスクーリング科目一覧の表示項目は以下のとおりです。

項目	説明	備考
選択	スクーリングの取消をする場合に対象のスクーリングコードを選択します。	
科目コード	申請したスクーリングの科目コードが表示されます。	
科目名	申請したスクーリングの科目名が表示されます。	
申請年月日	申請したスクーリングの申請年月日が表示されます。	
変更期限	申請したスクーリングの変更期限が表示されます。	
開催期間	申請したスクーリングの開催期間が表示されます。	
開催場所	申請したスクーリングの開催場所が表示されます。	
スクーリング費	申請したスクーリングのスクーリング費が表示されます。	

合計申請済みスクーリング費: 申請済みのスクーリング費の合計金額が表示されます。

申請：

- ①申請したいスクーリングコードを選択し、[申請] ボタンをクリックすると、スクーリング申請確認画面が表示されます。

■ スクーリング申請					
選択	スクーリングコード	科目名	開催期間	開催場所	スクーリング費
<input checked="" type="checkbox"/>	100200000002A1	スポーツ(実技)	2015/02/17～2015/02/19	本学	8,000

[スクーリング申請確認]

- ②申請したいスクーリングを選択し、[申請] ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。申請する場合は、[OK] ボタンをクリックします。スクーリングの申請が完了すると、申請結果画面が表示されます。[スクーリング申請状況画面へ戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。申請を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- ③ [戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。
※各期定められた申請期間内に受講申請が可能です。

申請取消：

- ①申請済みスクーリング科目一覧の申請を取り消したいスクーリングを選択し、[取消] ボタンをクリックします。スクーリング取消確認画面が表示されます。

■ スクーリング取消確認	
スクーリングコード	100200000002A1
科目名	スポーツ(実技)
申請年月日	2015/02/10
開催期間	2015/02/17～2015/02/19
開催場所	本学
スクーリング費	8,000

[スクーリング取消確認]

- ② [取消実行] ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。申請を取り消す場合は、[OK] ボタンをクリックします。スクーリングの取り消しが完了すると、取消結果画面が表示されます。[スクーリング申請状況画面へ戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。取り消しを取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- ③ [戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。
※学修サポートサイト（UniVision）による受講申請期間内のみ取消が可能です。

学修サポートサイト（UniVision）による受講申請の注意事項

●再振替日はありません。

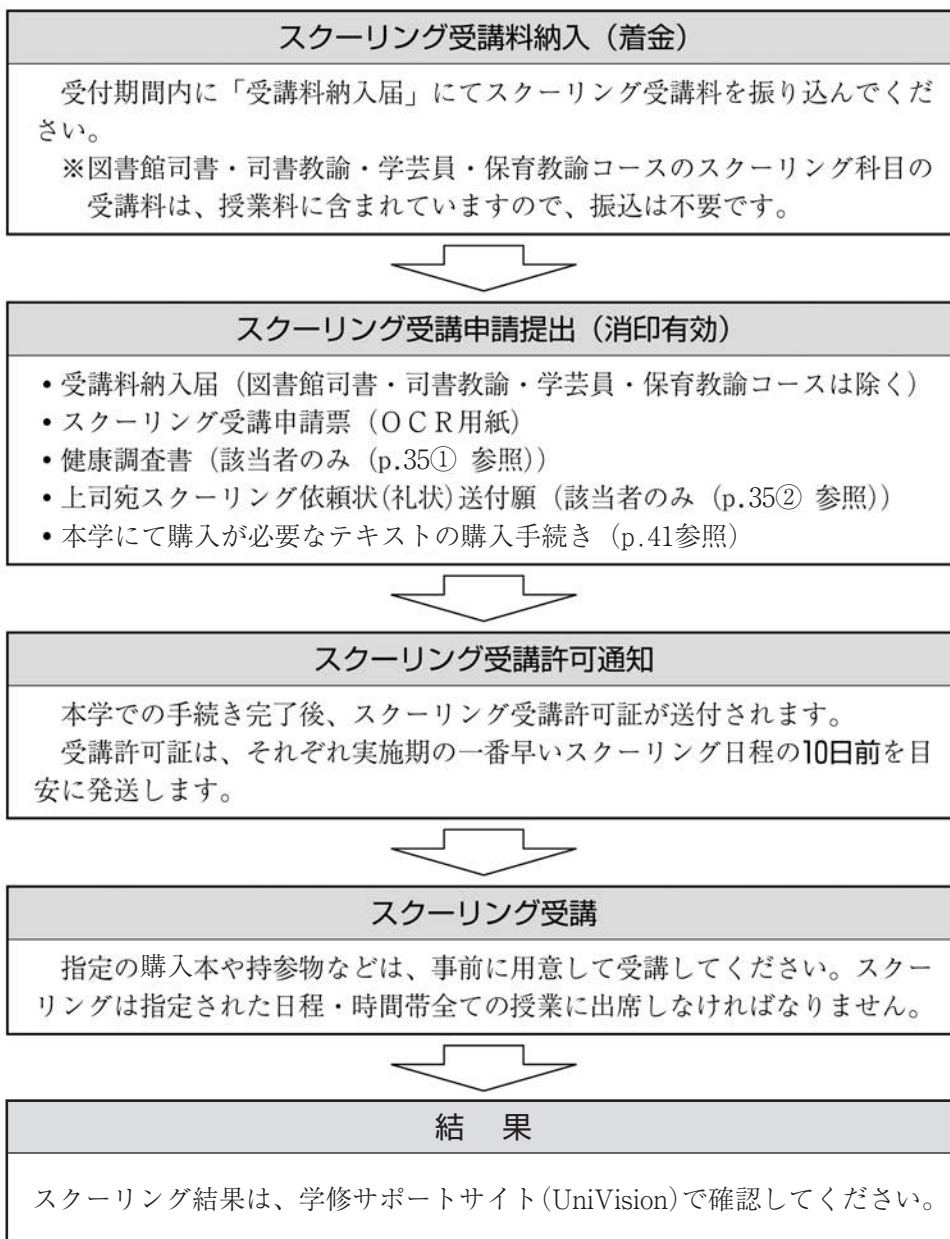
申請終了後、p.25に記載の「口座振替日」に指定の口座より引き落としとなります。「口座振替日」に指定口座が残高不足の場合、再振替は行いません。その場合、受講料未払いとなり、スクーリングの申請は無効となり、受講できません。

●受講申請期間外の変更はできません。

受講科目の変更は学修サポートサイト（UniVision）受講申請期間内に行ってください。申請期間を過ぎた場合は変更ができません。申請期間最終日以降に欠席（変更）を希望する場合は欠席届の提出により手続き（pp.42～43）を行ってください。（手数料1,000円を差し引いた額を返金いたします。）

2 申請方法 OCR提出による申請

1. 受講申請の流れ



【注 意】

- 振込は受付期間内（着金）に行ってください。受付期間より早くとも遅くとも申請受付はできません。
- 書類の不備・不足等があった場合は、受付ができませんので返却いたします。その際の連絡方法は、普通郵便での書面通知とし、電話連絡は一切いたしません。

2. OCR提出による受講申請の受付期間

本 校	時 期	スクーリング受講申請受付期間
	1 期	令和5年6月5日(月)～6月19日(月)
	2 期	令和5年12月1日(金)～12月15日(金)
備 考	上記の期間内に、スクーリング受講料の納入が着金し、「受講料納入届(※1)」と「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければなりません。(受付期間の前・後に入金をしないでください。スクーリング申請が受理できません。) 期間外の申請は、理由の如何を問わず受付をしません。 <u>受付は締切日の消印有効です。</u>	

- ※1 納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.29～31を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。
- ※2 「教職実践演習」の受講申請詳細についてはpp.53～54を参照してください。
- ※3 「こどもと音楽表現 I (ピアノ) / 保育の表現技術(ピアノ) / 音楽表現(ピアノ)」の受講申請詳細についてはpp.55～59を参照してください。

3. OCR提出による受講申請時の提出書類

OCR提出によるスクーリング受講申請の場合、受講を希望するスクーリングの申請期間内に、次の書類を本学へ提出してください。スクーリング受講申請票を提出する際は、封筒に「スクーリング受講申請票在中」と朱書きしてください。

OCR提出による受講申請時の提出書類一覧		
①受講料納入届 (諸経費の納入方法をよく確認してください)	pp.29～31参照	納入方法により提出書類が異なります。
②スクーリング受講申請票	pp.32～33参照	OCR用紙

① 受講料納入届

スクーリング受講料は「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」(pp.3～6)を参照し、「受講料納入届」を使用して、納入してください。受講科目と受講料をよく確認して、同一日時に複数科目の申請を行わないよう気をつけてください。なお、受付期間外の振込は一切認めません。

受講料納入届は、実施期ごとに1枚使用してください。実施期の異なる科目を1枚で納入しないでください。

〔受講料納入届の記入方法〕

受講料納入届					
(大学へ提出してください)					
学部学科	教育学部こども未来学科	整理番号	31101xxxxx		
学校名	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">1</div>				
住所					
電話番号					
担当者名	【印刷用】納入届は通や中に「自費(印刷用)」と表記してください。				
受講料 (納入票目に記入し、科目数・人数・学期別に必要なお受講料を記入してください。)					
チェック欄	項目	受講料	科目数	人数	金額
	スクーリング受講料	6,000円	科目		円
	スクーリング受講料	7,000円	科目		円
	スクーリング受講料	8,000円	科目		円
	スクーリング受講料	14,000円	科目		円
	地方スクーリング受講料	7,500円	科目		円
	地方スクーリング受講料	11,000円	科目		円
	地方スクーリング受講料	18,000円	科目		円
合 計					円

【本人確認手続きについて】平成19年1月1日付から本人確認手続に関する法令の改正により、本人確認書類の提出が必須となりましたので、提出票面の際には、本紙と併せて本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）をご用意の上、銀行窓口までご利用ください。

①大学へ提出

※ATMやインターネットで振り込んだ場合も提出してください。

②本人控え

※納入方法に関わらず、大学に送付せずにご自身で保管してください。

③銀行用

※ATMやインターネットで振り込んだ場合は手元に残ります。

振込金受領証			
(本人控)			
ご依頼日	平成 年 月 日	振込先	三井住友銀行 などでご支店
金額		受取人	学校法人 弘徳学園 (総務大学 通信教育事務部)
手数料		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">2</div>	
学費種別	スクーリング受講料		
上記のとおり振取いたしました。金融機関の領収書（振込金受領証）をもって本学の領収証としますので、本書は大切に保管してください。			

振込依頼書			
(文書扱不可) 電算機			
お振替への ご依頼 ください。 必ず整理番号・フリガナ氏名を打記して	ご依頼日	平成 年 月 日	勘定項目
	振込先	三井住友銀行 などでご支店	金額
	受取人	フリガナ ガク コウタクケン	手数料
	氏名	学校法人 弘徳学園 (総務大学 通信教育事務部)	内訳
	整理番号	31101xxxxx	現金
	ご依頼人	フリガナ 氏名	当店券
	住所		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">3</div>

※コピーした受講料納入届は使用できません。また、一度使用した受講料納入届（整理番号）は使用できませんので、振込ごとに新しい受講料納入届を使用してください。

（お手元がない場合は補助教材の追加申込を行ってください）。

※各期の受付期間内に過不足なく振込をしてください。受付期間前の振込、受付期間終了後の振込は一切認めません。

※図書館司書・司書教諭・学芸員・保育教諭コースのスクーリング科目を受講する場合、受講料の納入は不要です。「スクーリング受講申請票」のみ提出してください。

【諸経費の納入方法】

受講料の納入方法によって、提出書類が異なります。ATMやインターネットで振込をした場合は「受講料納入届」以外にも必要となる書類があります。

■ 銀行窓口で振込む場合 ■

1. 受講料納入届に必要な事項を記入し、銀行窓口にて手続きを行ってください。
2. 受講料納入届の整理番号（10桁）を氏名の前に必ず打電するよう手続きをしてください。
3. 銀行の受領印が押された受講料納入届の①（大学へ提出用）（p.30参照）とスクーリング受講申請票（OCR用紙）と共に受付期間内に提出してください。

■ ATMで振込む場合 ■

1. 受講料納入届に必要な事項を記入した上で振込を行ってください。
2. 必ず受講料納入届の整理番号（10桁）と氏名を打電してください。
3. ATMから発行される利用明細のコピー（原本は本人控えとしてお持ちください）と、振込に使用した受講料納入届の①（大学へ提出用）（p.30参照）をスクーリング受講申請票（OCR用紙）と共に受付期間内に提出してください。

■ インターネットで振込む場合 ■

1. 受講料納入届を記入した上で振込を行ってください。
2. 必ず受講料納入届の整理番号（10桁）と氏名を打電してください。
3. 振込完了後の確認画面を印刷したものと受講料納入届の①（大学へ提出用）（p.30参照）をスクーリング受講申請票（OCR用紙）と共に受付期間内に提出してください。振込画面のメール送付は受付できません。

※どの納入方法でも「受講料納入届」(①大学へ提出用)は必ず提出してください。

②本人控え、③銀行用は大学へ提出する必要はありません。

※提出書類に不備・不足がある場合は受付ができません。

※振込整理番号・氏名の打電がない場合も受付ができません。

諸経費納入の際の注意点

- 申請書類の提出は消印有効ですが、受講料の納入は受付期間内に着金していなければ受付ができませんので注意してください。
- 振込整理番号と氏名の打電を忘れずに行ってください。打電が無い場合は申請受付ができませんので注意してください。
- 銀行で発行される「振込金領収書」をもって、本学の領収書にかえますので、大事に保管してください。
- 図書館司書・司書教諭・学芸員・保育教諭コースのスクーリング受講料は、授業料に含まれていますので、スクーリング受講料は不要です。
- 受取人欄が「近大姫路大学」(旧様式)の受講料納入届は使用できません。

② スクーリング受講申請票

下記の表、スクーリング受講申請票記入方法 (p.33)、スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧 (pp. 3～6) を参考に、スクーリング受講申請票を作成してください。

①スクーリング	本校と地方のどちらのスクーリングを受講するかを区分します。	本校 「0」
②実施期	スクーリングをどの実施期に受講するかを区分します。受講申請票は受講期ごとに1枚作成してください。	1期 「01」 5期 「05」 2期 「02」 6期 「06」 3期 「03」 7期 「07」 4期 「04」 8期 「08」
③学籍番号	学籍番号を記入してください。	
④氏名(フリガナ)	氏名およびフリガナを記入してください。	
⑤所属	該当者のみ記入してください。	
⑥電話番号	昼間に連絡をとることが出来る番号を記入してください。	
⑦振込票整理番号	受講料納入届にある整理番号を記入してください。	
⑧クラス	今年度、クラス分けはありません。すべて「A」と記入してください。	
⑨教 程	「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)」を受講する場合のみ記入してください。(こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)以外の科目では記入しないこと)	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ) 第一段階 「1」 第二段階 「2」
⑩科目コード	受講する科目コードは間違いのないよう記入してください。 入学年度により、コードが異なる場合がありますのでよく確認してください。	pp. 3～6 「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」参照
⑪科 目 名	科目コードに対応した科目名を記入してください。	
⑫受 講 料	各科目の受講料を記入してください。	
⑬会場コード ⑭会 場 名	会場コードと会場名を記入してください。	姫路大学 「00000」
⑮合 計	受講料の合計金額を記入してください。過不足のないよう、確認してください。	

○スクーリング受講申請票 (OCR用紙) およびスクーリング受講料納入届が不足した場合は、補助教材の追加申込を行ってください。補助教材がお手元に届くまで、補助教材追加申込が本学に到着してから約1週間程度かかります。受付期間に間に合うよう前もって請求してください。

○スクーリング受講申請票 (OCR用紙) およびスクーリング受講料納入届はコピーしたものは無効ですので注意してください。

〔スクーリング受講申請票の記入方法〕

- スクーリング受講申請票はOCR方式です。記入が不正確であれば電算機での判読ができないため、受講申請手続きをしても受講できない場合があります。記入後、必ず確認してください。
- 記入にあたっては、HB以上の鉛筆を使用し正確に記入してください。ボールペンや万年筆は使用しないでください。また、誤って記入した部分を消す場合は、消しゴムであとが残らないようきれいに消してください。
- 枠には数字を正確に記入してください（申請票下部の数字記入例を参照してください）。
- スクーリング受講申請票は、実施期ごとに1枚作成してください。（実施期の異なる科目を1枚の申請票に記入しないでください。）

A71

スクーリング受講申請票

姫路大学 通信教育課程

本校：「0」

学籍番号を記入

「受講料納入届」にある整理番号を記入

すべて「A」と記入
こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）のみ、段階を記入

科目コードを記入

科目名を記入

スクーリング 0本校 1地方

実施期

学籍番号

フリガナ

氏名

所属

電話番号（携帯）

申込票整理番号

No.	クラス	段階	科目コード	科目名	会場コード	会場名	受講料
1	8	9	10	11	13	14	12
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

合計 (15)

① 実施期を記入

② 実施期を記入

③ 学籍番号を記入

④ 氏名、フリガナを記入

⑤ 該当者のみ記入

⑥ 電話番号を記入

⑦ 申込票整理番号

会場コードを記入
本校「00000」

会場名を記入
「姫路大学」

受講料を記入

合計金額を記入

（記入にあたっての注意）

①この帳票はコンピュータで処理するため、折ったり、汚したりしないこと。

②黒鉛筆（HB以上）で記入すること。

③実施期・クラス・科目コード・科目名・会場コード・会場名・受講料は、スクーリングのしおりを参照し、正確に記入すること。

④段階は、「こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）」の第1段階を受講する場合は「1」を、第2段階を受講する場合は「2」を記入すること。その他の科目を受講する場合は空欄にすること。

記入例 **0123456789C**

受	付	処	理

折り曲げ厳禁

OCR提出による受講申請の際の注意事項

スクーリング受講申請の手続きについて

- 受講申請受付期間は厳守です。

受付期間内（受付期間の最終日の消印有効）にスクーリング受講料の納入が完了（着金）し、「受講料納入届」と「スクーリング受講申請票」が本学に到着していなければ受付はできません。書類の不備・不足等があった場合も受付はできませんので返却いたします。その際の連絡方法は、普通郵便での書面通知とし電話連絡はいたしませんので、余裕をもって申請をしてください。

※納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.29～31を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。なお、受付期間前の納入も認めておりません。

- 納入金額に間違いがないかよく確認してください。

受講料については、pp. 3～6を参照して、間違いのないよう納入してください。

納入額に誤りがある場合、提出書類が受付期間内に本学に到着していても、受付は保留となります。受付期間内に所定の金額を納入してください。誤ってスクーリング受講料を過払いした場合、原則返金はいたしませんのでご注意ください。

3 その他提出書類について 学修サポートサイト (UniVision) による申請、OCR 提出による申請共通 (該当者のみ提出)

学修サポートサイト (UniVision) による申請を行った方で、下記の書類の提出が必要な方は、受講申請期間内に郵送で提出してください。OCRによる申請を行う方は他の申請書類と共に提出してください。

① 健康調査書

特に持病のある方や妊娠中の方など、事前に状況を連絡いただいた方が良い方は、スクーリング申請とともに提出してください。

スクーリング期間中はハードなスケジュールとなりますので、健康な方であっても体調を崩すことがあります。特に事情のある人は、医師の診断を受けた上でスクーリングを受講してください。健康調査書作成に当たっては、過去に入院・発作・その他を起こしたことがあり、心配のある方は報告してください。

なお、妊娠中の方が運動や実技を伴う科目を受講することは認めておりません。また、講義科目であっても、産前6週間、産後8週間の期間に該当する場合も受講は認めておりません。

② 上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願

働きながら学ぶ通信教育生がスクーリングに出席するためには、その期間仕事を休まなければなりません。このことに対する各職場の理解は年毎に向上しているとはいうものの、このために休暇を取ることに困難な場合があります。

本学では、このような状況を少しでも改善し、1人でも多くの学生が受講できるよう、職場の上司に対してスクーリングの意義とその必要性を説明し、受講についての特別の理解と援助を求める依頼状を用意しています。

依頼状を希望する人は、本冊子の巻末にある「上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願」に手数料の郵便定額小為替と諸経費納入整理票に返信用封筒(宛名明記、切手添付)を添えて、受講手続きと同時に通信教育事務課まで申請してください。依頼状に加えて礼状を希望する人は、手数料の郵便定額小為替と諸経費納入整理票に返信用封筒2通(宛名明記、切手添付)を添えて申請をしてください。

なお、依頼状・礼状の発行には日数を要します。余裕をもって申請をしてください。礼状は受講申請した全てのスクーリングが終了した後の発行となります。

③ 各種申込書

a) 諸経費納入整理票 (3連綴り)

授業概要に「本学にて購入手続」と記載のあるテキストは市販されていないため、「諸経費納入整理票」にて本学で購入手続をしてください。手続については、p.41を参照し各自購入手続を行ってください（スクーリング受付期間内に必ず手続を行ってください）。

なお、購入本は本学では購入できませんので書店にて購入してください。書店にて取り寄せになる場合もありますので、余裕を持って購入を済ませておいてください。

購入本によっては、他の科目の配本テキストとして指定されている場合があります。授業概要および配本テキストをよく確認した上で手続を行ってください。

b) 旅客運賃割引証交付願 (正科生のみ)

スクーリングに出席するためにJR線を利用する場合、居住地の最寄駅から会場の最寄駅までの片道が100km以上の場合に限り、学生運賃割引証(学割証)を発行いたします。手続については学習(修)便覧を参照し、学習(修)便覧巻末の様式集、または本学ホームページ掲載の「旅客運賃割引証交付願」にて申込をしてください。

※ スクーリング受講申請受付期間内に、申込をしてください。受付期間外の提出は、学生運賃割引証(学生証)を発行することができません。

c) 実習用通学証明書 (正科生のみ)

利用にあたっては、居住地の最寄駅から会場の最寄駅までの1ヵ月定期券とします。ただし、有効期間が1ヵ月であっても、スクーリング参加日のみの利用となり、参加日以外に利用することはできません。手続については学習(修)便覧を参照し、巻末および本学ホームページ掲載の「実習用通学証明書発行願」にて申込をしてください。

※ スクーリング受講申請受付期間内に、申込をしてください。

V. スクーリングについて

1. 受講方法

正科生のスクーリングは4年間の履修計画に基づいて学年別に開講科目を決めています。したがって、正科生は学年別に配当されている科目を受講することになります。

ただし、前の学年で履修すべき科目が未申請、未修得である場合は次の学年で受講することができます。たとえば、1年次配当科目のスクーリングに出席できなかった場合に、次の年次で受講することができます。なお、科目等履修生は配当年次に関係なく受講することができます。また、日程が重複している場合は、どちらか一方のみの科目しか受講することができません。

〔正科生に関する留意事項〕

1年次入学生は30単位以上、3年次編入生は15単位以上のスクーリング単位が卒業要件として必要となります。

また、卒業の3ヵ月前までに必要な単位が揃っていない場合は、卒業ができませんので計画的に受講してください。

〔教員免許取得希望者に関する留意事項〕

教員免許取得希望者は、それぞれの免許ごとに必修科目がありますので、入学年度のカリキュラムをよく確認して履修してください。

2. 卒業との関連について

〔令和5年9月卒業予定（正科生）の方〕

令和5年9月卒業予定の方は、令和5年度本校スクーリングを受講することができます。（令和5年度本校3期スクーリング（7月）をのぞく）

〔令和6年3月卒業予定（正科生）の方〕

令和6年3月卒業予定の方は、令和5年度本校1期スクーリング（8月～9月）、令和5年度本校4期スクーリング（11月）が最終となります。

〔令和6年9月卒業予定（正科生）の方〕

令和6年9月卒業予定の方は、令和5年度本校2期スクーリング（2月～3月）、令和6年度本校3期スクーリング（7月（予定））が最終となります。

3. 受講準備

各科目の授業概要を確認し、購入本や持参品等の準備をしてください。購入本は受講前に必ず一読してください。また、配本されているテキストがある場合は必ず持参してください。(印刷・面接科目の配本テキストも同様です。) 配本テキストも受講前に一読し事前学習をしてください。

また、科目によっては体育館シューズやリコーダーを持参しなければなりませんので、前もって準備をしてください。

4. 受講にあたっての注意事項

科目によっては1日(5コマ)、1.5日(7.5コマ)、3日(15コマ)と開講日数が異なりますが、いずれの場合も配当されている日数は全て受講しなければなりませんので、開講科目の予定する日数の一部だけに出席してもスクーリング単位を修得することはできません。個人の都合による授業時間の短縮はいかなる理由があっても一切認めません。

また、スクーリングを受講申請している方以外の方のスクーリングの受講は認められません。例) お子様と一緒に受講はできません。

5. 受講許可証について

指定の期間内に所定の手続きを完了された方に受講許可証を発送します。受講許可証は、それぞれの実施期の一番早いスクーリング日程の10日前を目安に発送します。5日前になっても届かない場合は通信教育事務課までご連絡ください。

受講許可証は、スクーリング当日に必ず持参してください。遠隔(オンライン)授業の場合も手元に準備してください。受講許可証がない場合はスクーリングを受講できません。なお、受講許可証を紛失された場合、原則再発行できませんので注意してください。

6. 単位認定試験について

- (1) この試験は、各科目スクーリング終了後に行いますので、受講生は必ず全員受験してください。ただし、科目によっては、演習・実技や作品をもって「単位認定試験」にかえる場合があります。
- (2) 単位認定試験を受験する際には、必ず机の上に学生証(身分証明書)・受講許可証を呈示してください。ない場合は受験が認められませんので、必ず持参してください。
- (3) 答案用紙には、必ず科目名ならびに学籍番号と氏名を記入してください。
- (4) 面接科目および印刷・面接科目は、スクーリング終了後に行われる単位認定試験をもって科目試験にかえますので、改めて科目試験を受験する必要はありません。
- (5) 受講したスクーリング科目が不合格となった場合や欠席した場合は、その科目のスクーリングを改めて受講しなければなりません。

7. 授業時間について

	時 間 帯
午前授業	9：00～13：00
午後授業	14：00～18：00
全日授業	9：00～18：00

- (1) 定められた授業時間は全時間受講することが必要です。
- (2) 各教科の授業開始より30分以上の遅刻は「欠席」となりますので、時間に余裕を持って出席してください。早退は認めておりませんので、早退の場合は「欠席」となります。また、各教科の授業に30分以上にわたり出席できなかった場合も「欠席」扱いとなります。
- (3) 授業開始時には入室、着席しておいてください。遅刻になりそうな場合は通信教育事務課まで連絡してください。連絡のない遅刻については、受講が認められない場合があります。
- (4) 公共交通機関の遅れによって授業開始に間に合わなくなった場合は、通信教育事務課まで連絡してください。その場合、必ず遅延証明を提出してください。遅延証明の提出により、授業途中からの受講を認める場合があります。
- (5) 遠隔(オンライン)授業において、いかなる理由があろうとも通信が30分以上途切れた場合、また、長時間にわたって受講実態が確認できない場合、スクーリングは「欠席」扱いとなります。不具合により受講できないことに対し、補償(受講料の返金等)や再受講の対応は行っておりません。

8. 気象警報による休講措置について

○対面授業の場合

「対面」でスクーリングを受講する場合、スクーリング・ガイダンス当日に各会場所在地に以下の警報が発令された場合の取り扱いは下記の通りとします。なお、気象警報が発令された場合、電話連絡は行いませんので各自でご確認ください。

「暴風警報」、「大雨・洪水警報」

※「大雨・洪水警報」は、大雨警報および洪水警報が同時に発令されている場合に限ります。

◆午前(9時)からのスクーリング……午前7時時点

◆午後(14時)からのスクーリング……正午時点

上記の通り、警報が発令された場合、スクーリングは中止とします。(9時からのスクーリングは終日中止とします。) 振替等の措置については後日通知しますので、再度手続きを行ってください。

スクーリング会場所在地に警報が発令されていなくとも、自宅周辺に警報が発令され

ている場合や、指定する時間より早く自宅ならびに宿泊先を出発しなければならない場合もあると思いますが、決して無理をしないよう、安全を第一に考え行動してください。

講義中に警報が発令された場合もスクーリングは中止となります。この場合も、振替等の措置は後日連絡します。

○遠隔(オンライン)授業の場合

「遠隔(オンライン)」でスクーリングを実施する場合は前項の気象警報の発令にかかわらず、スクーリングを実施します。ただし、「来校し、本学の通信機器を使用して遠隔(オンライン) 授業を受講」する学生は事務にご相談ください。

9. 交通費および宿泊費について

- (1) 正科生のみ、学生運賃割引証および実習用通学証明書の発行が可能な場合があります。学習(修)便覧および本書の「その他提出書類について」(p.36)をよく確認し、申込を行ってください。
- (2) 宿泊施設の斡旋等はありません。
- (3) 気象警報、講師の体調不良等による休講およびスクーリング受講不許可になった場合の宿泊費・交通費等につきましては、本学では保障いたしかねますので、ご了承ください。

10. 授業中の心得について

- (1) 授業開始時には入室、着席しておいてください。
- (2) 授業中の私語は禁止します。
- (3) 授業中は携帯電話の電源を切ってください。
- (4) 受講態度の悪い者は受講を取り消し、即刻退室させることがあります(受講料は返金しません)。
- (5) 授業教室以外の教室には、許可なく入室しないでください。

11. 結果通知について

スクーリング終了後、印刷単位を含まない科目は、受講態度や単位認定試験の成績に基づき単位が認定されます。成績は下記の通り、〔S、A、B、C、D〕の記号で通知します。

結果がDの場合は不合格ですので、合格するまで再受講しなければなりません。(再受講の際は、再度申請手続きが必要です)。

スクーリング結果は、学修サポートサイト(UniVision)にて確認してください(ハガキによる通知は行いません)。*成績に関するお問い合わせには応じることができません。

成績	素点	合否
S	100~90点	合格
A	89~80点	
B	79~70点	
C	69~60点	
D	59~0点	不合格

〔注意〕

印刷・面接科目は、スクーリング終了後に行われる単位認定試験をもって科目試験にかえますので、改めて科目試験を受験する必要はありません。

12. 購入本の準備について

- (1) 授業概要に購入本が記載されている場合、購入本を各自で購入する必要があります。本学図書館での借り出し、窓口での購入はできませんので、必ず事前に購入して持参してください。購入本を持参しない場合、スクーリングの受講が認められない場合があります。
- (2) 「本学にて購入手続き」のテキストは市販されていないため、スクーリング受講申請時に本学で購入手続きを行う必要があります（原則期間外の受付はできませんので注意してください）。テキストによっては、他の科目の配本テキストに指定されているものもありますので、授業概要およびお手持ちの配本テキストをよく確認した上で手続きを行ってください。
- (3) 購入本は本学では購入できませんので書店にて購入してください。入手が難しい書籍もありますので、余裕をもって購入しておく必要があります。
- (4) 印刷・面接科目の配本テキストはスクーリング時に必ず持参してください（印刷単位が含まれる科目には、配本テキストがあります）。
- (5) 購入本・配本テキストは受講前に必ず一読した上でスクーリングを受講してください。

〔本学にて購入手続き時に必要な書類〕

スクーリング受講申請受付期間内に下記の書類を郵送してください。

※「本学にて購入手続き」のテキストのみ、本学で購入可能です。購入本は書店にて購入してください。

① 諸経費納入整理票 (3連続り)	「学習(修)便覧」巻末、「スクーリングのしおり・授業概要」巻末にあります。 本学ホームページより様式集のダウンロードが可能です。
② 普通為替・定額小為替	郵便局にて購入してください。 本学からの返金はできませんので、お釣りの出ないようにテキスト代金合計分を購入してください。

13. 欠席届の提出について

- ① 受講手続きが完了した後、欠席する場合は、必ず巻末の「スクーリング欠席届」を提出してください。
- ② 欠席届が所定期日までに提出された場合に限り、手数料1,000円を差し引いて返金します。(図書館司書・司書教諭・学芸員・保育教諭コースのスクーリング科目の返金はありません。)

【欠席届の提出方法】

下記の方法によって受講科目初日の前日17:00までに欠席の連絡があった場合は、手数料1,000円を差し引いて、現金書留封筒にて返金を行います。現金のみを郵送し、内訳の通知はおこないませんので、各自欠席届の控えを保管してください。連絡方法・提出物・時間などをよく確認してください。

下記に記載している方法以外での欠席連絡は、返金対象となりませんので注意してください。

<p>郵送で スクーリングの欠席を連絡する場合</p>	<p>「<u>欠席届</u>」・返金用の「<u>現金書留封筒</u>」を郵送。 (受講科目初日の<u>前日17:00</u>までに通信教育事務課必着。)</p> <p>【郵送先：〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2】</p>
<p>FAXで スクーリングの欠席を連絡する場合</p>	<p>「<u>欠席届</u>」をFAXにて送信。 (受講科目初日の<u>前日17:00</u>までに通信教育事務課必着。)</p> <p>FAX送信後、3日以内に「<u>欠席届</u>」の原本・返金用の「<u>現金書留封筒</u>」を郵送。 【FAX送信先：079-247-7394】</p>
<p>メールで スクーリングの欠席を連絡する場合</p>	<p>①学籍番号②氏名③欠席するスクーリングの科目名・日程をメールにて送信。(受講科目初日の<u>前日17:00</u>までに通信教育事務課必着。)</p> <p>メール送信後、3日以内に「<u>欠席届</u>」・返金用の「<u>現金書留封筒</u>」を郵送。 【メール送信先：kyoiku@koutoku.ac.jp】</p>

※現金書留封筒の『お届け先』欄に住所・氏名を明記してください。返信用切手は不要です。(p.43参照) 現金書留封筒の提出後に住所・氏名が変更となった場合は、属性変更届および現金書留封筒の再提出が必要となります。

注意

- (1) スクーリング欠席届が期間外に通信教育事務課に到着した場合は、受理しません。

- (2) 欠席届の原本は、左記の定められた期間内に送付してください。原本がない場合、期日までに送付されない場合は、返金することはできません。
- (3) 現金書留封筒(宛名明記)を必ず同封してください。同封なき場合は返金しませんので十分注意してください(返信用切手は不要です)。なお、同一期に2回以上欠席届を提出する場合、現金書留封筒は1通のみの提出でかまいません。(図書館司書・司書教諭・学芸員・保育教諭コースのスクーリングを欠席する際は同封不要です。)
- (4) 電話での欠席連絡は返金対象となりません。
- (5) 返金については、各スクーリング実施期終了後に担当教員より成績報告票を受理し、欠席確認等の事務処理をした後となるため、返金が遅くなりますのでご了承ください。各スクーリング期間終了後、約2カ月程度かかります。
- (6) 一度受講申請を取り消した科目については、申請期間であっても同一スクーリング期間に再度申請を行うことはできません。(欠席届の取り下げはできません。)

〔現金書留封筒の記入方法〕

The diagram shows a cash-on-delivery envelope with the following fields and labels:

- 郵便切手** (Postage stamp): A dashed box on the left side.
- 郵便番号** (Postal code): A row of seven boxes at the top right.
- お届け先** (Recipient address): A large rectangular box containing fields for 'お届け先: To' (Address), 'おなまえ: Name', and 'でんわ: Telephone'. A label points to this box with the text '住所・氏名・電話番号を記入してください。' (Please enter address, name, and phone number).
- ご依頼主** (Requester): A smaller rectangular box at the bottom containing fields for 'ご依頼主: From' (Address), 'おなまえ: Name', and 'でんわ: Telephone'.
- 現金書留** (Cash-on-delivery): A dashed box at the bottom right.

Additional instructions on the right side of the diagram:

- 切手は不要です。貼付せずに提出してください。(No postage stamp is required. Please submit without affixing it.)
- 郵便番号を記入してください。(Please enter the postal code.)

※太枠のみ記入してください。

14. 「遠隔(オンライン)」スクーリング受講について

【遠隔授業申請について】

スクーリング受講申請期間内に「遠隔授業受講申請書」をご提出ください。「遠隔授業」にて受講する全ての科目について記入が必要です。提出のない場合はスクーリングを受講することはできません。

【受講必要環境】 受講に必要なPC環境は下記の通りです。

OS：Windows10

※MacOSでも受講は可能ですが、操作方法等ご自身で確認してください。

アプリケーション：Word2016、Excel2016、Adobe Acrobat Reader DC（最新版）

※前後1つ程度のバージョン違いがあっても受講することは可能ですが、授業は原則上記のバージョンで行いますので、環境の違いに関する質問には授業内で回答することができない可能性があります。ご自身の受講環境で使用しているアプリケーションソフトの操作方法に読み替えて操作できるよう、事前に準備してください。

周辺機器：Webカメラ、マイク（周囲の環境により、イヤフォン）

【遠隔授業受講要件】

※①～⑥の条件を満たすことができる場合のみ学校以外の場所で遠隔授業の受講が可能です。1つでも満たすことができない項目がある場合、来校し大学の通信機器にて遠隔授業を受講してください。

- ①遠隔授業に使用する機器（パソコン・スマートフォン・タブレット等）は、カメラ・マイク・スピーカーの機能がすべて備わっており、使用が可能な状態である。
- ②長時間の受講に耐え得るネットワーク環境を準備できる。（通信速度制限のないWi-Fi等がある。）遠隔授業中は、1科目につき1日半以上にわたり、動画および音声の大量のデータのやりとりが行われます。
- ③オンライン授業を受講するためのツールやネットワークの設定に関する理解があること。本学では個別のツールの使用方法についてはお答えできませんので、使用するツールのことでわからないことがあれば、ご自身で調べてください。
- ④受講する科目に別途（追加で）受講要件、準備物（p.17～20参照）が定められている場合、その要件も満たすことができる。
- ⑤使用を予定しているツールのアプリを必要に応じてダウンロードしている。
- ⑥終日発言が可能な場所で遠隔授業を受講できる。

遠隔授業では、必要に応じて教員からの問いにマイクを使って回答していただきます。科目によっては楽器などを使用する必要もあります。①、②の条件を満たしていても、発言が自由にできない場所（図書館等）では受講できませんので、ご注意ください。

【受講環境が整わない場合】

自宅等で遠隔授業を受講する環境を整えることが難しい場合や特段の事情で学生本人が希望する場合来校し、大学の通信機器を使用して遠隔授業を受講していただくこと

が可能です。その場合、事前に大学へ遠隔授業受講申請書にて申請が必要となります。「遠隔授業受講申請書」にて申請をしていない科目については、大学の通信機器を使用して受講することはできませんのでご注意ください。

また、大学の通信機器を使用される場合でも Google Meet ならびに Google Classroom の使用方法は必ず確認しておいてください。

【担当教員オリエンテーションについて】

受講予定の科目に教員によるオリエンテーションがある場合、必ず受講してください。(対象者は受講者全員です。大学で受講される方もオリエンテーションの受講が必要です。受講しない場合、スクーリングの受講が認められませんので、ご注意ください。(当日の受講方法や事前課題等についての説明があります。))

【動作確認について】

大学以外の場所で遠隔授業の受講を予定している方は、スクーリング受講日当日と同じ環境での動作確認への参加を推奨します。希望者は以下の日程にご参加ください。(遠隔授業受講申請者全員、動作確認用の Google Classroom へ招待を行います。当日使用する URL は Google Classroom 内で発表します。) スクーリング当日、不具合等により受講できないことに対し、補償や再受講の対応は行いません。少しでも不安のある場合は必ず参加してください。

●動作確認実施日●

○ Google Meet ○

本校 1 期 [1] 令和 5 年 7 月 15 日 (土) 10:00~12:00

本校 2 期 [2] 令和 6 年 1 月 20 日 (土) 10:00~12:00

○ Zoom ○

本校 1 期 [1] 令和 5 年 7 月 15 日 (土) ①10:30~11:00 ②11:30~12:00

本校 2 期 [2] 令和 6 年 1 月 20 日 (土) ①10:30~11:00 ②11:30~12:00

【遠隔授業実施中の問い合わせについて】

個々の環境に起因する不具合、操作方法等における問い合わせについては回答できません。事前に使用環境、操作方法等をしっかりと確認しておいてください。教員に質問等がある場合は授業中に質問を行うか、事前に質問票や質問メール、Google Meet 内でのチャットを使用してください。

【遠隔授業連絡事項送信について】

遠隔授業に関する全ての連絡事項は、大学公式の Google メールアドレス (アカウント) ならびに Google Classroom へ通知します。必ず確認してください。

【Google Classroomについて】

遠隔で実施する全ての科目についてGoogle Classroomを作成、使用します。受講申請された方を授業開始日までに招待しますので必ず承認してください。授業中に使用する資料は教員がGoogle Classroom内で提示します(一部の科目を除く)。また、スクーリング中に行う試験や提出物等もGoogle Classroomの「授業」機能等を使用して提出します(一部の科目を除く)。Google Classroomの使用方法を必ずご確認ください。

【授業URLについて】

授業で使用するURLはGoogle Classroomで発表しますので遠隔授業を受講される方は、招待メールを確認し、受講日当日までにGoogle Classroomへ必ず入室してください。スクーリング当日は授業開始時間の5分前を目安にGoogle Meetへ入室してください。

【欠席について】

各教科の授業開始時間より**30分以上の遅刻は「欠席」と**なります。また、授業の途中においても、いかなる理由があろうとも通信が30分以上途切れた場合また、長時間にわたって受講実態が確認できない場合、スクーリングは「欠席」扱いとなります。不具合により受講できないことに対し、補償(受講料の返金等)や再受講の対応はありません。

【遠隔授業受講時の制限、禁止事項】

- 1) 教職員と学生間のプライベートチャット、通話等による連絡
- 2) 相互に了解しない状態での学生同士の連絡
- 3) その他授業目的に合致しない行為
- 4) 学生による録音、録画、画面キャプチャ、スクリーンショット
- 5) 自身が学習する目的以外での、システム(コンテンツ)の利用

【遠隔授業受講における注意について】

対面授業において認められない行為は遠隔(オンライン)授業においても認められません

遠隔授業は、通常の対面授業を受講する心がまえで臨んでください。

遠隔(オンライン)授業は自宅など普段授業を受講する学校の教室とは別の場所で行うこととなりますが、大学の教室で受講する際と同じ心構えで受講してください。

Ⅵ. 持参品について

詳細については、授業概要に掲載しておりますので、ここでは基本的なことについて記載します。

授業に 関するもの	配本テキスト	印刷・面接科目の場合
	購入本（テキスト）	授業概要を確認し、各自事前に購入しておく必要があります。
	授業に必要な用具	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記用具 • 「スポーツ(実技)」等の運動をする科目を受講する人は、運動に適した服装（トレーニングウェア）、運動靴（体育館用シューズ）を準備すること。 • その他科目によって必要なものについては、授業概要を参照してください。
各種手続き等 に関するもの	スクーリングのしおり	
	学生証（科目等履修生・特修生は身分証明書）	スクーリング受講および単位認定試験の際に必要なとなります。
	学生証（身分証明書） フォルダー	
	スクーリング受講許可証	
日常に 関するもの	健康保険証	
	常備薬	
その他	教室は冷暖房完備ですが、感じ方には個人差がありますので各自温度調整できるもの（ひざかけ等）を用意してスクーリングに臨んでください。	

※本誌でいう「身分証明書」は、本学が科目群履修生、科目別履修生、特修生に対し発行したものをいいます。

Ⅶ. 学内生活に関する事項

1. 校舎内の出入りについて

夜間や日曜・祝日の校舎の警備は、警備会社に委託しているため、次の時間以外は校舎への出入りはできませんので注意してください。

		月～金曜	土 曜	日曜・祝日
スクーリング 期 間 中	入校開始時刻	8：00	8：00	8：00
	最終下校時刻	20：00	18：30	18：30
スクーリング 期 間 外	入校開始時刻	8：00	8：00	
	最終下校時刻	20：00	16：00	

※その他学内の行事等で変更する場合があります。

2. スクーリング中の通学方法について

原則、公共交通機関を利用してください。

自動車で通学をする場合は、必ず自動車入講許可証を守衛室で見せてから、学生用駐車場に駐車してください。(教職員用駐車場には駐車できません。)

駐車中は、入講許可証を車外から見える場所に置いてください。夜間の駐車はできませんので、自動車を学内に駐車したまま帰宅しないでください。

3. 学生証の携帯について

学生証(身分証明書)は、常に携帯することが必要です。特に、スクーリングの受講、科目試験の受験、乗車券の購入および検札の際等には呈示を求められますので、必ず携帯してください。スクーリング受講期間中に、在籍延期手続きのため本学へ学生証(身分証明書)を返却する場合は、事前にコピーをとってください。

学生証を忘れた場合、原則再発行となり手数料が発生しますので、ご注意ください。

4. 図書館の利用について

大学の授業は、単に講義を聞きテキストを学ぶだけでは充分とはいえません。それに関連した参考図書を広く読む必要があり、そのためにも図書館の利用が望まれます。

図書館の利用時間は次の通りです。

◎開館時間

月～金曜 9：00～20：00 土曜 9：00～16：00

※開館時間は学内の行事等により変更となる場合があります。スクーリング期間中の開館日時は、「しらさぎ通信」でお知らせします。

また、本学のホームページからも図書館の開館日時を確認できますので、確認してください。

5. 掲示板

スクーリング期間中の学生への連絡は、原則として掲示により行いますので、登校・下校の際は必ず 1号棟エントランスの掲示板を確認してください。

本学では、掲示した事柄はすべての学生に周知徹底したものととして扱い、掲示を見なかったために生じた不都合は本人の責任とします。

また、スクーリング当日は必ず掲示を確認し、各自初日集合場所に移動してください。スクーリング中の移動教室については、教員の指示に従ってください。

外部からの電話に対する呼出しはできません。

6. ピアノの使用について

スクーリング受講期間中、練習のために大学のピアノを使用するにあたっては、練習室の関係で多数の学生の希望を同時に満たすことができません。使用時間を1人1日につき30～60分間として、できるだけ多くの学生がピアノを使用できるよう心がけてください。(希望者は、新2号棟4階のピアノレッスン室使用管理簿に必要事項を記載し、使用してください。空いている部屋を使用してください。)

7. 健康管理室について

学内には健康管理室を設けていますが、スクーリング期間中、保健師が不在場合があります。したがって、スクーリング中の健康には十分留意してください。特に、持病のある学生は体調を整えてスクーリングに臨んでください。

また、「健康保険証」を全員必ず持参してください。「健康保険証」を忘れて通院した場合は実費支払いとなります。なお、「健康保険証」のコピーは使用できませんので、留意してください。

8. 体育館について

体育館では、必ず運動靴(体育館用シューズ・上履き)を使用してください。

「運動のできる服装」など、服装に指定がある科目のスクーリングを受講する場合は、事前に指定された服装に着替えた状態で、集合場所に入室してください。

9. 貴重品の取扱いについて

貴重品は各自責任をもって保管または携帯してください。教室等に放置することはないでください。貴重品の紛失・盗難等につきましては、本学では一切責任を負いかねます。

10. 食堂・売店について

スクーリング期間中は原則営業していますが（土日祝のぞく）、一部営業のない日もありますので、営業日および営業時間については、掲示板で確認してください。営業のない日にスクーリングを終日受講する際は、昼食を持参してください。

11. 本校スクーリング中の窓口業務の取扱いについて

受付時間 8：30～18：20

土曜・日曜・祝日は担当者の出勤を当番制にしていますので、願い出や相談はできるだけ平日を利用してください。

なお、データの印刷・コピー・文房具の貸し出しには対応できません。データの印刷やコピーは情報処理室およびコピー機等をご利用ください。文房具は売店をご利用ください。

12. 学内での喫煙について

学内での喫煙は決められた喫煙所でお願ひします。喫煙場所はp.158で確認してください。

13. 健康管理上の注意事項について

- (1) 保健・衛生に心がけ、生水・生ものはできるだけ飲食しないでください。また、常に手洗い・うがいをしよう心がけてください。
- (2) 健康調査書（本誌巻末）の提出について

特に持病のある方や妊娠中の方など、事前に状況を連絡いただいた方が良い人は、スクーリング受講申請書類とともに提出してください。

スクーリング期間中はハードなスケジュールとなりますので、健康な方であっても体調を崩すことがあります。特に事情のある人は、医師の診断を受けた上でスクーリングを受講してください。

なお、妊娠中の方が運動や実技が伴う科目を受講することは認めておりません。また、講義科目であっても、産前6週間、産後8週間の期間に該当する場合も受講は認めておりません。

また、健康調査書作成に当たっては、過去に入院・発作・その他を起こしたことがあれば、報告してください。

VIII. 教育(養護)実習事前・事後指導 スクーリングについて

平成28年度以降の入学生（平成29年度3年次編入生を除く）は、教育（養護）実習事前指導スクーリングおよび事後指導スクーリングの受講が必要です。

1. 履修方法

【教育(養護)実習事前指導】 スクーリング（本校1期、本校2期）

実習を実施するにあたって、事前にスクーリングを受講してください。スクーリングを受講するためには、受講申請受付期間内に申請が必要です。

スクーリングは、事前に配本されるテキストをよく読み臨んでください。また、スクーリングで課される課題について、スクーリング終了後2週間以内にレポートを作成してください。（レポート評価票は、「教育実習（小学校）事前指導レポート」「教育実習（幼稚園）事前指導レポート」「養護実習事前指導レポート」と記入してください）。2週間を過ぎて提出された場合は受付しません。その場合は再受講となります。

【教育(養護)実習事後指導】 スクーリング（本校3期、本校4期）

実習終了後、直近で実施されるスクーリングを受講してください。スクーリングを受講するためには、受講申請受付期間内に申請が必要です。なお、受講料はかかりませんので、納入手続きは不要です。

※スクーリング受講時、実習簿を持参してください。

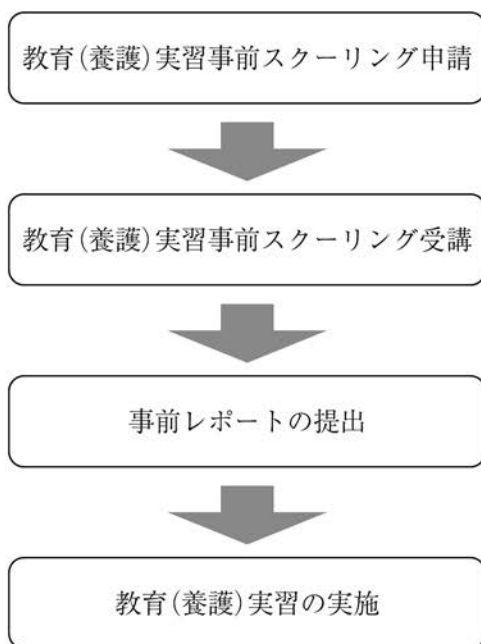
【教育(養護)実習事後指導レポートの作成方法】

- 本学のレポート作成のルールに従って作成し、実習簿と合わせて提出してください。設題が2つある場合でも1つにまとめて提出してください。
- 各科目名には「教育実習（小学校）事後指導レポート」「教育実習（幼稚園）事後指導レポート」「養護実習事後指導レポート」と記入してください。
- 各レポート設題についてはレポート設題集に掲載していますので、確認してください。

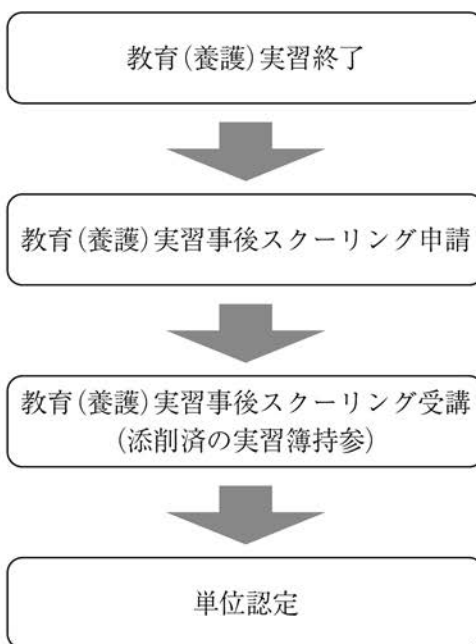
※上記の教育(養護)実習事前指導および事後指導の両方が合格し、「教育(養護)実習事前・事後指導」の成績が確定となります。

2. 教育(養護)実習事前・事後指導スクーリングの流れ

○事前スクーリングの流れ



○事後スクーリングの流れ



※上記の教育(養護)実習事前指導および事後指導の両方が合格し、「教育(養護)実習事前・事後指導」の成績確定となります。

3. 「教育(養護)実習事前・事後指導」(事後指導スクーリング)

開講日程および受講申請受付期間 (OCR提出による申請)

実施期	科目名	実施方法	日程	受付期間(消印有効)
本校3期	養護実習事前・事後指導 (事後指導)	対面	令和5年7月15日(土) 9:00~12:00	令和5年5月23日(火) ~6月3日(土)
	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導 教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	対面	令和5年7月22日(土) 9:00~12:00	
本校4期	養護実習事前・事後指導 (事後指導)	対面	令和5年11月11日(土) 9:00~12:00	令和5年9月25日(月) ~10月6日(金)
	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導 教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	対面	令和5年11月18日(土) 9:00~12:00	

※受講を希望する日程の受付期間内に「スクーリング受講申請票」を提出してください。

※学修サポートサイト(UniVision)による受講申請手続はpp.24~27をご確認ください(申請期間が異なります)。

Ⅸ. 教職実践演習のスクーリング開講日程 および申請について

1. 「教職実践演習」について

【概要】

教職実践演習は、当該演習を履修する者の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するものです。

教職課程での様々な活動を通じて学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され形成されたかについて、姫路大学が目指す教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば免許課程全体を通じた「学びの軌跡の集大成」としています。学生はこの科目を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されます。

【履修方法】

「教職実践演習」の履修方法は、印刷・面接授業です。スクーリング1.5日とレポートの提出を行い、どちらとも合格で単位の修得となります。

2. 「教職実践演習」の履修の流れについて

- ① 教育(養護)実習の終了・履修カルテの作成 (履修カルテは在学(籍)中、学習の進捗に応じて随時作成してください。)
- ↓
- ② スクーリングの受講申請
- ↓
- ③ スクーリングの受講
※履修カルテを作成・持参していない場合、スクーリングは受講できません。
- ↓
- ④ レポートの提出
※スクーリング終了後2週間以内に提出
「教職実践演習」のレポートについては、スクーリングの受講・合格が確定した方のみ、レポートの採点が可能になります。スクーリングを欠席・不合格となった場合は、次回のスクーリングを受講し、レポートの提出が必要となります。
- ↓
- ⑤ ③と④の合格で単位認定

3. 「教職実践演習」スクーリング開講日程および受講申請受付期間 (OCR提出による申請)

実施期	科目名	実施方法	日程	受付期間 (消印有効)
本校3期	教職実践演習 (養護)	対面	令和5年7月15日(土) 14:00~18:00 令和5年7月16日(日) 9:00~18:00	令和5年5月23日(火) ~6月3日(土)
	教職実践演習 (幼・小) / 教職実践演習	対面	令和5年7月22日(土) 14:00~18:00 令和5年7月23日(日) 9:00~18:00	
本校4期	教職実践演習 (養護)	対面	令和5年11月11日(土) 14:00~18:00 令和5年11月12日(日) 9:00~18:00	令和5年9月25日(月) ~10月6日(金)
	教職実践演習 (幼・小) / 教職実践演習	対面	令和5年11月18日(土) 14:00~18:00 令和5年11月19日(日) 9:00~18:00	

上記受付期間内にスクーリング受講料の納入が着金し、「受講料納入届」と「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければ受付できません。(受付期間の前・後に入金しないでください。スクーリングの申請が受理できません。)

納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.29~31を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。

受付締切は受付期間最終日の消印有効です。期間外の申請は理由を問わず受付ができません。
※学修サポートサイト (UniVision) による受講申請手続は pp.24~27をご確認ください (申請期間が異なります)。

4. 実習との関連について

教職実践演習の開講日までに実習が終了する見込みの場合、受講受付期間内に必ず受講申請を行ってください。受講申請受付期間に実習が終了している必要はありません。いかなる場合であっても、受講申請期間終了後の受講申請は受付ができませんので、ご注意ください。

また、教職実践演習の受講には実習簿が必ず必要となりますので、実習終了が教職実践演習開講直前になる予定の方は、本学までご連絡ください。

5. 修了・卒業との関連について

教職実践演習が本学で受講する最終の科目となる方は、下記をご確認ください。

- ・教職実践演習受講後、修了予定の科目群履修生

教職実践演習の成績が確定したことを確認してから、修了または在籍延期の手続きを行ってください。在籍延期料の振込後、教職実践演習の合格発表があり、修了の手続きを行っても、一度振り込まれた在籍延期料は返金できませんので、ご注意ください。

- ・教職実践演習受講後、卒業予定の正科生

卒業に関する手続きにつきましては、教職実践演習を受講および合格する見込みで、各期限内に行ってください。詳しくは、しらせぎ通信をご確認ください。

なお、教職実践演習を欠席および不合格となった場合、卒業は不可となりますので、ご注意ください。

X.「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」/ 「保育の表現技術(ピアノ)」/ 「音楽表現(ピアノ)」 スクーリング日程及び申請について

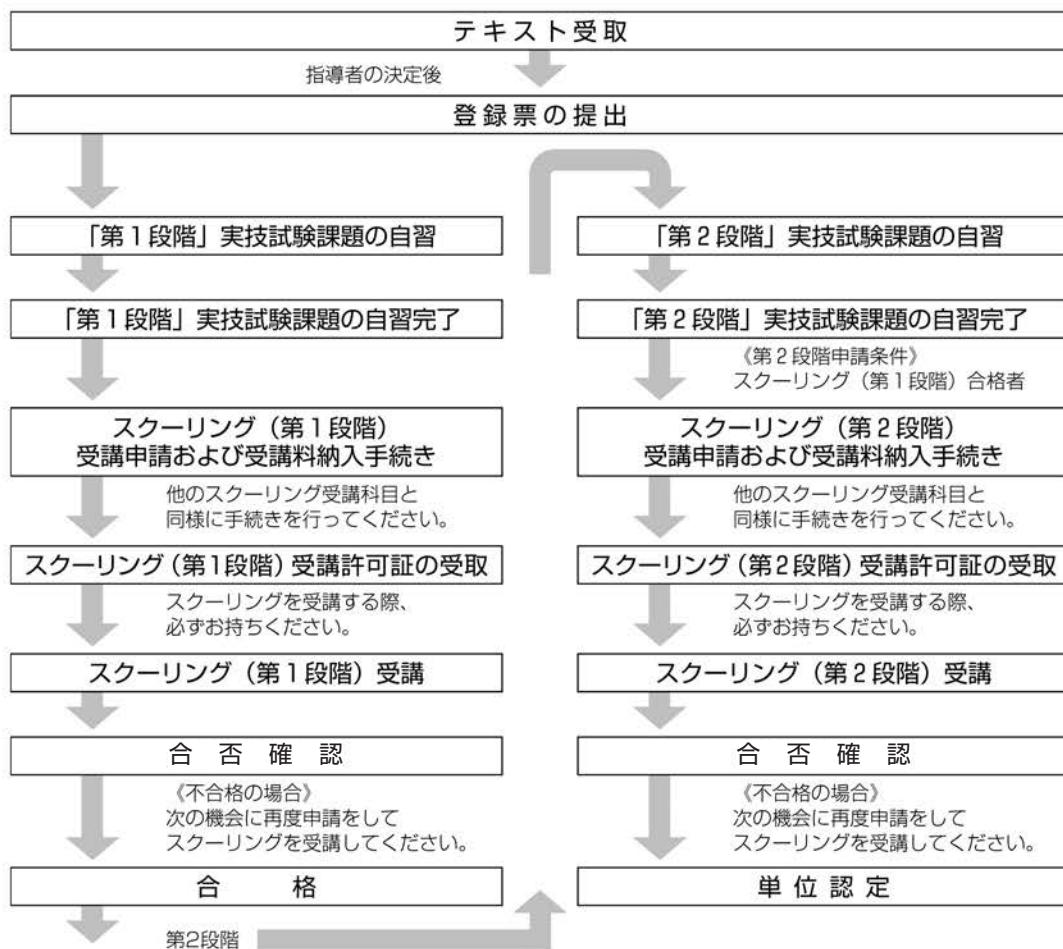
1. 「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」 / 「保育の表現技術(ピアノ)」 「音楽表現(ピアノ)」の履修の流れについて

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」「保育の表現技術 (ピアノ)」「音楽表現 (ピアノ)」については、段階 (グレード) 制をとっています。スクーリング受講前に登録票の提出が必要になるほか、第1段階に合格しなければ、第2段階を受講することができません。

下記の履修の流れをよく確認した上で手続きを行ってください。

令和元年度より、学習報告書の提出は不要となっています。

こどもと音楽表現 I (ピアノ) / 保育の表現技術(ピアノ) / 音楽表現(ピアノ)履修の流れ



2. 「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／ 「音楽表現 (ピアノ)」スクーリング開講日程および受講申請受 付期間 (OCR 提出による申請)

第 1 段階と第 2 段階は、開講日が異なります。

実施期	段階	実施方法	日 程	受付期間 (消印有効)
本校 5 期	第 1 段階	対面	令和 5 年 7 月 23 日 (日) 9:00~18:00	令和 5 年 6 月 12 日 (月) ~ 6 月 23 日 (金)
本校 7 期		対面	令和 5 年 12 月 3 日 (日) 9:00~18:00	令和 5 年 10 月 24 日 (火) ~ 11 月 3 日 (金)
本校 6 期	第 2 段階	対面	令和 5 年 9 月 24 日 (日) 9:00~18:00	令和 5 年 8 月 14 日 (月) ~ 8 月 25 日 (金)
本校 8 期		対面	令和 6 年 3 月 10 日 (日) 9:00~18:00	令和 6 年 1 月 29 日 (月) ~ 2 月 9 日 (金)

上記受付期間内にスクーリング受講料の納入が完了し、「受講料納入届」と「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければ受付できません。(受付期間の前・後に入金しないでください。スクーリングの申請が受理できません。)

納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.29~31を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。

受付締切は受付期間最終日の消印有効です。期間外の申請は理由を問わず受付ができません。

※学修サポートサイト (UniVision) による受講申請手続は pp.24~27をご確認ください (申請期間が異なります)。

こどもと音楽表現 I (ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／音楽表現(ピアノ)の受講申請をする前に

① 第 1 段階を受講する方

●登録票は提出しましたか？

スクーリング受講申請受付期間の締切日 (消印有効) までにテキスト巻末とじ込みの登録票の提出がない場合は受付ができません。早めの準備をお願いします。

② 第 2 段階を受講する方

●第 1 段階は合格していますか？

第 1 段階を合格しない限り第 2 段階を受講する資格がありません。

また、ピアノ経験者であっても、第 1 段階を合格しなければ、第 2 段階を受講することはできません。

3. 「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／ 「音楽表現(ピアノ)」の受講申請方法 (OCRによる受講申請)

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術 (ピアノ)」／「音楽表現 (ピアノ)」を受講するには、各実施期ごとに定められている受付期間内に受講申請を行ってください。申請に必要な書類は下記を参照してください。(受付期間より早くとも遅くとも受理できませんので注意してください。)

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」 スクーリング受講申請時の提出書類一覧	
①受講料納入届 (OCR提出による受講申請) (諸経費の納入方法をよく確認してください)	pp.29～36参照
②スクーリング受講申請票 (OCR提出による受講申請)	
③健康調査書 (該当者のみ)	
④上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願 (該当者のみ)	
⑤各種申込書 (該当者のみ) (諸経費納入整理票(3連綴り)・旅客運賃割引証交付願など)	
⑥登録票 (第1段階受講時のみ)	テキスト巻末とじ込み

※学修サポートサイト (UniVision) にて申請される場合はpp.24～27をご確認ください。

学修サポートサイト (UniVision) にて申請される際は⑥の登録票のみ郵送してください (③④⑤は該当者のみ郵送してください)。

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」については、段階(グレード)制をとっています。第1段階スクーリング受講前には登録票の提出が必要になるほか、第1段階に合格しなければ、第2段階を受講することができません。

また、①～⑤の提出書類は他のスクーリング受講申請 (OCRによる受講申請) と同じ方法です。さらに⑥の登録票の提出が必要になります。

第1段階を申請する場合は「登録票」が必要です。こちらは記入でき次第、受付期間前に提出しても構いませんが、受付期間内 (消印有効) に提出がない場合はスクーリングの受講申請は受理できません。

なお、第2段階は「第1段階」を合格済みでなければ受講申請ができません。第1段階の結果を待たずに次の受講申請をした場合は、申請は無効となります。受講料は原則返金できませんので、必ず「第1段階」の結果を確認してから受講申請をしてください。

提出書類に不備・不足がある場合は受付ができません。また、振込整理番号・氏名の打電がない場合も受付ができませんのでご注意ください。

4. 「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」の実技試験について

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術 (ピアノ)」／「音楽表現 (ピアノ)」は、スクーリング授業の中で実技試験を行います。試験課題曲は段階ごとに指定して行います。

こどもと音楽表現 I (ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／ 音楽表現(ピアノ) 事前課題

第 1 段階		第 2 段階	
課題①	リズム打ち 3 題	課題①	初見視奏(単旋律)に向けた学習
課題②	ピアノ曲 3 曲	課題②	律動曲 3 曲
課題③	弾き歌い曲 3 曲	課題③	弾き歌い曲 5 曲

※ 課題①リズム打ち (3 題) テキストp.58の(1)(2)(3)

注意

各段階とも、課題①～③の実技試験課題を修得し、スクーリングにて演奏すること。但し、すべての実技試験課題曲について、楽譜を見ながら演奏してもよいこととする。また、楽曲中の反復 (リピート) 記号については、省略をせず指示通りに演奏するよう注意すること。

I. スクーリング使用テキストについて

いずれの学生も「保育の表現技術 (ピアノ) 平成31年 4 月 1 日発行」のテキストを持参し、スクーリングに出席すること。

但し、スクーリング中の実技試験において、これまで見慣れている「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」のテキストを見ながら演奏することは認めます。

II. スクーリング「第 1 段階」の実技試験について

課題①リズム打ち (3 題)

テキスト「保育の表現技術 (ピアノ)」初版p.58掲載の (1) (2) (3)

課題②ピアノ曲（3曲）

バイエル78番（Beyer78）、バイエル94番（Beyer94）、バイエル96番（Beyer96）の3曲の中から当日指定。

テキスト別 掲載ページ			
課題②ピアノ曲	保育の表現技術 (ピアノ) 初版	こどもと音楽表現 I (ピアノ) 第2・第3版	こどもと音楽表現 I (ピアノ) 初版
バイエル78番	83ページ	27ページ	33ページ
バイエル94番	91ページ	29ページ	36ページ
バイエル96番	92・93ページ	34ページ	38ページ

課題③弾き歌い（3曲）

テキストのうち「ハッピー・バースデー・トゥー・ユー(ト長調)」「バスごっこ(ハ長調)」「かたつむり(ハ長調)」の3曲の中から当日指定。

*伴奏スタイルは問わない。コード伴奏で演奏してもよい。

但し、指定の調で演奏すること。必ず前奏をつけて演奏すること。配本テキスト p.105の説明を読んで取り組んでください。

Ⅲ. スクーリング「第2段階」の実技試験について

課題①初見視奏（単旋律）

課題①は初見課題につき事前の課題曲発表はしない。またテキストにも掲載していない。この課題に臨む準備として、テキスト「保育の表現技術(ピアノ)」初版p.59掲載のピアノ初見視奏教材を自習しておくこと。

課題②律動曲（3曲）

テキスト「保育の表現技術(ピアノ)」初版に掲載の「マーチ」(p.102)、「スキップ」(p.103)、「ワルツ」(p.104)の3曲の律動曲の中から当日指定。

*子供との音楽活動を想定した練習を行うこと。

課題③弾き歌い（5曲）

テキストのうち「ハッピー・バースデー・トゥー・ユー(ト長調)」「バスごっこ(ハ長調)」「かたつむり(ハ長調)」「お化けなんてないさ(ト長調)」「やぎさんゆうびん(ニ長調)」の5曲の中から当日指定。

*第1段階で学習した内容を踏まえて第2段階の弾き歌い課題の学習を行うこと。伴奏スタイルは問わない。コード伴奏で演奏してもよい。但し、指定の調で演奏すること。

令和5年度授業概要について

はじめに

令和5年度に本校スクーリングで開講する科目の授業概要とその使用テキスト、購入本や持参品を案内しています。みなさんの学習がより効率的にすすめられるよう、かつ理解を深めることを目的として制作しています。

注 意

1. 印刷・面接科目のテキストは、履修登録後配本されたテキストも使用します。
2. **購入本は各自購入してください。**購入本に指定されている書籍には、一般書店ではなかなか入手が難しい書籍もありますので、前もって購入しておく必要があります。
3. 授業内容・事前課題・持参品等について質問がある場合は、質問メールにてお問い合わせください。
4. 実施方法は状況により変更となる場合があります。その際、しらせぎ通信等で通知します。

授業概要の見方

授業概要には、スクーリング当日に使用するテキスト・購入本・持参品・事前課題・実施方法が記載されています。下記の見方を参考に、各科目の受講の準備を進めてください。

科目名	《科目名》	担当教員	《教員名》
科目コード	00000	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン） or 対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

授業実施方法を記載しています。遠隔（オンライン）の場合、pp.17～20の詳細も必ずご確認ください。

配本されているテキストがある場合は必ず持参してください。

書店やインターネットにて購入してください。入手が難しい書籍もありますので、前もって購入しておく必要があります。

姫路大学発行のテキストは、本学通信教育事務課で発売します。巻末の「諸経費納入整理票」・「販売価格の郵便小為替」をスクーリング申請受付期間中に本学へ提出してください。

《授業計画》

《テキスト・購入本》

購入本（テキスト）：「書籍名」 著者名 （出版社名） 金額

配本テキスト・購入本の詳細が記載されています。こちらを参考に購入の手続きを行ってください。他の科目のテキストが、購入本として指定されている場合があります。お持ちのテキストをよく確認した上で購入してください。

《事前課題》

配本テキストのpp. 4～10までを弾けるようにしておくこと。

事前課題があれば記載しています。特に記載がなくとも、配本テキストのある科目は、熟読した上でスクーリングを受講してください。

《学生持参品》

○ソプラノリコーダー
(100円ショップで購入したものは不可)

テキスト・購入本の他に持参品を記載しています。特に記載がなくとも、筆記用具・ノートは必ず持参してください。また、体育などの科目は、動きやすい服装・体育館シューズ・タオルや飲み物なども持参してください。

《学生に対する評価》

受講態度、単位認定試験を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：
2. 実務経験の内容：

— 共通教育科目 —

• 情報処理技術Ⅰ（基礎）	67
• 情報処理技術Ⅱ（応用）	68
• スポーツ（実技）	69
• 芸術論	70
• 英語コミュニケーションⅡ	71
• 外国語総合Ⅰ	72
• 外国語総合Ⅱ	73

— 教職科目 —

• 教育心理学	75
• 国語科指導法	76
• 社会科指導法	77
• 算数科指導法	78
• 生活科指導法	79
• 家庭科指導法	80
• 外国語（英語）指導法	81
• 理科指導法	82
• 音楽科指導法	83
• 図工科指導法	84
• 体育科指導法	85
• 特別支援演習	86

— 実習関係科目 —

• 教育実習事前・事後指導（幼稚園）	87
• 教育実習事前・事後指導（小学校）	88
• 養護実習事前・事後指導	89
• 教職実践演習（幼・小）／教職実践演習（幼・小・中・高）／教職実践演習	90
• 教職実践演習（養護）	91
• 保育実習論Ⅰ	92
• 保育実習論Ⅱ	93
• 保育実習論Ⅲ	94

— 教科科目・幼稚園教職科目 —

• こどもと環境Ⅰ／保育内容（環境Ⅰ）	95
• こどもと環境Ⅱ／保育内容（環境Ⅱ）	96
• こどもと健康Ⅰ／保育内容（健康Ⅰ）	97
• こどもと健康Ⅱ／保育内容（健康Ⅱ）	98
• こどもと人間関係Ⅰ／保育内容（人間関係Ⅰ）	99
• こどもと人間関係Ⅱ／保育内容（人間関係Ⅱ）	100
• 保育内容（表現）	101
• 保育内容（言葉）	102
• こどもと造形表現Ⅰ／保育の表現技術（造形）／造形表現	103
• こどもと造形表現Ⅱ	104
• こどもと表現Ⅰ（体育）／体育／体育（RS）	105
• こどもと表現Ⅱ（図工）／図画工作Ⅱ	106
	<small>※令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象</small>
• こどもと表現Ⅲ（声楽）／音楽Ⅰ／音楽Ⅲ（声楽）	107
• こどもと表現Ⅳ（器楽）／音楽Ⅱ／音楽Ⅱ（ピアノ）	108
• 音楽Ⅳ（器楽）	109
• 保育の表現技術（言語）／言語表現	110
• 保育の表現技術（合奏）	111
• こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）第1段階	112
• こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）第2段階	113
• こどもと音楽表現Ⅱ（声楽）／保育の表現技術（声楽）／音楽表現（声楽）	114
• こどもと体育Ⅰ／保育の表現技術（身体）／身体表現	115
• こどもと体育Ⅱ	116
• 書 写	117
• 図画工作	118
	<small>※令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・令和4年度科目等履修生対象</small>
• 音 楽	119

— 領域科目 —

• こどもと表現Ⅰ	121
• こどもと表現Ⅱ	122
• こどもと表現Ⅲ	123

— 養護・保育等科目 —

• 看護学演習Ⅰ／看護学Ⅰ	125
• 看護学演習Ⅱ／看護学Ⅱ	126
• 乳幼児保育／乳児保育Ⅱ	127
• 遊戯療法Ⅰ	128
• 遊戯療法Ⅱ	129
• こどもの保健Ⅲ	130
• こどもの食と栄養	131
• 相談援助	132
• 社会的養護内容／社会的養護Ⅱ	133
• 養護概説	134
• 看護演習（1単位）	135
• 看護演習（2単位）	136
• こどもの理解と援助	137
• 保育総合演習	138
• こどもの健康と安全	139
• 子育て支援	140

— 養成課程 —

• 図書館情報技術論	141
• 情報サービス演習	142
• 図書館情報資源概論	143
• 情報資源組織演習	144
• 情報メディアの活用	145
• 播磨の海浜生物	146
• 古文書学	147
• 博物館資料保存論	148
• 博物館展示論	149
• 博物館情報・メディア論	150

— 保育教諭について —

1. OCR提出による受講申請受付期間・開講科目及び開講日程について	151
2. 受講申請の方法	152
① 申請方法 学修サポートサイト (UniVision) による申請	152
受講申請の流れ	152
② 申請方法 OCR提出による申請	153
(1) 受講申請の流れ	153
(2) スクーリング受講申請時の提出書類 (OCR提出による受講申請)	154
① スクーリング受講申請票 [スクーリング受講申請票の記入方法]	154
3. 授業概要について	
「リズム表現」	155
「乳児保育」	156

共通教育科目

科目名	ページ
情報処理技術Ⅰ（基礎）	67
情報処理技術Ⅱ（応用）	68
スポーツ（実技）	69
芸術論	70
英語コミュニケーションⅡ	71
外国語総合Ⅰ	72
外国語総合Ⅱ	73

科目名	情報処理技術Ⅰ(基礎)	担当教員	津下 哲也
科目コード	10010	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

ワープロ（Word）、表計算（Excel）、プレゼンテーション（PowerPoint）などの操作演習及び情報処理技術に関する講義を通して、教育現場において必要とされる基礎的なコンピュータ活用能力の習得と情報処理に関する基礎的な知識の習得を目標とします。

《授業計画》

1. ハードウェアとソフトウェアの概要
コンピュータの基本要素、OS、ファイルシステム、オフィスツール
2. タイピングトレーニング
タイピングソフトの紹介とタイプタッチの演習
3. Wordの基本操作と演習
起動終了、レイアウト、配置、表作成、図形、業務文書作成
4. Excelの基本操作と演習
起動終了、画面構成、オートフィル、セル調整、相対・絶対参照、表計算基礎、関数基礎、グラフ
5. PowerPointの基本操作と演習
プレゼンテーション資料の作成演習
6. 情報ネットワークとセキュリティ
ネットワーク方式、セキュリティ管理・対策、関連法規
7. 業務とクラウドソフトウェア
Google Tools、forms、site、drive、共有、業務利活用
8. テクノロジーと社会の変化及びデータ・AIの活用領域
第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会、IoT、AI、ロボット、社会での利活用

《テキスト・購入本》

課題プリントを用意します。以下の参考図書を紹介しますが、購入は必須ではありません。
参考図書：今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint 2021 技術評論社 1,650円（税込み）

《事前課題》

パソコンの起動と終了、マウス操作やキーボード入力などの基本的な操作を習得しておいてください。

《学生持参品》

演習データ保存用に、USBメモリ（3.0規格推奨）を用意してください。

《学生に対する評価》

提出課題、学習態度、実技試験をもとに総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：岡山県公立小学校にて20年間教諭として勤務。情報主任としてICT機器を活用した授業作りや校務の情報化を推進。

科目名	情報処理技術Ⅱ(応用)	担当教員	津下 哲也
科目コード	10011	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

情報に関する諸理論、数理、データ活用及び人工知能利活用に関する理解を深めるとともに、情報処理技術に関する知識と技術を実際の問題解決場面に活用する演習を通して、情報処理技術の応用力を身に付けることを目標とします。

《授業計画》

1. 情報技術と社会で活用されているデータ
調査・実験データ、1次・2次データ、構造化・非構造化データ、量的・質的データ
2. データ利活用とデータベース
量的・質的データ、標本と母集団、ER図、RDB、SQL
3. Excel応用基礎
データの分布、平均と分散・標準偏差、相関と因果、
4. データ活用演習
小テストの集計・グラフ化・分析
5. データ活用演習
小テストの相関図作成と分析
6. プログラミング基礎
Hour of code体験、ビジュアルプログラミング体験
7. プログラミング基礎
テキストコーディングの初歩（代数、変数、関数、print）
8. データ・AI利活用のための技術
データ解析と可視化、特化型AIと汎用型AI、AI技術、データサイエンスサイクル

《テキスト・購入本》

課題プリント・課題ファイルを用意します。

《事前課題》

パソコンを使った文字入力、数値入力などの基本操作ができるようにしておいてください。
Excelの起動終了、数値入力、数値の合計などの基本操作を経験しておいてください。

《学生持参品》

演習データ保存用に、USBメモリ（3.0規格推奨）を用意してください。

《学生に対する評価》

提出課題、学習態度、実技試験をもとに総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：岡山県公立小学校にて20年間教諭として勤務。情報主任としてICT機器を活用した授業作りや校務の情報化を推進。

科目名	スポーツ（実技）	担当教員	今野 賛
科目コード	10020	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

スポーツをとおして学生生活を豊かにし、生涯にわたってスポーツの楽しさを享受し、自己のライフステージや心身の状況に適したスポーツを生活に取り入れ、豊かなライフスタイルを形成する能力を身につける。

《授業計画》

1. 授業ガイダンス
2. 集団スポーツ（バレーボール）技術練習を中心に進める
3. 集団スポーツ（バレーボール）技術練習を中心に進める
4. 集団スポーツ（バレーボール）戦術練習を中心に進める
5. 集団スポーツ（バレーボール）戦術練習を中心に進める
6. 集団スポーツ（バレーボール）ゲームを中心に進める
7. 集団スポーツ（バレーボール）ゲームを中心に進める
8. 授業ガイダンス（個人スポーツ選択制の説明及び希望する種目を選択する）
9. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）技術練習を中心に進める
10. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）技術練習を中心に進める
11. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）戦術練習を中心に進める
12. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）戦術練習を中心に進める
13. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）ゲームを中心に進める
14. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）ゲームを中心に進める
15. まとめ・評価

《テキスト・購入本》

特になし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動できる服装、屋内シューズ

《学生に対する評価》

受講態度及び小レポート課題を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	芸術論	担当教員	杉山 雄一 井上 龍彦
科目コード	10025	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

古今の芸術作品の鑑賞・解説を通して芸術に親しみ、芸術と自己との関係についても考えながら、幅広い芸術的教養を身につける。

音楽分野においては、音楽作品が生まれた背景、つまり歴史的、社会的、民族的要因について理解を深め、また絵画と音楽との関係についても考察しながら授業を進める。美術分野においては、絵画、彫刻、建築等の変遷や作家の生きた時代背景なども含めて、理解を深める。また、自分と美術の関係についても考察してもらう。

《授業計画》

1. 学問と音楽について
2. 歴史と音楽について
3. 社会・民族と音楽について
4. 美術と音楽について
5. 授業内容の説明（芸術の美術内容）、美術分野について
6. 美術の変遷（画像等で作品等を鑑賞）
7. 現代の美術表現について
8. 自分と芸術（美術）について

《テキスト・購入本》

参考図書：『CD付徹底図解 クラシック音楽の世界』田村和紀夫、新星出版社

『図画工作Ⅰ』井上龍彦、姫路大学教育学部通信教育課程

その他：プリント配布

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具

《学生に対する評価》

受講態度（20%）、課題への取り組み、筆記物、小問題等（80%）を勘案し、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【井上】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：短大（生活と美学、生活デザイン等）、大学（デッサン、造形理論等）、高校兼任講師（工芸）

【杉山】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）首席ヴィオラ奏者、明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員として勤務経験有。高等学校教員非常勤講師（音楽科）として勤務経験有。

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	英語コミュニケーションⅡ	担当教員	和田 憲明
科目コード	14018	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講座は、英語コミュニケーションⅠを履修した後、次の段階の英語コミュニケーション能力を育成するための講座です。英語コミュニケーションⅠで身に付けた基礎的な英語力を土台として、さらに発展的な英語力を身に付けるとともに、4技能を統合的に発展させることを通して、さらに高度な英語コミュニケーション能力を身につけるように学習を進めます。本スクーリングでは、まず英語力の基本となる読解力を育成し、英文の内容把握、基礎文法を定着させるための英作文、ディクテーションを用いたリスニング・ライティング、会話やその会話を基にしたディスカッションなどを通してより高度な英語コミュニケーション能力を身につけます。

テーマは、日本とアメリカにおける様々な文化の違いが取り上げられています。グローバルな視点で文化について考えてみましょう。

《授業計画》

1. Cherry Blossoms
2. Capital Cities
3. Movies
4. Transportation
5. Advertisements
6. Education
7. Loan Words
8. Review

《テキスト・購入本》

- ・購入本：『Basically America, Basically Japan』 Charles L. Clark 他（2010），南雲堂（1,900円＋税）

《事前課題》

- ・購入本の上記の授業計画1. ～5のLessonの本文を読み理解しておくこと。
- ・意味のわからない単語や表現はできるだけ調べておくこと。

《学生持参品》

- ・英和・和英辞典（電子辞書可）

《学生に対する評価》

- ・受講態度（発表態度）、授業中課題、単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

科目名	外国語総合Ⅰ	担当教員	和田 憲明
科目コード	10035	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

近年のグローバル社会では、英語で意思疎通を図る力や自分の意見や考えを正確に伝える力を身につけることが求められています。この授業は、TOEIC レベルの英語のリスニング能力とリーディング能力を育成することを目標とします。

本講座の到達目標は以下の通りです。

1. TOEIC 500点以上に必要な語彙や文法事項を習得し、
2. 読解力を身につけるとともに、
3. リスニング練習を通して、さまざまな英語を聞き取ることができるようになる。

《授業計画》

以下の項目の面接授業を通して、TOEIC レベルの英語のリスニング能力とリーディング能力を身につけます。

1. Going Overseas
2. Going Shopping
3. Talking about Food and Health
4. Enjoying Sports and Entertainment
5. Preserving Nature
6. Giving Directions
7. Listening Exercises
8. Reading Exercises

《テキスト・購入本》

スクーリング当日資料を配布します。

《事前課題》

TOEIC について調べるとともに、いくつかの問題に挑戦してみましょう。

《学生持参品》

英和辞書（電子辞書可）

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題および単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

科目名	外国語総合Ⅱ	担当教員	和田 憲明
科目コード	10036	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

近年のグローバル社会では、英語で相手の意思や考えを正しく理解する力を身につけることが求められています。

この授業は、外国の映画のシナリオの聞き取りや音読練習および映画鑑賞を通して、実際のコミュニケーション場面で使用されるさまざまな英語表現を身につけるとともに、映画を通して異文化や外国の人々のものの考え方を理解することを目標とします。

本講座の到達目標は以下の通りです。

1. 外国映画のシナリオを聞き取ることができる。
2. 外国映画を通して外国の文化や歴史を理解することができる。

《授業計画》

以下の項目の学習によって、映画を通して異文化や外国の人々のものの考え方を理解する力を養います。

1. Roman Holiday (1)
2. Roman Holiday (2)
3. Anne of Green Gables (1)
4. Anne of Green Gables (2)
5. Anne of Green Gables (3)
6. The Great Dictator (1)
7. The Great Dictator (2)
8. 映画から学ぶ言語と文化

《テキスト・購入本》

スクーリング当日資料を配布します。

《事前課題》

映画の時代背景について事前に調べておくと、より映画の内容を理解することができるでしょう。

《学生持参品》

英和辞書（電子辞書可）

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題および単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

教職科目

科目名	ページ
教育心理学	75
国語科指導法	76
社会科指導法	77
算数科指導法	78
生活科指導法	79
家庭科指導法	80
外国語（英語）指導法	81
理科指導法	82
音楽科指導法	83
図工科指導法	84
体育科指導法	85
特別支援演習	86

科目名	教育心理学	担当教員	日湊 淳子
科目コード	20046	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

人間は、社会の中で教育に助けられながら自己の潜在能力を顕在化し、成人に向かって質的・量的に、より高次の段階へ変化し発達する。したがって、各個人の潜在能力を十分に発揮できるような効果的な教育的支援を行うことが教育にたずさわる者の使命である。そのため、教育心理学の専門的かつ実践的な知識を身につけることが重要であり、必須の課題となる。そこで本授業では、「発達」と「学習」の分野を中心として、発達理論、学習理論など教育心理学の基本事項について学習し、基礎的な知識への理解を深め、さらに、動機づけや学習意欲を高める支援や、社会への適応に関する問題について考える力を身につけ、個々の子どもの心身の発達に応じた、より効果的な保育・教育についての実践力を養うことを目的とする。

《授業計画》

1. 教育心理学概論 認知の発達
2. 記憶の発達
3. 学習理論
4. 動機づけ
5. 学習指導方法
6. 学習評価法
7. 発達課題
8. 配慮が必要な子どもの支援のあり方

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『教育心理学』
適宜、プリントを配布する

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講態度、および試験等により総合的に評価する

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：政令指定都市や市の保健福祉課子育て支援係にて、乳幼児健診等の心理相談・発達相談心理士、公的機関の教育相談員のスーパーバイザー、小中学校のスクールカウンセラー等の経験あり

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	国語科指導法	担当教員	森岡 勇記
科目コード	20094	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

新学習指導要領を踏まえ、国語の授業を実践する上で必要な知識や指導力の育成を図る。

《到達目標》

- ・新学習指導要領「国語」の目標と内容を理解する。
- ・教材の特質を理解し、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)を取り入れながら、学習指導案(板書計画を含む)が作成できる。
- ・模擬授業の実践を通して、授業者に求められる資質を形成する。

《授業計画》

1. 面接授業の目標と内容の確認
新学習指導要領のポイント
2. 教材研究・授業研究の進め方
3. 学習指導案の作成
4. 模擬授業の工夫
5. 模擬授業の実施
6. 模擬授業の振り返り
7. 授業評価のあり方
授業者の役割
8. 面接授業のまとめ
単位認定試験

《テキスト・購入本》

配本テキスト：小学校学習指導要領解説 国語編(平成29年7月 文部科学省)

配本テキスト：国語科内容論×国語科指導法(辻村敬三著 東洋館出版社)

配本テキスト：国語 四下 はばたき(光村図書)

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講態度、模擬授業の取り組み方、単位認定試験等により総合的に評価する。

《連絡事項》

「国語科指導法(20094)」は印刷・面接科目です。担当は以下の通りです。

印刷(レポート)：長谷 浩也

面接(スクーリング)：森岡 勇記

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	社会科指導法	担当教員	和田 幸司
科目コード	20020	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

小学校社会科教育の理論と実践について、①社会科授業の構想、②学習指導案の作成、③模擬授業の実施、④授業改善案作成、の4つの視点から学修する。

（到達目標）

- ・学習指導要領に示された小学校社会科の目標や内容を理解している。
- ・具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。

《授業計画》

- 第1回：社会科授業における学習指導案作り
- 第2回：社会科の教材研究と授業作り
- 第3回：社会科の授業研究の方法と実践
- 第4回：模擬授業（1）中心資料と補助資料
- 第5回：模擬授業（2）発問と板書
- 第6回：模擬授業（3）ICTの活用
- 第7回：授業改善案の発表（1）授業改善案の検討
- 第8回：授業改善案の発表（2）報告・討議

《テキスト・購入本》

配本テキスト：【令和4年度以前入学生】

『社会科教育のルネサンス』（原田智仁編著、保育出版社）

【令和3年度1年次入学生・令和5年度入学生】

『初等社会科教育の理論と実践』（原田智仁編著、教育情報出版）

購入本：『新編 新しい社会』（東京書籍）3年、4年、5年上・下、6年歴史編・政治国際編
（購入本は教科書取扱店にて購入する必要があります。時間を要しますので早めに注文をしましょう）

※模擬授業で使用するため、必ず購入してください。

《事前課題》

購入本から模擬授業を行う単元を事前に検討しておきましょう

《学生持参品》

配本テキスト、購入本、USBメモリ

《学生に対する評価》

授業態度・学習指導案・単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：兵庫県公立小学校教諭の経験有。

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	算数科指導法	担当教員	榎並 雅之
科目コード	20021	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本	本学にて購入手続き	
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

算数科の目標及び内容の理解とその指導法の検討及び実践的理解が目標となる。

〈到達目標〉

1. 小学校算数科の学習指導要領に挙げられた目標及び内容を理解している。
2. 小学校算数科における授業の構成を理解し、目標及び評価を意識した学習指導案を作成し、模擬授業において具現化することができる。
3. 小学校算数科におけるICT機器を含めた教具、学習形態等を理解し、情報通信技術を授業構成に活用しようとしている。

《授業計画》

1. 算数科指導法の実践における指導上の留意点の検討
2. 「数と計算」領域（四則計算）における指導方法の実践的な検討
3. 「数と計算」領域（数の拡張及び性質）における指導方法の実践的な検討
4. 「測定」領域（外延量）における指導方法の実践的な検討
5. 「変化と関係」領域（内包量）における指導方法の実践的な検討
6. 「図形」領域における指導方法の実践的な検討
7. 「データの活用」領域における指導方法の実践的な検討
8. 指導法の総括（模擬授業を通して顕在化された事項の検討）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『小学校学習指導要領解説 算数編』（平成29年6月 文部科学省）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

- ・ 模擬授業に際しての学習指導案の内容及び模擬授業の内容による評価
- ・ 事後検討会における発言及び考察の内容及び参加状況による評価
- ・ 単位認定試験による算数科指導法の基礎理論の習得度の評価

以上の内容をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：公立中学校及び国立大学附属小学校において教諭として勤務

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	生活科指導法	担当教員	阿曾 奈生
科目コード	20023	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本	本学にて購入手続き	
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

生活科の目標・内容及び学習指導について理解し、子どもが豊かで生き生きとした生活を実現していくための実践的・具体的な方法について考える。

《到達目標》

- ・生活の目標や内容、趣旨とともに全体的な構造を理解する。
- ・指導計画作成の意味や学習指導の進め方について理解するとともに、学習指導案を作成し、模擬授業において楽しく分かる授業の具現化に努めることができる。
- ・ICT機器の活用を含めた教具、具体物を授業構成に生かすことができる。

《授業計画》

1. 生活科指導法の実践における指導上の留意点の検討
2. 単元例における指導方法の実践的な検討
3. 発問・板書計画、評価に関する検討
4. 各自授業案を作成
5. 指導案の検討
6. 模擬授業の実施・検討
7. 模擬授業の実施・評価
8. 指導法の総括「模擬授業によって表面化した課題の検討」

確認試験

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『生活科指導法』

配本テキスト：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』（文部科学省）

その他：当日プリントを配付します。

《事前課題》

- ・特になし

《学生持参品》

- ・当日、指示します

《学生に対する評価》

受講態度	15%
指導案	30%
模擬授業	45%
確認試験	10%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校教諭として勤務経験有

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	家庭科指導法	担当教員	大曲 美佐子
科目コード	20024	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 年間学習指導計画（カリキュラム）の作成
2. 学習指導要領に基づく学習教材の開発及び活用
3. 適切な評価活動
4. 模擬授業の指導計画案作成及び授業実践

小学校家庭科は、実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得させることにある。家庭科指導法では、学生の指導力と評価力を高めることを目標として、学習指導案及び評価規準の作成を取り入れた実践力を育成する。さらに、児童が興味関心を持つ学習教材の開発・活用及び情報機器の活用、児童の自己肯定感を高めるコメント力など新たな指導方法に取り組む指導者としての資質・能力を身に付ける。

《授業計画》

1. 小学校家庭科改訂の趣旨及び年間カリキュラムの作成・検討：ICT、情報機器の活用
2. 「A 家族・家庭生活」の学習教材：実践的・体験的な学習教材の活用
3. 「B 衣食住の生活」の学習教材：家庭科教育と防災教育との関連性
4. 「B 衣食住の生活」の学習教材：手縫いした作品の評価活動
5. 「B 衣食住の生活」の学習教材：食生活における課題：アクティブ・ラーニング
6. 「C 消費生活・環境」の学習教材の活用
7. 学習指導案の検討
8. 模擬授業

《テキスト・購入本》

配本テキスト：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編（文部科学省）
 配本テキスト：わたしたちの家庭科5・6年（開隆堂）

《事前課題》

レポート（設定課題に基づくもの）で作成した学習指導案

《学生持参品》

同上

《学生に対する評価》

授業中の課題内容、課題試験など総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：私立高校及び国公立中学校において家庭科教諭または教官として30年間、教鞭をとってきた

科目名	外国語(英語)指導法	担当教員	和田 憲明
科目コード	20095	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔(オンライン)		

《授業の到達目標及びテーマ》

小学校における「外国語活動」及び「外国語」の学習・指導・評価に必要な基本的な知識及び指導技術を身につけます。

本講座の到達目標は以下の通りです。

1. コミュニケーション活動を通じた意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。
2. 題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定や教材研究ができる。

《授業計画》

以下の項目の面接授業を通して、小学校における外国語指導法について学習します。また後半のマイクロ・ティーチングを通して、授業の実際について深く学びます。

1. 教材・教具の活用法、評価の意義と評価法
2. 授業過程と指導案の作成
3. 授業づくり(教材研究、ALTとのTT指導、授業の振り返り)
4. 授業映像の視聴
5. 模擬授業の授業計画・授業準備
6. 模擬授業の授業準備・授業実演
7. 模擬授業の授業実演・授業の振り返り
8. 小学校外国語教育の課題と展望

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『新編 小学校英語教育法入門』（樋口忠彦他編、研究社）

配本テキスト：『We Can! 1』『We Can! 2』（平成29年12月 文部科学省）

《事前課題》

上記の項目についてテキストの関連ページを読んでおきましょう。

《学生持参品》

英和辞書（電子辞書可）

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題および単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

科目名	理科指導法	担当教員	畑 宗平
科目コード	20022	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 新しい学力観と生きる力、小学校の理科の目標の内容が説明できる。
2. やる気を起こさせる導入の工夫方法を習得する。
3. ICT機器の利活用法とマイクロスケール実験のスキルを習得する。
4. 問題解決学習の流れで「物質・エネルギー」「生命・地球」の実験を行うことができる。
5. 問題解決の流れで実験を入れた模擬授業を効果的に行うことができる。

小学校理科の目標にそった問題解決学習の考え方、科学的態度を実践的に学ぶ。実験・観察を通して、子どもたちに発見する喜びを味わわせることの大切さを学ぶ。見通しを持って様々な実験（マイクロスケール実験等）を体験することで、実感を伴った理解に導く理科授業のすすめ方を身につける。実験模擬授業を実施することにより、理科授業の展開の仕方とプレゼンテーションの効果的なスキルを習得する。

《授業計画》

1. 理科の目標 ～ 学習指導要領、生きる力、実感を伴った理解、問題解決学習 ～
2. 意外性のある実験と内発的動機付けについて実践を通して学ぶ。
3. マイクロスケール実験の良さを実験から学ぶ。
4. (物質・エネルギー領域実験) クロマトグラフィー、水溶液の性質、ふりこの性質、クリップモーター
5. (生命・地球領域実験) 生物の体のづくり、生物動画、夕焼けの再現、3Dプリンター教材
6. 演示実験を入れた問題解決学習による模擬授業を実践する。
7. 授業のまとめ
8. 授業の発展

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『理科指導法』

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

USBメモリ（6GB以上）

《学生に対する評価》

ノートの書き方、レポートの記述内容、模擬授業の実践などのポートフォリオを総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：高等学校教諭（理科）として勤務経験有

科目名	音楽科指導法	担当教員	山本 千紗
科目コード	20025	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

初等教育における音楽の位置付けを理解し、子供が音楽をより深く味わい楽しむことができる授業づくりを考える力を身につける。

《授業計画》

1. オリエンテーション、事前課題実技試験
2. 音楽活動を通じた共通事項の指導法
3. 音楽科の指導内容（歌唱・器楽）、教師用指導書表現CD及び動画等の活用
4. 音楽科の指導内容（音楽づくり・鑑賞）、ICTの活用
5. 学習指導案作成と評価の方法
6. 模擬授業①
7. 模擬授業②
8. 音楽科教育に必要な教師の音楽的能力、ICTの活用

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『音楽科指導法』

購入本：小学校学習指導要領解説 音楽編（平成29年文部科学省）

参考図書：『新しい小学校音楽科の授業をつくる』（ミネルヴァ書房） 2018年3月発行

ISBN：978-4-623-08170-7

《事前課題》

- ①小学校の歌唱共通教材のうち、第1学年「うみ（ト長調）」、第6学年「ふるさと（ヘ長調）」の弾き歌いを事前課題実技試験の課題曲とする。前奏をつけて弾き歌いをする。指定の調で演奏すること。伴奏は教科書のとおりでなくても可。簡易伴奏やコード伴奏でも可。
 - ②ソプラノリコーダーの運指を確認し、「星に願いを」を練習してくること。（配本テキスト『音楽科指導法』pp.20～22）
 - ③レポートに課している指導案を作成してくること。（合格している必要はない）指導案を基に模擬授業を行う。必要なものを用意してくること。
- ※①の事前課題を実施するにあたり、右記二次元コードより動画を視聴してください。楽譜の読み方や練習の方法を解説しています。試験に合格するためのポイントも述べていますので、経験者の方も必ず最後まで視聴してください。



《学生持参品》

- ・指導案（提出して頂きます）
- ・ソプラノリコーダー（100円ショップで購入したものは不可）
- ・鍵盤ハーモニカ（大学にも用意がありますが、数が足りない場合がありますので、可能であれば持参してください。） 唄口はアルコール消毒していますが、気になる方は唄口（YAMAHA ピアニカ P-32E 用の卓奏用パイプ）を持参すること。

《学生に対する評価》

事前課題実技試験50%、模擬授業50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：音楽教室の講師として勤務経験有

科目名	図工科指導法	担当教員	井上 龍彦
科目コード	20026	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

図工科（図画工作）の教育目的と内容を理解し、学習指導要領に基づいて、「A表現」「B鑑賞」、「共通事項」も含め、理解を深める。理論的な面と実践的な教材研究も交えながらポイントを押さえ、学習指導の力を身につけてもらう。指導案作成や模擬授業なども状況に合わせて行う。技術的なことも大事であるが、個々の発想、アイデアなどがあふれる表現活動になるようイメージしながら指導（導入、授業展開）を考えてほしい。指導する上でしっかりと教材に触れ、自ら体験することが大事なので、教える側の目線で考えながら製作も行う予定である。

《授業計画》

1. 授業内容の説明、図工の歴史の変遷、教科書、指導要領等
2. 学習指導要領について
3. 造形遊びについて、演習課題
4. 絵に表す 説明
5. 立体・工作に表す 説明 演習課題
6. 指導計画（情報通信技術の利用も含む。）
7. 指導案、模擬授業等について、課題作成
8. 模擬授業（予定）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『図工科指導法』

配本テキスト：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』文部科学省（日本文教出版）

その他：プリント配布

《事前課題》

自分自身が図工で製作したものを思い出して、メモしておいてください。（作品があれば見ながらどのようなイメージでつくったのか思い出してください。）

《学生持参品》

作業ができる服装、色鉛筆セット（8色程度）、カラーペン（8色程度）等、濃い目の鉛筆（2B、4B等）はさみ、カッターナイフ、のり

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、実技課題や演習（60%）、筆記物等（30%）を勘案し、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	体育科指導法	担当教員	今野 賛
科目コード	20027	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

「よい体育授業」とは何か、その構造と諸条件を理解し、模擬授業とふりかえり（授業改善）を通して実践的な力を身につける。

〈到達目標〉

- ・小学校学習指導要領体育科の目標・内容が理解できる。
- ・「よい体育授業」を行うための基礎的条件と内容的条件が説明できる。
- ・「教材づくり」が、授業構想の中で重要な柱になることを説明できる。
- ・体育指導と学習評価及び「体育授業の評価」の視点と内容を説明できる。
- ・指導案作成および模擬授業の運営（計画準備・実施・評価）ができる。

《授業計画》

1. 小学校学習指導要領の目標・内容／体育科の授業計画
2. 「よい体育授業」の基礎的条件と内容的条件／模擬授業 Video 視聴
3. 教材づくりの視点と内容／体育指導と学習評価
4. 指導案の書き方／体育授業で求められる教師の能力と省察力／体育の授業評価
5. 模擬授業の意義と効果的な進め方／模擬授業準備／ICT活用の視点と実際
6. 模擬授業（授業者・児童役・観察者・ビデオ係・記録）とふりかえり①
7. 模擬授業（授業者・児童役・観察者・ビデオ係・記録）とふりかえり②
8. 模擬授業と「よい体育授業」について

※模擬授業は体育館で行います

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『体育科指導法』

配本テキスト：『小学校学習指導要領解説 体育編（平成29年7月）』（東洋館出版社）

※必要に応じて印刷資料を配布します。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動のできる服装、体育館シューズ、タオル、水分補給物、マスク

（2期は寒さ対策のため、上に羽織るものがが必要です。）

録画・再生機能（ビデオ）アプリの入ったタブレット又はスマートフォン（用意できる方のみ）

※モニター側の入力端子はHDMIです。

《学生に対する評価》

単位認定試験（30％）模擬授業（50％）授業態度（20％）

《連絡事項》

「体育科指導法（20027）」は印刷・面接科目です。担当は以下の通りです。

印刷（レポート）：抱江 賢治

面接（スクーリング）：今野 賛

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	特別支援演習	担当教員	小河 晶子
科目コード	20090	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

感覚統合療法の視点で、発達障がい児の行動を分析し、症例別にその支援方法について考える。

《到達目標》

- ・発達障がいの幼児及び児童における気になる行動の背後にある感覚統合面での問題を分析できる。
- ・感覚統合面での問題の症例に適した指導計画をたてることができる。

《授業計画》

- 第1回 インリアルアプローチについて
 第2回 応用行動療法について
 第3回 TEACCHプログラムについて
 第4回 感覚統合療法について①：感覚統合療法とは、触覚のはたらき、前庭覚のはたらき、固有覚のはたらき
 第5回 感覚統合療法について②：気になるこどもの行動と感覚統合；触覚過敏、重力不安
 第6回 感覚統合療法について③：気になるこどもの行動と感覚統合；低反応、低緊張
 第7回 感覚統合療法について④：気になるこどもの行動と感覚統合；ラテラルリティと両側統合の問題、ボディイメージの問題
 第8回 感覚統合療法について⑤：運動企画の問題、まとめ

《テキスト・購入本》

参考書：感覚統合Q & A 子どもの理解と援助のために（土田玲子監修・石井孝弘、岡本武己著 協同出版社）

本学にて購入手続：『特別支援論Ⅱ』 姫路大学教育学部通信教育課程 令和元年12月1日
 小河晶子・西本佳子・奥村真司

※「特別支援論」「特別支援論Ⅱ」履修者は配本テキストです。

《事前課題》

特になし

《学生に対する評価》

授業態度 30%
 単位認定試験 70%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務に従事

実習関係科目

科目名	ページ
教育実習事前・事後指導（幼稚園）	87
教育実習事前・事後指導（小学校）	88
養護実習事前・事後指導	89
教職実践演習（幼・小）／教職実践演習（幼・小・中・高）／教職実践演習	90
教職実践演習（養護）	91
保育実習論Ⅰ	92
保育実習論Ⅱ	93
保育実習論Ⅲ	94

科目名	教育実習事前・事後指導 (幼稚園)	担当教員	岩谷 恵利子 藤重 育子
科目コード	20056/20085	履修方法	面接 (事前・事後レポート有)
単位数	1単位	実施期	1期・2期(事前) 3期・4期(事後)
使用テキスト	配本テキスト・	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	〈事前指導〉対面		〈事後指導〉対面

《授業の到達目標及びテーマ》

教育実習の事前と事後に行う教育実習に関する指導を通して、教育実習の目的の達成をより確かなものとする。

1. 幼稚園実習に備えて、実習についての知識、技能、態度（心構え）を習得する。
2. 保育指導案の作成、実習記録の記入の方法を学ぶ。
3. 実習終了後、自分の実践を振り返り、反省点や課題を明確にして保育の実際について理解を深める。
4. 園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行う。

《授業計画》

1. 教育実習の目的・意義・授業計画の説明
2. 教育実習全体の流れ／実習内容等の概略
3. 幼稚園の基礎知識／幼稚園教諭の資質と役割について
4. 実習記録の書き方／指導案作成の意義や目的について
5. 指導案の書き方と教材研究／保育実技と技能習得
6. 年齢別指導案作成・模擬保育
7. 実習事前指導
8. 実習事後指導／自己評価と今後の課題

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『教育実習事前・事後指導（幼稚園）』

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説』文部科学省

そのほか、授業中に適宜指示する。

《事前課題》

学生持参品欄を参照

《学生持参品》

【事前指導】 模擬保育（15分～20分）の保育案として、手遊び・ゲーム遊び等の教材研究をしておくこと。保育対象年齢、指導内容は各自想定すること。

【事後指導】 実習簿

《学生に対する評価》

レポート、授業への関心・意欲・態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【岩谷】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：幼稚園教諭として勤務経験有

【藤重】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	教育実習事前・事後指導 (小学校)	担当教員	榎並 雅之 板東 克則
科目コード	20057/20086	履修方法	面接 (事前・事後レポート有)
単位数	1単位	実施期	1期・2期(事前) 3期・4期(事後)
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	〈事前指導〉対面		〈事後指導〉対面

《授業の到達目標及びテーマ》

教職に関する科目の「教育実習事前・事後指導（小学校）」は小学校教育実習へ向けて、その心構えの形成、教育実習の目的の理解、実践的指導力の向上及び教育実習後の教育実践体験の省察が目標となる。

〈到達目標〉

1. 小学校における教育実習に対する心構えをもち教育実習の内容を理解する。
2. 教育環境の整備、授業の準備、学習指導の方法等、教育活動、学習指導の在り方を理解する。
3. ICT機器を用いた指導方法、学習形態等を理解し、情報通信技術を授業構成に活用しようとしている。
4. 小学校教師の役割と責任を理解し、教育活動の実践的な認識を深める。
5. 教職生活を体験することにより教職志望を確認し教育研究の意欲を高める。

《授業計画》

1. 教育実習の準備と心構え
 - ①実習校への対応、②実習に臨む心構え、③実習に関する事務的な手続きなど
2. 教育実習で学ぶべき内容
 - ①教師と児童の関係、児童同士の関係、②教師の児童への働きかけ、③学習指導の在り方、④学級経営など
3. 実習記録の意義と記録の在り方
 - ①実習記録の記入の仕方、活用の仕方、授業参観、観察・記録の方法など
4. 児童理解について
 - ①児童理解の方法、②学習指導と児童理解、③特別支援教育と児童理解、④生徒指導と児童理解
5. 学習指導案と授業展開
 - ①教科等の学習指導案の検討、学習の導入、授業形態、発問、板書などについて
6. DVD（授業実践例）による授業の検討
 - ①DVDによる授業の検討、②模擬授業批評会など
7. 模擬授業
 - ①相互に批評しよりよい授業についての検討、②授業参観の視点、③自己の実践的能力の課題の明確化など
8. 実践的指導力向上の取り組みについて
9. 教育実習の成果と課題の検討（実習記録を用いた省察）
10. 課題について方向性を踏まえた検討

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『教育実習事前・事後指導（小学校）』

購入本：長瀬善雄編著『教育実践の理論と方法』教育出版、2017

《事前課題》

【事前指導】学習指導案の作成（別途、文書で指示）

《学生持参品》

【事前指導】学習指導案（別途、文書で指示）

【事後指導】実習簿

《学生に対する評価》

レポート、模擬授業、授業への関心・意欲・態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【榎並】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：公立中学校及び国立大学附属小学校において教諭として勤務

【板東】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：公立小学校教諭、公立特別支援学校教諭、小学校教頭、校長、公立幼稚園園長、総合教育センター指導主事の経験有

科目名	養護実習事前・事後指導	担当教員	平松 恵子 齋藤 充子
科目コード	50017/50020	履修方法	面接 (事前・事後レポート有)
単位数	1単位	実施期	1期・2期(事前) 3期・4期(事後)
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	〈事前指導〉対面		〈事後指導〉対面

《授業の到達目標及びテーマ》

- ① (事前指導) 養護実習に向けて十分な準備と心構えを持つことができる
- ② (事前指導) 養護教諭の職務や専門性について説明できる
- ③ (事後指導) 養護実習終了後、実習を振り返り、今後研鑽すべき課題を発見し、自己の描く養護教諭像に近づける見通しを持つことができる

《授業計画》

1. 養護実習の目的、意義、方法
2. 目標の設定、養護実習の内容
3. 学校教育、学校保健全般に関すること
4. 養護教諭の職務と保健室
5. 学校の日 (健康観察、学校環境・安全、アレルギー、感染症等)
6. 学校行事 (健康診断等)
7. 健康教育と養護教諭 (指導案の作成等)
8. 実習生としての心得 (マナー、実習記録簿の記入等)
9. 養護実習終了後の取り組み

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『養護実習事前・事後指導』

購入本：静岡県養護教諭研究会編著『養護教諭の活動の実際 第3版』東山書房 2019年

参考書・参考資料等：学校保健・学校安全実務研究会編『新訂版 学校保健実務必携〈第5次改訂版〉』第一法規 2020年

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

【事後指導】養護実習簿

《学生に対する評価》

授業への参加態度、提出物、レポートの結果を総合して評価する。

※本スクーリングは、養護実習のための事前・事後指導である性格上、可能な限り養護実習の直前に受講することが望ましい。(実習実施要件科目取得期限内)

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【平松】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校、中学校、高等学校の養護教諭としての勤務経験有。大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

【齋藤】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭・看護教諭としての勤務経験を持ち、大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

科目名	教職実践演習(幼・小)／ 教職実践演習(幼・小・中・高)／ 教職実践演習	担当教員	榎並 雅之 板東 克則 小河 晶子 岩谷恵利子
科目コード	20084／20076／20093	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	3期・4期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

専門分野で学んだ学修知と教育実習等で得られた教育指導力及び保育指導力、生徒指導力等の実践知の更なる統合を図り、教員としての使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を身に付ける。

加えて、人間関係を結ぶ力や他者に説明できる表現力、物事の解決策を見出せる問題解決力、他者と心を通わせられる共感力等の能力を培い、「組織人としての教員」の在り方についても学ぶ。また、各校種間における系統や連携を十分意識し、教育現場での問題をより多角的に捉える能力や、ICT機器等を用いた情報通信技術の活用を教育においてどのように実現するのかを具体的に創造する能力についても学修する。具体的な目標として

①学校・幼稚園教育についての理解 ②幼児児童生徒の理解 ③教師としての使命感や責任感、教育的愛情について
④社会性や対人関係能力の重要性 ⑤教育実践の個々のレベルアップ(教材開発、表現技術、授業・保育の構想・展開力、学級経営力等)を図る。⑥教育における情報通信技術の活用について教育現場の状況把握を行い、具体的な活用方法を考察する。

《授業計画》

1. 本授業科目の趣旨及び自己課題の把握
 - ・履修カルテに基づく自己課題の把握
2. 教員としての子ども観、教育観についての省察
 - ・子どもの反応を生かした授業(保育)、幼児児童生徒が協同して学習に取り組む学習の在り方
3. 特別支援教育の現状と対応について
 - ・学級における臨床場面での対応について
4. 子どもの多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割
 - ・いじめ、不登校、安全管理など
5. 専門領域の実践的指導力の自己課題について
 - ・単元等に応じた教材研究の実施や、教材・教具、学習形態、指導と評価等について
 - ・情報通信技術を活用した指導について
6. 専門領域の実践的指導力の深化
 - ・教員としての表現力、学習の質を高める保育技能及び教育技術等について
 - ・学校教育・幼稚園教育における情報通信技術の活用について
7. 教育力のある集団づくりのプロセス
 - ・事例を通して学級担任の役割や他の教員との協力の重要性
8. 様々な問題に対する組織的対応の理解及び本学修の総括
 - ・教員組織における自己の役割と関係機関との連携・協力について
 - ・学び続ける教師像

《テキスト・購入本》

特になし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

- ・「履修カルテ」、「教育実習簿」

《学生に対する評価》

- ・レポート、専門領域の指導力、授業への関心・意欲・態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：(榎並)有 (板東)有 (小河)有 (岩谷)有
2. 実務経験の内容：(榎並)公立中学校及び国立大学附属小学校において教諭として勤務。(板東)公立小学校教諭、公立特別支援学校教諭、小学校教頭、校長、公立幼稚園園長、総合教育センター指導主事の経験有。(小河)神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務従事。(岩谷)幼稚園教諭・主任・園長として勤務経験有

科目名	教職実践演習（養護）	担当教員	平松 恵子 齋藤 充子
科目コード	20045	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	3期・4期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

①これまでの学修や養護実習での学びを統合させ、養護教諭の具体的役割の自覚を強くする、②学校現場で児童生徒に十分対応していける資質・能力及び養護教諭としての使命感・責任感・教育的愛情・社会性や対人関係能力・連携力を備えるに至ること、またそれを確かなものとするために現時点での自己課題を明確にすることができる、③子ども理解や健康問題の解決のための支援、保健管理・保健教育等、養護教諭としての確かな実践力・指導力の重要性を認識し備えるに至ることができる、④養護教諭としての医学的知識・看護能力を生かし、救急処置ができることを目標とする。

《授業計画》

1. 「教職実践演習（養護）」を学ぶ意義の確認
2. 学校保健活動の推進
3. 保健教育の実際（模擬授業・相互評価）
4. 養護におけるアセスメント
5. 学校における看護的ケア
6. 子ども理解、養護活動の実際（保健管理、健康相談、保健組織活動）
7. 保健室経営（保健室経営計画案の作成）
8. まとめ（養護教諭に求められる資質・能力）

《テキスト・購入本》

購入本：静岡県養護教諭研究会編著『養護教諭の活動の実際 第3版』東山書房 2019年

《事前課題・学生持参品》

指導案、教材等を作成し持参すること（養護実習で作成したもの可）
「履修カルテ」「養護実習簿」

《服装》

動きやすい服装（スニーカー、運動靴、ポロシャツ、ジャージ等）

《学生に対する評価》

授業課題（50%）、最終試験（50%）により評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【平松】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校、中学校、高等学校の養護教諭としての勤務経験有。大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

【齋藤】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭・看護教諭としての勤務経験を持ち、大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

科目名	保育実習論Ⅰ	担当教員	和田 真由美 藤重 育子
科目コード	40041	履修方法	面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育実習論Ⅰは、保育実習を行うための事前準備を行う科目となります。実習において学びを深められるよう、実習に関するさまざまな知識と技術を得ること、実習に必要なマナーと倫理観を身につけることを目的とします。

授業の到達目標は、①保育実習について理解し、実習に向けての準備に関する知識を得る、②保育所、施設の概要や保育士の仕事、援助や支援の在り方について知り説明できる、③実習記録、指導案等の書き方を知る、④実習において必要なマナーと倫理観を身につける、⑤実習終了後に自分の保育を振り返り、反省点を明確にして保育の実践に関する学びを深める方法を知る、の5つです。

《授業計画》

1. 保育実習Ⅰ（保育所、施設）について理解し、実習課題を考える。
2. 実習に行くまでの流れと準備物を知る（実習依頼、オリエンテーション等）。
3. 保育所の役割と保育士の仕事を知る。
4. 保育所実習の1日の流れを知る。
5. 保育所実習における観察の視点と実習記録の書き方を学ぶ。
6. 子どもの発達過程と遊びを知る。
7. 保育技術を習得する（絵本の読み聞かせ、手遊び、表現遊び、紙芝居など）。
8. 指導案の立て方を学ぶ。
9. 施設の機能と施設保育士の仕事について知る（児童養護施設、乳児院）。
10. 施設の機能と施設保育士の仕事について知る（障がい児施設等）。
11. 施設実習の1日の流れを知る。
12. 施設実習における観察の視点と実習記録の書き方を学ぶ。
13. 施設実習における利用者への支援方法と配慮事項を学ぶ。
14. 実習におけるマナーと倫理を学ぶ。お礼状の書き方を知る。
15. 保育の振り返り、自己評価、省察について学ぶ。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育実習論』戸江茂博・松島京ほか

配本テキスト：『保育所保育指針解説』厚生労働省／編（フレーベル館）2018年

購入本：『新訂 知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド

第2版』石橋裕子・林幸範編（同文書院）2020年 ※必ず第2版を購入してください。
同文書院のHPから購入可能です。

《事前課題》

- ①『保育所保育指針解説』（2018年）の全ページを読む。
- ②子どもへの読みみかせに向いていると思う絵本を1冊選ぶ。

《学生持参品》

靴下、動きやすい服装（スカート丈の短いものは避ける）

事前課題②で選んだ絵本

《学生に対する評価》

授業内での課題、授業態度を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【和田】1. 実務経験の有無：無

【藤重】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

※保育実習Ⅰ終了者が受講対象です。
 学習(修)便覧で受講要件を満たしているか確認してから受講申請を行ってください。
 原則、保育実習Ⅱ開始直前のスクーリングを受講してください。(実習実施要件単位取得期限までに)

科目名	保育実習論Ⅱ	担当教員	和田 真由美
科目コード	40042	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育実習論Ⅱは、保育所での実習を行うための事前準備を行う科目となります。保育実習において学びを深められるよう、実習に関するさまざまな知識と技術を得ること、実習に必要なマナーと倫理観を身につけることを目的とします。保育実習Ⅱでは、保育実習Ⅰでの学びを踏まえ、さらに保育の技術や子ども理解を深めていきます。

授業の到達目標は、①実習のために必要な準備を行う、②保育の実際における指導・援助の在り方を学ぶ、③指導案を立案できる、④実習において必要なマナーと倫理観を身につける、⑤実習終了後に自分の保育を振り返り、反省点を明確にして保育の実践に関する学びを深める方法を知る、の5つです。

《授業計画》

1. 保育実習Ⅱについて理解し、実習課題を考える。
2. 子どもの発達と遊びについて学ぶ。
3. 環境構成と保育者の援助について学ぶ。
4. 教材研究を行う。
5. 指導案を立てる。
6. 模擬保育を行う。
7. 模擬保育の評価・反省を行い、保育を行う上での配慮事項を確認する。
8. 保育の振り返り、自己評価、省察について学ぶ。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育実習論』戸江茂博・松島京ほか

配本テキスト：『保育所保育指針解説』厚生労働省／編（フレーベル館）2018年

購入本：『新訂 知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第2版』石橋裕子・林幸範編（同文書院）2020年
 （2020年度版でなくとも、保育実習論Ⅰの時に購入したもので良い）

《事前課題》

4歳児クラス20名、30～40分の指導案を書いてくる。用紙は大学から取り寄せてください。

《学生持参品》

靴下、動きやすい服装（スカート丈の短いものは避ける）

作成した指導案

《学生に対する評価》

授業内での課題（模擬保育を含む）、授業態度を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

※保育実習Ⅰ終了者が受講対象です。
 学習(修)便覧で受講要件を満たしているか確認してから受講申請を行ってください。
 原則、保育実習Ⅲ開始直前のスクーリングを受講してください。(実習実施要件単位取得期限までに)

科目名	保育実習論Ⅲ	担当教員	藤重 育子
科目コード	40043	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育実習Ⅲのための事前指導を行う。授業の到達目標は、①実習のために十分な準備を行うこと、②現場における子ども(利用者)の活動や保育士の業務や援助のあり方を学ぶこと、③実習終了後、自分の援助を振り返り、反省点を明確にして援助の実際について深めることである。

《授業計画》

1. 保育実習Ⅲの意義と留意事項
2. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
3. 施設における支援の実際(1)受容と共感、子どものニーズと子ども理解
4. 施設における支援の実際(2)個別支援計画の作成と実践
5. 施設における支援の実際(3)家族への支援と対応、専門職・地域との連携
6. 施設における支援の実際(4)保育士の多様な業務と職業倫理
7. 実習実施の理解と実習課題の設定、オリエンテーション等について
8. 実習記録(施設)の書き方

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育実習論』

購入本：『新訂 知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉等施設実習ガイド』
 (同文書院、2020年)

※「保育実習論ⅠおよびⅡ」にて使用している購入本です。

《事前課題》

購入本の自身の実習に係る該当ページを読んでおくこと。

《学生持参品》

『保育所保育指針解説』

テキスト・購入本

《学生に対する評価》

参加態度、授業中の課題で総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

教科科目・幼稚園教職科目

科 目 名	ページ
こどもと環境Ⅰ／保育内容（環境Ⅰ）	95
こどもと環境Ⅱ／保育内容（環境Ⅱ）	96
こどもと健康Ⅰ／保育内容（健康Ⅰ）	97
こどもと健康Ⅱ／保育内容（健康Ⅱ）	98
こどもと人間関係Ⅰ／保育内容（人間関係Ⅰ）	99
こどもと人間関係Ⅱ／保育内容（人間関係Ⅱ）	100
保育内容（表現）	101
保育内容（言葉）	102
こどもと造形表現Ⅰ／保育の表現技術(造形)／造形表現	103
こどもと造形表現Ⅱ	104
こどもと表現Ⅰ（体育）／体育／体育（RS）	105
こどもと表現Ⅱ(図工)／図画工作Ⅱ ※令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象	106
こどもと表現Ⅲ(声楽)／音楽Ⅰ／音楽Ⅲ(声楽)	107
こどもと表現Ⅳ(器楽)／音楽Ⅱ／音楽Ⅱ(ピアノ)	108
音楽Ⅳ（器楽）	109
保育の表現技術（言語）／言語表現	110
保育の表現技術（合奏）	111
こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／音楽表現(ピアノ)第1段階	112
こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／音楽表現(ピアノ)第2段階	113
こどもと音楽表現Ⅱ(声楽)／保育の表現技術(声楽)／音楽表現(声楽)	114
こどもと体育Ⅰ／保育の表現技術(身体)／身体表現	115
こどもと体育Ⅱ	116
書写	117
図画工作 ※令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・ 令和4年度科目等履修生対象	118
音楽	119

科目名	こどもと環境Ⅰ／ 保育内容(環境Ⅰ)	担当教員	川淵 博祥
科目コード	30012／30091	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

乳児から幼児への時期には、自己とは異なる身の回りの事象との関わりを認識し始める。この講義では、特に、自然事象について考え、「それらを子ども達がどのように捉え、その後の生活においてどのような関わりを持つか」について、教える側としての認識と知識を確認する。

保育所・幼稚園・認定こども園の環境のねらいを知り、身の回りの自然環境に親しむ。

《授業計画》

基本的には、講義形式が中心となるが、適宜、課題演習形式や戸外での観察・採集など参加型授業も行う。

1. 発達段階と環境：発達段階と環境との関わりを理解する
2. 新旧の環境領域の比較から、教育の方向を知る
3. 植物と環境：植物との関わりを理解する
4. 動物と環境：動物との関わりを理解する
5. 学校園外の植物等の観察やスケッチを行う
6. 身近な自然環境：四季の自然現象を考える
7. 自然や生活について考える
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領解説（平成30年3月）

※幼稚園、保育士コース以外の履修者は当日プリントを配付します。

適宜プリントを配付する。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講態度 20%
提出物 30%
単位認定試験 50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校教諭、県・市教育委員会管理指導主事等、附属小学校副校長、小学校校長として勤務

科目名	こどもと環境Ⅱ／ 保育内容(環境Ⅱ)	担当教員	大嶋 健吾
科目コード	30013／30096	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

子どもは周囲の環境から多様な影響を受け様々なことを学んでいく。本講では「ひと・もの・こと」をはじめとした、子どもを取り巻く環境について理解を深めていくとともに、子どもの身近な環境について考え、環境を通して行う保育について学ぶとともに、子どもへの最適な社会環境を追求する。

《授業計画》

まず、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領に示されている内容の概要から乳幼児期の教育・保育における基礎的な知識と技術の理解、習得を目指す。保育実践記録を読み込みながら、子どもがどう主体的・自発的に身近な環境に関わることで遊びや活動につながっていくのか、保育者として子どもにとってより良い環境構成・再構成とは何か、果たすべき役割とは何かについて考える。

1. 保育・幼児教育の基本と領域「環境」とは
2. 環境を通して行う保育とは
3. 子どもの身近な環境：物的環境と関わって遊ぶ
4. 子どもの身近な環境：自然を取り入れて遊ぶ～自然の特性を活かして～
5. 子どもの身近な環境：生き物とのかかわりを通した子どもの学び
6. 子どもの身近な環境：文字や標識、数や図形への関心
7. 子どもの身近な環境：生活のなかでの情報に興味や関心を持ち遊びへとつなげる
8. 海外における保育環境と現代社会における課題と子どもを取り巻く環境

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説』文部科学省／著（フレーベル館）

配本テキスト：『保育所保育指針解説』厚生労働省／編（フレーベル館）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

授業態度30％＋授業内レポート20％＋単位認定試験50％

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：保育士としての勤務経験有

科目名	こどもと健康Ⅰ／ 保育内容(健康Ⅰ)	担当教員	抱江 賢治
科目コード	30014／30092	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な基本的知識、内容、方法を理解、習得する。

＜到達目標＞

- ・「健康」概念の変遷とこどもの置かれている「健康」状態と課題が説明できる。
- ・幼稚園教育要領における領域「健康」のねらいと内容を説明できる。
- ・こどもの発育・発達について、身体的・精神的・社会的側面から説明できる。
- ・こどもを取り巻く環境の現状と環境(人的・物的)整備の視点を説明できる。
- ・幼児期に習得したい基本的な生活習慣と食育について、内容と方法が説明できる。

《授業計画》

1. 健康に関する世界の流れ／人間の権利と健康／こどもの健康の今日的課題
2. 幼稚園教育要領領域「健康」のねらいと内容
3. こどもの身体的発達の実際①(筋・骨格系／神経系／循環器系・消化器系／発達を促す視点と取組み)
4. こどもの身体的発達の実際②(運動系(上肢・手／下肢・足の指／土踏まず／発達を促す視点と取組み))
5. こどもの精神的発達と社会的発達の実際／発達を促す視点と取組み
6. こどもを取り巻く環境の現状と課題
7. 基本的な生活習慣(食事／睡眠／排泄／清潔／衣服の着脱)
8. 食育と栄養

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説(平成30年3月)』文部科学省(フレーベル館)

配本テキスト：『保育所保育指針解説(平成30年3月)』厚生労働省(フレーベル館)

配本テキスト：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)』内閣府・文部科学省・厚生労働省(フレーベル館)

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

※必要に応じて印刷資料を配布します。

参考図書：『保育者をめざすあなたへ 子どもと健康(第2版)』(2019)勝木洋子編(みらい)

《事前課題》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験(80%)授業態度(20%)

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：生涯学習・青少年教育団体(NPO法人YMCA)にて、チャイルドケアセンター(名称。こども園にあたるもの)の設立(施設整備、行政手続き、指導者採用等)及びその運営管理(募集・広報、保育現場における子どもたちへの指導、保護者対応、地域連携、指導者トレーニングを含む、等)に副園長として従事

科目名	こどもと健康Ⅱ／ 保育内容(健康Ⅱ)	担当教員	抱江 賢治
科目コード	30015／30097	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な基本的知識、内容、方法を理解、習得する。

＜到達目標＞

- ・「遊び」の概念を理解したうえで、こどもの「遊び」の発達について説明できる。
- ・乳幼児期から児童期にかけての運動発達について説明できる。
- ・伝統的行事や園における年間行事について説明できる。
- ・虐待の内容を説明でき、いのちの大切さを育む教育・保育を考えることができる。

《授業計画》

1. 「遊び」について①（「諸説」紹介／教育・保育における「遊び」の重要性／「遊ばれる」ことから「遊ぶ」ことへ）
2. 「遊び」について②（「遊ぶ」ことを学ぶ（ふり遊び／空想遊び／役割遊び／ごっこ遊び））
3. 運動遊び①（生活の中に見る動き（基本的な動作）／幼児期運動指針／乳児期～幼児期～児童期の運動発達）
4. 運動遊び②（運動指導の在り方と教育・保育者の役割／事例紹介）
5. 模擬保育提案（指導案作成の視点／模擬保育／ふりかえり）
6. 伝統行事と園行事
7. 安全教育と安全管理（事故や病気・ケガの特徴／感染症／救命処置と応急処置／育むべき基本的な力／備えと避難行動／事例紹介）
8. 虐待といのちの教育（虐待の種類と内容／こどもに及ぼす影響／法律／「生」と「死」／いのちを学ぶ園の環境構成）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説（平成30年3月）』文部科学省（フレーベル館）

配本テキスト：『保育所保育指針解説（平成30年3月）』厚生労働省（フレーベル館）

配本テキスト：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）』内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

※必要に応じて印刷資料を配布します。

参考図書：『幼児期における運動発達と運動遊びの指導』（2014）杉原 隆・河邊貴子編著（ミネルヴァ書房）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動のできる服装、体育館シューズ、タオル、水分補給物、マスク

* 2期は寒さ対策のため、上に羽織るものがが必要です。

《学生に対する評価》

単位認定試験（70%） 模擬保育（10%） 授業態度（20%）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：生涯学習・青少年教育団体（NPO 法人 YMCA）にて、チャイルドケアセンター（名称。こども園にあたるもの）の設立（施設整備、行政手続き、指導者採用等）及びその運営管理（募集・広報、保育現場における子どもたちへの指導、保護者対応、地域連携、指導者トレーニングを含む、等）に副園長として従事

※原則、人間関係Ⅰを受講してから、人間関係Ⅱを受講してください。

科目名	こどもと人間関係Ⅰ／ 保育内容(人間関係Ⅰ)	担当教員	岩谷 恵利子
科目コード	30016／30093	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取扱い（配慮事項）を理解して、実践展開に向けての構想力を育む。

乳幼児期の人間関係がどのように育っていくかを学び、子どもの自立心や人とかかわる力を養うために必要となる保育・教育の実践方法や援助方法についての理解を深めることを目標とする。

《授業計画》

- 第1回：オリエンテーション 「こどもと人間関係」についての目標・概要を理解する
領域「人間関係」がめざすもの
- 第2回：生態学的環境として関係をとらえる
領域「人間関係」の基礎知識
- 第3回：発達年齢の特徴から考える - 0・1・2歳児 -
- 第4回：発達年齢の特徴から考える - 3・4歳児 -
- 第5回：幼児期の「なかよし」とは - 楽しい遊び - (グループワーク)
- 第6回：幼児期の「なかよし」とは - 楽しい遊び - (グループワーク)
- 第7回：発達年齢の特徴から考える - 5・6歳児 -
- 第8回：かかわりの育ちを「みる」・まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館

配本テキスト：保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

購入本：『体験する・調べる・考える 領域人間関係』 田宮縁著 萌文書林

※「こどもと人間関係」履修者は配本テキストです。

(参考書・参考資料等)

無藤 隆監修 岩立京子編者代表『事例で学ぶ 保育内容 領域人間関係』萌文書林、講義の中で適宜プリントを配布する。

《事前課題》

子どもが楽しむ遊び（歌遊び・ゲーム遊び等）の教材研究をしておくこと。

《学生持参品》

動きやすい服装

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：幼稚園教諭、保育施設勤務の経験あり

※原則、人間関係Ⅰを受講してから、人間関係Ⅱを受講してください。

科目名	こどもと人間関係Ⅱ／ 保育内容(人間関係Ⅱ)	担当教員	岩谷 恵利子
科目コード	30017／30098	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- 領域「人間関係」におけるねらいと内容について理解を深めるとともに、生活場面における幼児のさまざまな「人との関わり」とその育ちについて学んでいく。
- 教育の場で、一人一人が大切にされ、また互いに豊かな関わり合いがもてるような集団を形成するには、どのような課題があるのかを、保育における人間関係を様々な側面から考察し、現場での実践やその振り返りの際の幅広い視点を得ることが目標である。

《授業計画》

- 第1回：幼児教育の基本 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「人間関係」を理解する
- 第2回：社会性の発達・幼児期の仲間関係から見る
- 第3回：保育活動の事例から考える（グループワーク）
- 第4回：ドキュメンテーションを作ろうⅠ
- 第5回：ドキュメンテーションを作ろうⅡ
- 第6回：お話遊びⅠ（グループワーク）
- 第7回：お話遊びⅡ（グループワーク）
- 第8回：人との関わりを育む保育者の役割と保護者対応について
今日的課題・まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館

配本テキスト：保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《学生持参品》

動きやすい服装。牛乳パック大1、色画用紙、色紙（牛乳パックをつかって人形や動物を作るのでイメージして数色を用意する）、のり、ハサミ、マーカー。

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：幼稚園教諭、保育施設勤務の経験あり

科目名	保育内容(表現)	担当教員	藤重 育子
科目コード	30099	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- 領域「表現」の基本的な知識を理解する。
- 子どもの「表現」をより豊かに育む援助方法を学ぶ。
- 実践を通して、保育者自身の表現力を身につける。

《授業計画》

1. 子どもの感性と表現①(領域「表現」)
2. 子どもの感性と表現②(身体的、造形的、音楽的表現)
3. 子どもの感性と表現③(他領域との関連)
4. 領域「表現」と小学校教科等のつながり
5. 保育実践①(手遊び、わらべうた)
6. 保育実践②(素話、シアター)
7. 保育指導案作成と模擬保育
8. 幼児の表現意欲を高める保育者の援助、まとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『アクティベート保育学11 保育内容「表現」』（ミネルヴァ書房）ISBN978-4-623-08860-7

《事前課題》

廃材を利用した玩具を2つ(乳児用・幼児用)作り、その遊び方と予想される子どもの反応をまとめてくる(様式は自由)。

《学生持参品》

動きやすい服装。課題で作製した玩具、レポート。大学ノート(B5版罫線付き)1冊。過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートも持参。

《学生に対する評価》

受講態度及び実践、レポートなどを総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	保育内容(言葉)	担当教員	藤重 育子
科目コード	31095	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- ・領域「言葉」の保育内容を学び、保育の中でどのように達成していくのかを子どもたちの遊びの姿や保育指導の事例等から理解を深める。
- ・乳幼児の言葉の発達、言葉を育む保育環境を理解し、保育者としての知識や実践力を身につけることができる。
- ・保育実践に活かす力をつけるため、児童文化財の研究を行う。その際グループワークや制作活動を取り入れ保育者としての表現力や実践力を身につける。

《授業計画》

- 第1回：保育内容(言葉)の目標と内容を理解
- 第2回：月齢ごとの言葉の発達の特徴理解
- 第3回：児童文化財の扱い方、事例研究①
- 第4回：児童文化財の扱い方、事例研究②
- 第5回：保育内容の他領域との関係
- 第6回：小学校「国語」への連携についての理解
- 第7回：言葉の育ちにかかわる諸課題
- 第8回：学習のまとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『新 保育ライブラリ・保育の内容・方法を知る 保育内容 言葉』（北大路書房）
ISBN978-4-7628-2631-3

《事前課題》

乳児／幼児対象の絵本を1冊ずつ選択し、あらかじめ練習しておくこと。

《学生持参品》

購入本、事前課題で選んだ絵本（乳児用・幼児用）を持参。過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートも持参。のり・はさみを含む文具、B5版ノート（大学ノート）。

《学生に対する評価》

授業参加度及び演習成果（事前準備、提出物含める）など総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	こどもと造形表現Ⅰ/ 保育の表現技術(造形)/造形表現	担当教員	井上 龍彦
科目コード	30018/20100/24100	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

こどもにとって造形活動とは何か？好きなものや、やりたいことなど子どもにとって遊びがものごとの発見であり、体験でもあるので、大きな意味をもっている。こどもは発達と共に感性も広がりを見せ、いろいろなことに興味を持ち、体験してゆく。子どもたちは、無限の可能性を持っており、いかにしてひとつでも多くの可能性を引き出す手助けができるか？この授業では上記のことを踏まえ、幼稚園、保育所（こども園）での表現（造形表現）におけるこどもの発達段階も交えながら、製作を行い、模擬保育も含めて助言方法や技術的なことを身につけてもらう。

《授業計画》

1. 授業内容の説明、人と造形表現について
2. 造形教育の変遷、発達段階と表現活動について
3. 幼稚園教育要領、保育所保育指針について
4. 指導計画、保育指導案について
5. 描画材料について 課題演習
6. 身近な素材でのおもちゃづくり 課題演習
7. 模擬保育 グループワーク、製作
8. 模擬保育 グループワークでの発表（情報通信技術を利用し、画像、動画等を活用）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説』文部科学省／著（フレーベル館）

配本テキスト：『保育所保育指針解説書』厚生労働省／編（フレーベル館）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

参考図書として「保育をひらく造形表現」横 英子（萌文書林）、「幼児造形の基礎」樋口一成（萌文書林）

その他：プリント配布

《事前課題》

季節に関連する園の行事や、それらに関する表現について図書等で見ておくようにしてください。

《学生持参品》

制作作業が行いやすい服装、スティックのり、濃いめの鉛筆、カラーペン（8色程度）、折り紙（色紙）、はさみ、カッターナイフ等、セロテープ

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、模擬保育も含む実技課題（70%）、小問題（20%）等を勘案して総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	こどもと造形表現Ⅱ	担当教員	井上 龍彦
科目コード	30019	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児にとっての造形活動（表現）とは何か？幼児の発達に即した造形表現の狙いと内容を学び、幼児が楽しく造形活動ができる教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方について、理論と実技の両面から実践的に研究する。

子どもの成長過程における多様な感性を育て、創造性を育てるため幅広く表現の意義と必要性を学ぶ。また、子どもの発達・発想・表現を想定し、美術・造形の基礎・基本が身につく、幼児が楽しむことができる柔軟な指導ができる保育の造形表現のあり方について学ぶ。

講義の中では、幼児の表現や発達をイメージしながら、実際に役立つような講義と教材研究を展開する。

実技においても単に製作するのではなく、幼児の表現、発達、発想を常にイメージし、保育の現場に立ったときを考えながら製作活動をすることを希望する。

《授業計画》

1. 幼児の造形活動について
2. 幼児の発達と表現
3. 身近な素材を使つての表現1
4. 身近な素材を使つての表現2
5. 線で表現する
6. 部分実習案／部分実習1
7. 部分実習案／部分実習2
8. 幼児造形表現のまとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省（フレーベル館）
 ※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

作業等ができる服装
 やわらかい鉛筆（4B等）
 色鉛筆（12色程度）・カラーペン（6色以上）
 折紙セット
 のり
 はさみ

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題、レポート等を通して総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	こどもと表現I(体育)／ 体育／体育(RS)	担当教員	今野 賛
科目コード	30022/30094/34094	履修方法	面接／印刷・面接
単位数	1単位／2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本授業では、子どもの体育的活動の指導者として必要な基礎的知識と技能について学習する。子どもの心身の発達特性や運動特性を理解し、子どもの健全な心身の発達を促すための身体活動についての知識と技能を習得する。また、子どもが主体的に身体活動を行うことができるための実践的な指導方法を理解する。体育(RS)受講者(2019年度以降入学)はレポートを提出する前にスクーリングを受講することが望ましい。

《授業計画》

- 第1回：子どもの体力・運動能力の発達について
- 第2回：基本動作の発達
- 第3回：ボール運動①(ボール運動の特性について)
- 第4回：ボール運動②(集団で行うボール運動について)
- 第5回：マット運動①(マットに必要な動作について)
- 第6回：マット運動②(マット運動に必要な支援・指導について)
- 第7回：跳び箱運動①(跳び箱運動に必要な動作について)
- 第8回：跳び箱運動②(跳び箱運動に必要な支援・指導について)

《テキスト・購入本》

なし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動できる服装、屋内シューズ

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《連絡事項》

「体育(RS)(34094)(2019年度以降入学学生対象)」は印刷・面接科目です。担当は以下の通りです。
印刷(レポート)：抱江 賢治
面接(スクーリング)：今野 賛

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象

科目名	こどもと表現Ⅱ(図工)／ 図画工作Ⅱ	担当教員	井上 龍彦
科目コード	30023／30090	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講義は、小学校の図画工作（幼稚園の造形も含む）の教材研究を行う科目である。しかし、単なる図画工作の教材だけではなく、子どもの絵の表現の発達の道筋をたどりながら、幼児・児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、子どもが楽しく造形活動が出来る教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方についても考えに入れながら、理論と実技の両面から実践的に研究をする。

講義の中では、子どもの表現や発達をイメージしながら、しかも図画工作・造形の基礎・基本が身につく、実際に役立つような講義と教材研究を展開する。

実技においても単に製作するのではなく、子どもの表現、発達、発想を常にイメージし、教育の現場に立ったときを考えながら製作活動をする事を希望する。

《授業計画》

1. 小学校「図画工作」の教材研究について
2. 身近な素材での教材製作
3. 発達段階と表現の変遷について
4. 複数で表現するおもしろさ 課題制作
5. 色画用紙を使った表現指導について
6. 紙パックを使つての課題制作
7. 紙パックを使つての表現研究
8. 名画・名作の鑑賞・子どもの造形表現の鑑賞等

《テキスト・購入本》

特になし

必要に応じてプリントを配布する。

《事前課題》

4. の課題に関連する魚、のイラスト等を描いてもらうので、1～2種類、考えておくこと。
(例：タイ、うなぎなど)

《学生持参品》

作業等ができる服装

やわらかい鉛筆（4B等）、色鉛筆（8色程度）・カラーペン（8色程度）、色紙セット、のり、はさみ、カッターナイフ等、1リットル紙パック一つ（そのままの形で使用のため、平面にしないこと）、水彩絵の具セットを持っている人は持参下さい。

《学生に対する評価》

受講態度（10％）及び授業課題、筆記物等（90％）の結果を通して総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	こどもと表現Ⅲ(声楽)／ 音楽Ⅰ／音楽Ⅲ(声楽)	担当教員	白石 愛子
科目コード	30024／30100／30106	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔(オンライン)		

《授業の到達目標及びテーマ》

小学校学習指導要領音楽の内容における「呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能」のもと、この授業では声楽における姿勢・呼吸・発声についての基本的な技能・知識を学び、演習することで歌唱技術を高め、歌唱指導の充実へと繋げていく。また音楽解釈をもとに歌唱表現を深め、曲の特徴にふさわしい楽曲表現ができることが目標である。

《授業計画》

1. 幼稚園教育要領と小学校学習指導要領の内容について
2. 歌唱基礎(1) 姿勢と呼吸
3. 歌唱基礎(2) 発声器官
4. 歌唱基礎(3) わらべうた、唱歌、童謡について
5. 歌唱基礎(4) 小学校歌唱共通教材について
6. 歌唱実践(1) 歌唱を通した様々な表現(重唱、合唱)
7. 歌唱実践(2) 歌唱を通した様々な表現(弾き歌い)
8. 歌唱実践(3) 歌唱を通した様々な表現(音楽劇)

《テキスト・購入本》

購入本：声楽教本(森田百合子著、教育芸術社出版、2011)

参考図書：幼稚園教育要領(文部科学省)、小学校学習指導要領(文部科学省)

《事前課題》

特になし。

《学生持参品》

筆記用具、飲み物

購入本を必ず持参すること。

《学生に対する評価》

授業態度20%、授業内課題30%、歌唱実技試験50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師(音楽)。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア(ウィーン)にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動をおこなった。

科目名	こどもと表現Ⅳ(器楽)／ 音楽Ⅱ／音楽Ⅱ(ピアノ)	担当教員	山本 千紗
科目コード	30025／30101／30105	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを踏まえ、幼児の発達や学びの過程に合った教材を精選する知識と、保育者として幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につけることを目的とする。

〈到達目標〉

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。
2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、それぞれの段階に合った教材を精選する知識を身につける。
3. 保育・幼児教育における音楽の位置付けについて理解し、幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を習得する。

《授業計画》

1. ピアノの基礎的奏法の習得①（ピアノ曲）
2. ピアノの基礎的奏法の習得②（弾き歌い）
3. ピアノの基礎的奏法の確認と復習①（姿勢・運指）
4. ピアノの基礎的奏法の確認と復習②（平易な伴奏法）
5. コード（和音）の理解
6. 読譜力の強化①（拍と音程の認識）
7. 読譜力の強化②（曲想の認識）
8. 筆記試験および事前課題による実技試験、総括

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『音楽Ⅱ（ピアノ）』

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）『保育所保育指針』（厚生労働省）

参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

バイエル48番、バイエル58番、バイエル66番、弾き歌い「むすんで ひらいて」（ハ長調）または「ふしぎなポケット」（ト長調）の4曲。全て配本テキストに掲載あり。

配本テキストP.95に弾き歌い教材の取り組み方を記載しているので、確認すること。

《学生持参品》

筆記用具

《学生に対する評価》

事前課題40%、単位認定試験60%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：音楽教室の講師として勤務経験有

科目名	音楽Ⅳ(器楽)	担当教員	杉山 雄一
科目コード	30107	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

この授業では音をイメージし、楽器によって発音することで、さまざまな表現をしていく。特にヴァイオリンを用い、弦楽器特有の表現方法を習得しながら、多様な音色による幅広い表現を追求し、こどもの表現についての理解を深める。

- ・ヴァイオリンによるさまざまな表現法について理解し、習得する。
- ・こどもが「音楽によって自らを表現する楽しさを感じ、喜びを味わう」ことを支援する力を身につける。

《授業計画》

1. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」①〈ヴァイオリンの性質の理解〉
2. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」②〈運弓と音質〉
3. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」③〈運指の学習〉
4. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」④〈わらべ歌による表現〉
5. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑤〈移弦による表現の多様性〉
6. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑥〈童謡による表現〉
7. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑦〈ヴァイオリンのアンサンブル〉
8. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑧〈まとめ〉

《テキスト・購入本》

授業を進める上で必要に応じて適宜楽譜などの資料を配布する

《事前課題》

ヴァイオリンの概要（どんな楽器か、どのような演奏方法があるか、など）について予習すること。

《学生持参品》

筆記用具 五線紙

《学生に対する評価》

授業態度（20%）、課題提出（20%）、単位認定試験（60%）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）首席ヴィオラ奏者、明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員として勤務経験有。高等学校教員非常勤講師（音楽科）として勤務経験有

※原則、保育内容(言葉)を受講してから、保育の表現技術(言語)／言語表現を受講してください。

科目名	保育の表現技術(言語)／ 言語表現	担当教員	藤重 育子
科目コード	20098 / 24098	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

乳幼児期の保育・教育において育みたい資質・能力について理解し、幼稚園教育要領・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深める。また、乳幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定しながら保育を構想する力を身に付ける。

1. 幼稚園教育要領に示された保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。
2. 各領域との関連のなかで、領域「言葉」を捉える視点を身に付ける。
3. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する力を身に付ける。
4. 模擬授業の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。

《授業計画》

1. 領域「言葉」、言葉を豊かにすることば遊び
2. こどもの言葉を育む児童文化財・言葉と歌、手あそび
3. 保育教材研究（絵本・紙芝居）
4. 保育教材研究（ペープサート）
5. 保育教材研究（手作りシアター①）
6. 保育教材研究（手作りシアター②）
7. 季節に合ったお話 書き言葉、言葉を豊かにする保育環境
8. 現代における言葉の諸問題

《テキスト・購入本》

配本テキスト：「幼稚園教育要領解説」（平成30年 文部科学省）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《参考書・参考資料等》（スクーリングに持参する必要はありません）

- ・「保育所保育指針解説」（平成30年 厚生労働省）
- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（平成30年 内閣府・文部科学省・厚生労働省）
- ・『言葉と表現力を育む児童文化』川勝泰介・浅岡靖央・生駒幸子編著、萌文書林
- ・『保育内容言葉』小田豊・芦戸宏、北大路書房

《事前課題》

絵本を1冊選んで持ってくる（選んだ理由を紙に書いてくる※書式は自由）。

《学生持参品》

動きやすい服装、事前課題の絵本

+（はさみ、のり）を含む筆記用具、大学ノート（B5版罫線付き）1冊、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートも持参。

《学生に対する評価》

模擬保育を含む実技演習、受講態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	保育の表現技術(合奏)	担当教員	杉山 雄一
科目コード	20099	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本授業では、こどもの表現活動の立場から音楽をとらえる。そのために、1つ1つの楽器を使った表現に始まり、それらを重ね合わせる表現、つまり合奏について様々な角度からアプローチし、考察する。

ダルクローズ・コダーイ・オルフの音楽教育を踏まえこどもの表現活動について理解すること、また楽器を使った表現について習熟することが到達目標である。

《授業計画》

1. こどもと音楽表現：こどもの発達と「表現（音楽）」について考え、理解する
2. ダルクローズの音楽教育：身体を使った表現とリズムについて学び、実践する
3. コダーイの音楽教育：わらべ歌やリズム唱による音楽表現の効果について学ぶ
4. オルフの音楽教育：オルフ楽器について学び、合奏を実践する
5. 編曲法：こどもの「表現（音楽）」を念頭に置いた編曲法を習得する
6. 指揮法：こどもの「表現（音楽）」をサポートできる指揮について考え、実践する
7. 合奏の実践：様々な表現法を試み、音色を探求しながら合奏する
8. 成果発表と総括：合奏実践の成果発表を行い、楽器を通じたこどもの「表現（音楽）」について、またこどもと音楽との関わりについてまとめる

《テキスト・購入本》

授業を進める上で必要に応じて適宜楽譜などの資料を配布する

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具

《学生に対する評価》

授業態度（20%）、課題提出（20%）、単位認定試験（60%）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）首席ヴィオラ奏者、明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員として勤務経験有。高等学校教員非常勤講師（音楽科）として勤務経験有

科目名	こどもと音楽表現I(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)第1段階	担当教員	山本 千紗
科目コード	30035/20096/24096	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	5期～10期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを踏まえ、幼児から伸び伸びとした表現を引き出すピアノ演奏について学ぶ。保育・幼児教育における音楽の位置付けを理解し、保育者として幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につけることを目的とする。

＜到達目標＞

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。
2. 幼児の発達や学びの過程と、保育・幼児教育における音楽との関わりについて理解を深める。
3. 保育実践において表現領域から幼児の成長を促す援助のあり方を習得する。

《授業計画》

幼児教育要領、保育所保育指針の領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児期における音楽的活動について学習する。第1段階では、ピアノの基礎的奏法を習得した上で、教師・保育者に求められる豊かな音楽表現能力について学習する。第2段階では、幼児教育（初等教育との関連を含む）における表現活動の意味・目的を理解した上で、幼児の発達や学びの過程についての知識を深めるとともに、幼児の心身の発達および成長を促す音楽的活動を創造する力とその指導法を習得する。

1. 事前課題による実技試験、ピアノの基礎的奏法の確認①
2. 音楽の基礎的理解の確認
3. 音楽の基礎的理解と応用実践
4. 幼児から伸び伸びとした身体表現を引き出すピアノ奏法①（ピアノの特殊奏法）
5. 幼児から伸び伸びとした身体表現を引き出すピアノ奏法②（図形譜の理解と工夫）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育の表現技術（ピアノ）』

その他：適宜、資料を配布

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）『保育所保育指針』（厚生労働省）

参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

pp.58～59参照

配本テキストP.105に弾き歌い教材の取り組み方を記載しているので確認すること。

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

事前課題80%、単位認定試験20%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：音楽教室の講師として勤務経験有

科目名	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)第2段階	担当教員	山本 千紗
科目コード	30035/20096/24096	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	5期～10期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを踏まえ、幼児から伸び伸びとした表現を引き出すピアノ演奏について学ぶ。保育・幼児教育における音楽の位置付けを理解し、保育者として幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につけることを目的とする。

＜到達目標＞

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。
2. 幼児の発達や学びの過程と、保育・幼児教育における音楽との関わりについて理解を深める。
3. 保育実践において表現領域から幼児の成長を促す援助のあり方を習得する。

《授業計画》

幼児教育要領、保育所保育指針の領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児期における音楽的活動について学習する。第1段階では、ピアノの基礎的奏法を習得した上で、教師・保育者に求められる豊かな音楽表現能力について学習する。第2段階では、幼児教育（初等教育との関連を含む）における表現活動の意味・目的を理解した上で、幼児の発達や学びの過程についての知識を深めるとともに、幼児の心身の発達および成長を促す音楽的活動を創造する力とその指導法を習得する。

1. 事前課題による実技試験、ピアノの基礎的奏法の確認②
2. 幼児から伸び伸びとした身体表現を引き出すピアノ奏法③（創作表現）
3. 保育・幼児教育における音楽の位置付けと音楽的活動のあり方
4. 幼児の音程感覚およびリズム感覚を養う遊びと幼児の身体表現のための律動曲
5. 筆記試験、幼児のための音楽的活動とその援助に必要な保育者の音楽的能力

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育の表現技術（ピアノ）』

その他：適宜、資料を配布

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）『保育所保育指針』（厚生労働省）

参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

pp.58～59参照

配本テキストP.105に弾き歌い教材の取り組み方を記載しているので確認すること。

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

事前課題80%、単位認定試験20%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：音楽教室の講師として勤務経験有

科目名	こどもと音楽表現Ⅱ(声楽)/ 保育の表現技術(声楽)/音楽表現(声楽)	担当教員	白石 愛子
科目コード	30028/20097/24097	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

領域「表現」における「音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。」のもと、本授業では自然な発声と正しい音程で、楽しみながら歌唱表現する能力を身につけることを目標とする。また保育の場で歌われる子どもの歌を習得し、それを子どもの音楽的表現の発達に合わせて指導する力を培う。

《授業計画》

1. 保育における領域「表現」と領域「環境」の内容と子どもの発達
2. 発声の基本と読譜について
3. 歌における様々な音楽表現 (1) わらべうた、生活の歌、季節の歌、愛唱歌
4. 歌における様々な音楽表現 (2) 歌とリズム楽器
5. 歌における様々な音楽表現 (3) 弾き歌い
6. 歌における様々な音楽表現 (4) 視覚的教材による歌唱活動の導入
7. 歌による表現と指導のあり方 (1) 音楽遊びにおける指導案の作成
8. 歌による表現と指導のあり方 (2) 模擬保育の実践とまとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』（神原雅之／鈴木恵津子著、教育芸術社出版、2019年）

参考図書：「幼稚園教育要領」（文部科学省）、「保育所保育指針」（厚生労働省）、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

購入本：『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』の pp.6～29を読んでくること。

《学生持参品》

筆記用具、飲み物

※購入本を必ず持参すること

《学生に対する評価》

受講態度20％、授業内課題30％、歌唱実技試験50％

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師（音楽）。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア（ウィーン）にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動をおこなった。

科目名	こどもと体育Ⅰ/ 保育の表現技術(身体)/身体表現	担当教員	今野 賛
科目コード	30031/20101/24101	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講義では、こどもを対象とした表現・運動遊びを計画・実践するために必要な実践的力量形成を目的とする。そのため、講義の前半ではこどもの運動特性を理解したうえで、様々な表現・運動遊びを実際に行い、それらの指導上の留意点などについて説明する。また、講義後半では実践力を高めるために、グループごとに簡単な表現・運動遊びを計画・実践し、お互いに評価しあうことも行う。

《授業計画》

1. こどもの運動特性について
2. 表現・運動遊びの提案①
3. 表現・運動遊びの提案②
4. 表現・運動遊びの提案③
5. 発表に向けた準備
6. 表現・運動遊びの発表①
7. 表現・運動遊びの発表②
8. まとめ

《テキスト・購入本》

特になし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動できる服装、屋内シューズ

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	こどもと体育Ⅱ	担当教員	今野 賛
科目コード	30032	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講義では、こどもを対象とした運動指導の計画・実践・評価などの実践的力量的形成を目的とする。そのため、こどもにとっての運動の意味や、こどもの発育・発達における運動の可能性、現代のこどもを取り巻く状況について説明する。また、こどもの運動指導に関わる歴史や海外での取り組みなども取り上げたい。これらの理論的な側面をふまえ、グループごとにこどもを対象とした運動指導を計画・実践することで実践力を高め、評価しあうことも行う。

《授業計画》

1. こどもにとっての運動の意味
2. 運動有能感を高める運動指導
3. 運動指導の留意点
4. こどもを対象とした運動の提案
5. こどもを対象とした運動の計画
6. 運動指導の実践（用具を使わない運動）
7. 運動指導の実践（用具を使った運動）
8. 運動指導の実践（遊具を使った運動）

《テキスト・購入本》

購入本：高橋健夫ほか編著『新版 体育科教育学入門』（大修館書店）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動できる服装、屋内シューズ

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	書 写	担当教員	小路 英樹
科目コード	30088	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対 面		

《授業の到達目標及びテーマ》

正しく整えて、読みやすく書くという言語としての機能性の上になつている「書写」という教科を指導するにあたり、こども一人ひとりの特性を生かした適切な指導が出来る力を養い、また教員としての資質向上を目標とする。講義の前半では臨書を中心とした、基本的な用筆、運筆による点画や線質の表し方を習得し、講義後半では、小筆を使用して「かな」等に取り組み、字形構成の把握や、字源などにもふれ、文字教育を発展させる「書写」の使命を理解する。

《授業計画》

字形の認知、また筆使いの習得の為、用筆、形態美、線の鋭さ、点画の厳しさなど、極楷とも言われる楷書の代表的な「九成宮醴泉銘」の臨書を中心に行う。毛筆→書道→芸術という発想になりがちではあるが、毛筆→硬筆→日常文書という発展を考え、正しく、整えて速く書く能力を習得し、文字活動を円滑に営むことのできる基礎力を充実させる。また、適切に表現する能力を育てるとともに、板書や報告書等、小学校教員として必要となる「文字を美しく書く」という実践力を養い、応用性を身につけさせる。

1. 書写教育並びに、臨書および古典「九成宮醴泉銘」の説明
2. 「九成宮醴泉銘」の臨書
3. 書写の基礎知識ならびに授業の基本展開
4. 「添削」の仕方
5. 文字、「漢字」「かな」の成り立ち説明
6. 「かな、漢字仮名交じり文」の練習
7. 「採点、評価」の仕方
8. まとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『国語科書写の理論と実践』 全国大学書写書道教育学会編 萱原書房
 その他：配布プリント
 参考図書・参考資料：「高等学校書道教科書」

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

書道用具一式（中筆、小筆、硯、半紙100枚、墨汁、文鎮、下敷き）

《学生に対する評価》

受講態度（20%）及び提出物（80%）の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：高等学校教諭（書道）として勤務経験有

科目名	図画工作	担当教員	井上 龍彦
科目コード	34089	履修方法	印刷教材・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

図画工作は、初等教育の科目であるが、内容的には中学・高等学校の美術・技術に相当するものである。人は美を追求するという本能を持っており、人類の誕生から現在に至るまでの長い道のりの中で、いろいろなものを原始的な表現から最新のテクノロジーにより生まれるものへと進化しながら創り出してきている。この流れはある意味、子どもが生まれてから大人になるまでに行う絵画・造形表現の成長過程に似たところがある。この科目では、幼児造形・初等教育に携わる人として絵画・造形表現の基礎技法、知識を学び、実技も行いながら身につけてもらう。

《授業計画》

1. 授業内容説明、美術・造形分野について
2. 色彩、色について説明、課題説明
3. 色彩課題 制作
4. 構成の原理について説明、課題説明
5. 構成課題 制作
6. モダンテクニックについて説明、課題説明
7. 演習課題制作、作品制作
8. 美術・造形表現の変遷（鑑賞）、まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『図画工作Ⅰ』
 その他：プリント配布

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

作業ができる服装、スティックのり、折り紙（色紙）セット（色数が多い方が好ましい）、濃いめの鉛筆（2Bや4B）、はさみ、カッターナイフ等、パス（クレパス）、クレヨンセットを持っている人は持参下さい。ポスターカラーセットを持っている人は持参下さい。

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、実技課題（80%）、筆記物等（10%）を勘案し、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	音楽	担当教員	山本 千紗 白石 愛子
科目コード	34008	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	初日：対面 2日目：遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

音楽科教育に必要な知識・技能を学び、演習を通して、児童の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につける。

前半は、リズムアンサンブルの実践やピアノの基礎的奏法の習得を行う。児童の音楽活動のためのピアノ奏法を学び、ピアノの基礎的な演奏技術を身につける。

後半は、小学校学習指導要領音楽の内容における「呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能」のもと、声楽における姿勢・呼吸・発声についての基本的な技能・知識を学び、演習することで歌唱技術を高め、歌唱指導の充実へと繋げていく。

《授業計画》

1. ICTを活用した読譜力の強化（拍と音程の認識）
2. ピアノの基礎的奏法の習得①（姿勢・運指）
3. ピアノの基礎的奏法の習得②（旋律奏）
4. ピアノの基礎的奏法の習得③（弾き歌いに向けて）
5. 歌唱基礎①（姿勢・呼吸）
6. 歌唱基礎②（発声）
7. 歌唱実践①（小学校歌唱共通教材）
8. 歌唱実践②（重唱・合唱）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『音楽科指導法』

参考図書：幼稚園教育要領（文部科学省）

小学校学習指導要領（文部科学省）

《事前課題》

特に無し

《学生持参品》

筆記用具、五線紙、飲み物

《学生に対する評価》

受講態度30%、授業内課題40%、歌唱実技試験30%

《連絡事項》

「音楽（34008）」は印刷・面接科目です。担当は以下の通りです。

印刷（レポート）：江頭 義之

面接（スクーリング）：（授業計画1～4）山本 千紗、（授業計画5～8）白石 愛子

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【山本】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：音楽教室の講師として勤務経験有

【白石】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師（音楽）。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア（ウィーン）にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動を行った。

領域科目

科目名	ページ
こどもと表現Ⅰ	121
こどもと表現Ⅱ	122
こどもと表現Ⅲ	123

科目名	こどもと表現Ⅰ	担当教員	藤重 育子
科目コード	30111	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「表現」のねらい及び内容について、他領域と関連づけながら理解を深める。
- ・生活や遊びの中での幼児の気づきや、豊かな感性や表現の育ちを支えるような表現活動を展開することができる。
- ・様々な表現の基礎的知識・技能を理解し、幼児の表現活動を豊かにすることができる。
- ・聴く・見る・感じる・考えることを通して保育者自身がイメージを豊かに表現することができる。

《授業計画》

- 第1回：領域「表現」のねらい及び内容の理解
- 第2回：子どもの発達と表現
- 第3回：環境に合わせた子どもの表現
- 第4回：音遊び・歌遊び・わらべうた・言葉遊びの実践と総合的な表現の準備
- 第5回：総合表現（劇表現・グループワーク）の実践①
- 第6回：総合表現（劇表現・グループワーク）の実践②
- 第7回：総合表現（劇表現・グループワーク）の実践③
- 第8回：表現をめぐる諸問題

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領・解説書 文部科学省 フレーベル館

配本テキスト：保育所保育指針解説書 厚生労働省 フレーベル館

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

購入本：『アクティベート保育学11 保育内容「表現」』（ミネルヴァ書房）ISBN978-4-623-08860-7

《事前課題》

手遊びやわらべうた遊びから4つをとりあげ、それぞれのねらいや発達段階に合わせたポイントをまとめてくる（様式は自由）。

《学生持参品》

動きやすい服装。はさみ、のりを含む筆記用具、大学ノート（B5版罫線付き）1冊、事前課題のレポート。過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートも持参。

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	こどもと表現Ⅱ	担当教員	井上 龍彦
科目コード	30112	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

こどもと表現Ⅱの求める内容について幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を中心に理解し、幼児にとって大事な五感から得られるものを活かした製作活動を行いながら体得していく。

幼児が興味を持ちながら、楽しく個々の個性を發揮できるようにイメージしながら、助言方法を身につけるため、いろいろな素材、技法を体験する。技術的なことや発想（アイデア）など発達段階も理解しながら学んでもらう。表現（造形）という領域にとどまらず、他の領域との関連も含め、大きな視野をもって取り組んでほしい。

《授業計画》

- 1：授業内容の説明、人と造形表現について
- 2：造形教育の変遷、発達段階と表現活動について
- 3：五感と造形表現（実技課題）
- 4：モダンテクニック技法の応用1（実技課題）
- 5：モダンテクニック技法の応用2（実技課題）
- 6：描画材料について（実技課題）
- 7：身近な素材でのおもちゃづくり（実技課題）
- 8：季節・行事と関連した表現（実技課題）

《テキスト・購入本》

参考図書：『幼児造形の基礎』（樋口一成著 萌文書林）

「図画工作Ⅰ」（井上龍彦著 姫路大学）

幼稚園教育要領解説 文部科学省（フレーベル館）

保育所保育指針解説 厚生労働省（フレーベル館）

※レポート科目「図画工作」を受講している人は「図画工作Ⅰ」の教科書を持参ください。

《事前課題》

ご自身が保育所・幼稚園等で作ったものについて、どのような思い出があるかをふりかえり、幼児期のモノづくり、表現についてイメージを持っておいてください。また、季節や行事と園での活動との関連なども調べておいてください。

《学生持参品》

柔らかい鉛筆（2～4B等）、色鉛筆セット（8色程度）、カラーペンセット（8色程度）、のり、はさみ、カッターナイフ等、折り紙セットなど

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、実技課題、筆記物など（80%）、課題、作品説明等（10%）の総合評価。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学の短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	こどもと表現Ⅲ	担当教員	山本 千紗 白石 愛子
科目コード	30113	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

領域「表現」において求められる豊かな感性や表現する力、創造性について理解し、こどもの表現活動を支えていく支援について考える。様々な表現活動の実践から知識・技能を養い、協働して取り組む活動を通してより豊かな表現力を身につける。

《到達目標》

- (1) こどもの発達段階を理解し、様々な表現を感じる、聴く、楽しむことを通して、豊かにイメージすることができる。
- (2) 領域「表現」に関する様々な表現活動を通して知識・技能を培い、豊かな表現力へと繋げていくことができる。
- (3) 協働して表現することを通し、他者の表現を受容し、多様な表現のあり方について共感し、創造性へと繋げていくことができる。

《授業計画》

1. オリエンテーション / 領域「表現」のねらい及び内容 / こどものリズム感覚を養う遊び
領域「表現」のねらい及び内容について理解する。こどものリズム感覚を養う遊びを体験することを通して、遊びの展開例を考える。
2. 音に合わせた自由表現におけるピアノ演奏の工夫 / 鍵盤ハーモニカの奏法
こどもが音からイメージし自由表現できるように支援するためのピアノ演奏を工夫し、実践する。
鍵盤ハーモニカの奏法を確認し、ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎを理解する。
3. こどもの身体表現のための律動曲
律動にふさわしい音楽の特徴を理解し、演奏する拍子、速さ、強弱、音色、音域などを研究し、実践する。
4. 豊かな表現を目指した弾き歌い
どのように表現したいかを考え、イメージを持って演奏する方法を学ぶ。
5. 発達段階を考慮した歌の選曲について
音域・リズム・歴史的背景等の視点から理解を深めていく。
6. 豊かな表現のために
絵本を題材とした音楽表現について協働して考えていく。
7. 協働して表現する
絵本を題材とした音楽表現について発表する。
8. ICTの活用と総括
発表を録画で振り返ることにより、表現の可能性やこどもの表現活動に対する支援について深めていく。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育の表現技術（ピアノ）』

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）

『保育所保育指針解説』（厚生労働省）

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具、飲み物

《学生に対する評価》

受講態度20% 授業内課題30% 授業内レポート10% 実践発表40%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【山本】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：音楽教室の講師として勤務経験有

【白石】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師（音楽）。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア（ウィーン）にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動を行った。

養護・保育等科目

科目名	ページ
看護学演習Ⅰ／看護学Ⅰ	125
看護学演習Ⅱ／看護学Ⅱ	126
乳幼児保育／乳児保育Ⅱ	127
遊戯療法Ⅰ	128
遊戯療法Ⅱ	129
こどもの保健Ⅲ	130
こどもの食と栄養	131
相談援助	132
社会的養護内容／社会的養護Ⅱ	133
養護概説	134
看護演習（1単位）	135
看護演習（2単位）	136
こどもの理解と援助	137
保育総合演習	138
こどもの健康と安全	139
子育て支援	140

科目名	看護学演習Ⅰ／看護学Ⅰ	担当教員	藤田 美知枝
科目コード	50013／50022	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

看護学演習Ⅰ/看護学Ⅰは、学校看護概論として位置づけ、看護の概念および養護教諭として必要な学校看護の基礎を学ぶことを目的とする。

授業は、講義を中心とし、健康観、看護の対象理解、学校看護における連携、養護実践と倫理、法的側面などについて学習する。

看護・看護学についての学びを通して、養護教諭としての専門性を高める。

《授業計画》

1. 看護・養護の概念
2. 養護教諭、看護師・保健師の歴史の変遷
3. 健康観の変遷
4. 各ライフステージにおける看護
5. 看護の対象理解
6. 学校看護における連携（関係機関等）
7. 学校看護における倫理・法的側面（学校教育法・学校安全法等）
8. 授業総括

《テキスト・購入本》

【令和3年度以前入学生】

配本テキスト：『ナーシンググラフィカ 基礎看護③ 基礎看護技術』

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

編著：遠藤伸子 池添志乃 籠谷恵 ISBN：978-4-8278-1588-7

※購入済の場合、前の版でも可。

【令和4年度以降入学生】

配本テキスト：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

《学生服装・持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師としての勤務経験有

科目名	看護学演習Ⅱ／看護学Ⅱ	担当教員	大川 実枝子
科目コード	50014／50023	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

教育の場における看護的実践力を養うことを目的として授業を展開する。養護教諭の活動過程および養護診断を支えるフィジカルアセスメントの知識・技術、こどもに多い急性期症状の対応と援助、慢性疾患のあるこどもと家族の理解と支援について学ぶ。

《授業計画》

1. 学校看護概論
2. 養護教諭の活動過程：ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント
3. 学校看護技術
4. 急性期にあるこどもと家族の理解と援助
5. 慢性疾患のあるこどもと家族の理解と支援
6. 特別な支援を要するこどもと家族の理解と援助
7. 学校における医療的ケア児の支援
8. 総括

《テキスト・購入本》

【令和3年度以前入学生】

配本テキスト：『ナーシンググラフィカ 基礎看護③ 基礎看護技術』

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

編著：遠藤伸子 池添志乃 籠谷恵 ISBN：978-4-8278-1588-7

※購入済の場合、前の版でも可。

【令和4年度以降入学生】

配本テキスト：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭・看護教諭としての勤務経験を持ち、大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事。

科目名	乳幼児保育／乳児保育Ⅱ	担当教員	國光 みどり
科目コード	40001／40058	履修方法	印刷・面接／面接
単位数	2単位／1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりについて、実践的に理解する。
2. 養護及び教育の一体性を踏まえた3歳未満児の遊びや生活の環境構成等具体的な保育の保育方法について、実践的に理解する。
3. 乳児保育における援助・配慮の実際について具体的に理解する。
4. 乳児の健康・安全危機管理を踏まえた保育の実際を理解する。
5. 乳児保育の様々な計画を基礎とした指導案作成の方法を実践的に理解する。

《授業計画》

授業計画 スクーリングによる面接授業

1. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち
2. 個々の子どもに応じた援助、受動的・応答的な関わり
3. 0歳児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
4. 1～3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際（手作りおもちゃの立案、製作①）
5. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際（手作りおもちゃ製作②、発表・評価）
6. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
7. 子育て支援の連携法
8. 子育て支援事例研究

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『乳児保育Ⅰ』

※「乳幼児保育」「乳児保育Ⅰ」配本テキスト。「乳児保育Ⅱ」のみ履修している学生は本学にて購入手続きを行ってください。

配本テキスト：厚生労働省：『保育所保育指針解説』（最新版）（フレーベル館）

※幼稚園・保育士コースの履修者以外は購入本となります。

※その他講義内において適宜資料配布を行います。

《事前課題》

1. 配本テキスト第3章を熟読し、3歳未満児の発育・発達及び乳児の遊びと環境のあり方を理解してください。
2. 「1.」をふまえ、自分がスクーリング時に「手作りおもちゃ」を制作するための資料収集をしてください。図書館等で著書や保育雑誌を借りることができます。また、インターネットによる検索で様々な情報を得ることもできます。インターネットによる情報についてはそのまま使用するのではなく、自分自身が対象とした子どもの発達を考慮し、インターネットの情報に必ずアレンジを加えてください。
3. 「手作りおもちゃ」の条件
 - 1) 必ず布を用いること。
 - 2) 色合いは子どもが認識しやすい原色（赤・黄・水・緑等）を使用する。※色落ちしない素材を選ぶ。
 - 3) 清潔を保つことのできるおもちゃ。（汚れたら洗濯することができる等）
 - 4) ボタン・飾り等がはずれたり取れたりして子どもが誤飲する事が無いよう安全面の工夫をする。

《学生持参品》

事前課題で収集した資料を基にし、授業内（2時間程度）に制作できるよう必要な資料、材料及び用具を忘れないよう持参してください。

《学生に対する評価》

スクーリングにおける受講態度や提出物、単位認定試験結果等を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：幼稚園に14年、幼保連携型認定こども園に2年の実務経験有。
その間クラス持ち主任（2年）、専任副園長（4年）、園長（2年）に従事。

科目名	遊戯療法Ⅰ	担当教員	小河 晶子
科目コード	40003	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

発達障害の子どもへの療育場面で用いられている療法について理解を深めます。

以下の療法について対象者、特徴、手法などを挙げるができるようになることを目標とします。

1. インリアル法
2. 応用行動分析（ABA）
3. TEACCH プログラム
4. 音楽療法
5. 感覚統合療法

《授業計画》

1. インリアル法について
2. 応用行動分析（ABA）について
3. TEACCH プログラムについて
4. 音楽療法について
5. 感覚統合療法について 1) 感覚統合とは
6. 感覚統合療法について 2) 触覚、前庭覚、固有覚の働きについて
7. 感覚統合療法について 3) 触覚過敏、重力不安、低反応、低緊張の子どもの特徴
8. 感覚統合療法について 4) 不器用な子どもと感覚統合 まとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『感覚統合 Q&A 改訂版 2 版』 [監修] 土田玲子 [編集] 石井孝弘+岡本武乙（協同医書出版社）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験の結果を総合して評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務に従事

科目名	遊戯療法Ⅱ	担当教員	小河 晶子
科目コード	40004	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

こどもの気になる行動について、その背景となる感覚統合上の問題別に活動を考えることができることを目標とします。

《授業計画》

- 第1回：感覚統合とは、感覚統合と触覚について
- 第2回：感覚統合と前庭覚、固有覚について
- 第3回：気になる子どもの行動と感覚統合①：触覚過敏、重力不安
- 第4回：気になる子どもの行動と感覚統合②：低反応、低緊張
- 第5回：気になる子どもの行動と感覚統合③：ラテラルティと両側統合、ボディイメージ、運動企画
- 第6回：事例分析①：スクリプトからの分析
- 第7回：事例分析②：ビデオからの分析
- 第8回：遊具について、サーキット遊びを考える

《テキスト・購入本》

購入本：『感覚統合 Q&A 改訂版 2 版』 [監修] 土田玲子 [編集] 石井孝弘+岡本武乙（協同医書出版社）¥3,240

《事前課題》

特になし

《学生に対する評価》

各自の発表および単位認定試験の結果を総合して評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務に従事

※「遊戯療法Ⅰ」を受講していることが望ましい。

こどもの保健Ⅰ、Ⅱを履修してからの受講が望ましい。

科目名	こどもの保健Ⅲ	担当教員	藤田 美知枝
科目コード	40032	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

こどもの保健Ⅰ、こどもの保健Ⅱで学修した内容を踏まえた上で、こどもの保健Ⅲは、保育実践や養護実践に関する理論と実習を組み合わせる講義を行う。特に、保育者・教育者として、子どもに関わる際に求められることは、子どもの命を守ることや人権の保障、教育の保障である。このような視点から、この科目では、(1)発達段階に応じた健康状態の観察と評価 (2)疾病予防・疾病管理 (3)健康教育(保健指導)等 (4)健康で安全な環境づくりと事故防止・救急処置をテーマとし、保育・教育現場での専門職としての資質力量を身につけることを目標とする。

《授業計画》

- 1回：保育における保健計画と保健活動の範囲
- 2回：子どもの発育・発達の観察と評価
- 3回：日常の保育における健康観察と体調不良などへの対応
- 4回：感染症の予防と対策
- 5回：現場における安全教育と安全管理
- 6回：保育中の事故・けがに対する応急手当
- 7回：心肺蘇生法、AEDの取り扱い、気道異物の除去法の実際
- 8回：まとめ

《テキスト・購入本》

授業中に適宜、資料を配付する。〈こどもの保健Ⅰ、こどもの保健Ⅱ〉 テキスト

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

動きやすい服装

《学生に対する評価》

単位認定試験・受講態度により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師としての勤務経験有

科目名	こどもの食と栄養	担当教員	日下部 恵子
科目コード	40033	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

授業概要： 子どもの栄養、食生活は生涯にわたる健康と生活の基礎を築くことを理解する。健康な生活の基本として食生活の意義や基本的な栄養の正しい知識を習得する。食育の基本と内容について学び、保育・教育の場で食育が実践できるようにする。また、子どもを取り巻く近年の食生活上の問題や発育・発達、健康状態への影響などを幅広く学ぶことにより、保育の実際に即応できる応用力を養う。

- 到達目標
- ①栄養・食品について、正しく説明ができる。
 - ②子どもの発育段階に応じた食生活を理解し、食生活の支援ができる。
 - ③食育の重要性を理解し、日常の保育の中で実践できる。
 - ④子どもの食育の担い手として、自らも望ましい食生活が実践できる。
 - ⑤特別な配慮を要する子どもの食と栄養について正しく理解し、適切な対応ができる。

《授業計画》

1. 子どもの健康と食生活の意義、食育の重要性
2. 栄養に関する基本的知識、食事摂取基準、献立作成・調理の基本
3. 妊娠・授乳期の栄養と食生活：授乳期の栄養・食生活、母乳分泌
4. 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活：乳汁栄養、離乳の進め方
5. 幼児期の心身の発達と食生活：食機能の発達、食生活の特徴、間食、食行動上の問題と対応、保育所給食
6. 学童期・思春期の心身の発達と食生活：心身の特徴と食生活、食生活上の問題への対応、学校給食と栄養教育（食育）
7. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養：疾病および体調不良の子どもへの対応、食物アレルギーのある子どもへの対応
8. 食育の基本と内容、食育の実践（演習：食育媒体の作成）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『こどもの食と栄養』

参考図書：堤ちはる、土井正子編著『子育て、子育てを支援する こどもの食と栄養』萌文書林 2021
飯塚美和子他編『最新子どもの食と栄養』学建書院 2022
岩田章子、寺嶋昌代編『新時代の保育双書 新・子どもの食と栄養』みらい 2022
小川雄二編著『子どもの食と栄養演習 第6版』建帛社 2022

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

マーカーペンおよび色鉛筆（カラー8色程度）

《学生に対する評価》

確認テスト（小テスト）、課題レポート、食育だよりの作成・発表および単位認定試験により評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：大学病院の中央臨床検査部で勤務経験有

科目名	相談援助	担当教員	室谷 雅美
科目コード	40027	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。

子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など、支援の実際を学ぶ。

子育て支援の必要性、また重要視される背景について理解し、保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、子育て支援の実施について、事例を通して具体的に理解する。

《授業計画》

1. 保育士として子育て支援にかかわるために
2. 保育の専門性と子育て支援
3. 保育所を利用している保護者に対する子育て支援
4. 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働
5. 保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）
6. 地域の子育て家庭に対する支援
7. 子どもの虐待の予防と対応
8. 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解

《テキスト・購入本》

購入本：才村 純・芝野松太郎・新川泰弘（編著）『子ども家庭支援・子育て支援入門』

ミネルヴァ書房 ISBN：978-4-623-09222-2

配本テキスト：厚生労働省（編）『保育所保育指針解説』フレーベル館 ISBN：978-4-577-81448-2

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

厚生労働省（編）『保育所保育指針解説』フレーベル館 第4章「子育て支援」を必ず読んでおくこと。

《学生持参品》

『保育所保育指針解説』 テキスト、購入本

《学生に対する評価》

受講態度及び授業課題、単位認定試験の結果を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	社会的養護内容／ 社会的養護Ⅱ	担当教員	大西 清文
科目コード	40039／40060	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解できる。
2. 施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。
3. 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解できる。
4. 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解できる。
5. 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解できる。

《授業計画》

- 1 <社会的養護における子どもの理解> 子どもの権利条約／子どもの権利擁護
- 2 <施設養護の特性と生活の実際> 子どもの状態に応じた施設の特性や生活等の実際について
- 3 <社会的養護の内容> 日常生活支援／治療的支援／自立支援
- 4 <家庭養護の生活特性及び実際> 里親制度／ファミリーホーム／家庭的養護の高機能化の推進
- 5 <アセスメントと個別支援計画の作成> 自立と自立支援計画
- 6 <社会的養護に関わる専門的技術> 社会的養護における保育の専門性
- 7 <社会的養護における家庭支援> 家庭支援をすることはどういうことか
- 8 <社会的養護の課題と展望> 社会的養護の課題と将来像

《テキスト・購入本》

購入本：『社会的養護と障害児保育』 改訂1版 （全国社会福祉協議会）2023

《事前課題》

社会的養護Ⅰの復習をしてください。子どもの権利に関する最近の報道等を調べておきましょう。

《学生持参品》

購入本

《学生に対する評価》

学習態度、単位認定試験の結果を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：児童相談所ほか地方自治体の福祉部門において、ソーシャルワーカーなどとして、通算18年間勤務

科目名	養護概説	担当教員	平松 恵子
科目コード	50018	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

①学校教育の役割を理解し、養護教諭の位置づけを説明することができる、②「養護」の概念、養護教諭の職務及び専門性について述べることができる、③対象となる子どもについて多面的に理解し、課題解決に向けた支援方法を述べることができる、④養護教諭としての基本的・応用的知識・技術、職務遂行に必要な資質・能力について理解し、専門職としての養護教諭観を示すことができる。

《授業計画》

1. 養護の本質と概念、教育に果たす養護教諭の役割
2. 子どもの健康課題と養護教諭の歴史の変遷
3. 養護教諭の専門的機能
4. 保健室の機能
5. 保健管理
6. 保健教育
7. 健康相談
8. 保健室経営と組織活動

《テキスト・購入本》

配本テキスト：編集代表 采女智津江『新養護概説』少年写真新聞社

購入本：柳園順子編著『よくわかる！教職エクササイズ⑧ 学校保健』ミネルヴァ書房 2019年

参考図書：編集代表 三木とみ子『新訂 養護概説』ぎょうせい 2018年

《事前課題》

学生送付品欄参照

《学生送付品》

「養護概説スクーリング受講にあたって」自分の考えをまとめたレポートを作成し送付する。(字数は任意)

《学生に対する評価》

受講状況

レポート提出（本学所定のレポート用紙を使用すること）

授業内テスト等の総合所見により評価を行う。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校、中学校、高等学校の養護教諭としての勤務経験有。大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

※本スクーリングは、養護実習事前・事後指導(事前)スクーリング受講前に受けることが望ましい。

令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・令和4年度科目等履修生対象

科目名	看護演習（1単位）	担当教員	大川 実枝子
科目コード	54024	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

養護実践で必要とされる基本的な看護技術に関する知識・技術の修得を目的として授業を展開する。養護教諭の職務として求められる看護の在り方や役割について理解を深め、実践力に繋げる。

《授業計画》

- 1：学校看護と基礎看護技術（養護教諭に必要な看護技術）
- 2：日常生活を支える技術
- 3：学校・保健室の環境調整技術
- 4：感染予防を推進する技術
- 5：フィジカルアセスメントの技術
- 6：学校救急処置で必要な知識と技術（1）一次救命処置
- 7：学校救急処置で必要な知識と技術（2）止血法、包帯・固定法等
- 8：総括

《テキスト・購入本》

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護』遠藤伸子ほか2名、東山書房
 ※令和4年度以降入学生「看護学Ⅰ」「看護学Ⅱ」履修者は配本テキストです。

《学生持参品》

- ・実技演習に適した服装
- ・包帯（幅5cm程度）
- ・三角巾（応急手当用）

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭・看護教諭としての勤務経験を持ち、大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象

科目名	看護演習（2単位）	担当教員	大川 実枝子
科目コード	50024	履修方法	面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・ 購入本 ・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

養護実践で必要とされる基本的な看護技術に関する知識・技術の修得を目的として授業を展開する。養護教諭の職務として求められる看護の在り方や役割について理解を深め、実践力に繋げる。

《授業計画》

1. 学校看護と基礎看護技術（養護教諭に必要な看護技術）
2. 援助関係を形成する技術
3. 日常生活を支える技術
4. 安全・安楽に関する技術
5. 学校・保健室の環境調整技術
6. 感染予防を推進する技術（1）学校における感染予防・対策
7. 感染予防を推進する技術（2）スタンダードプリコーション、滅菌物の取り扱い等
8. 活動・運動を支援する技術
9. 生命活動を支える援助技術
10. フィジカルアセスメントの技術
11. 学校救急処置に必要な知識と技術（1）一次救命処置
12. 学校救急処置に必要な知識と技術（2）止血法、包帯・固定法
13. 学校救急処置に必要な知識と技術（3）学校における救急処置の実際
14. 医療的ケア児を支援する技術
15. 総括

《テキスト・購入本》

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護』遠藤伸子ほか2名、東山書房
 ※令和4年度以降入学生「看護学Ⅰ」「看護学Ⅱ」履修者は配本テキストです。

《学生持参品》

- ・実技演習に適した服装
- ・包帯（幅5cm程度）
- ・三角巾（応急手当用）

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭・看護教諭としての勤務経験を持ち、大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

科目名	こどもの理解と援助	担当教員	小河 晶子 藤重 育子
科目コード	40053	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について述べることができる。
2. こどもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方が説明できる。
3. 子どもを理解するための具体的な方法が挙げられる。
4. こどもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について述べるができる。

《授業計画》

- (1) こども理解の意義
- (2) こどもの遊びと生活を捉える
- (3) 「理解」から「援助」につなぐ記録の視点、省察、評価
- (4) 地域・家庭との連携を理解する
- (5) 就学前施設での子どもの理解の深化と進化
- (6) こども理解に基づく発達援助：発達の課題に応じた援助と関わり
- (7) こども理解に基づく発達援助：特別な配慮を要するこどもの理解と援助
- (8) こども理解に基づく発達援助：発達の連続性と就学への支援

《テキスト・購入本》

本学にて購入：姫路大学教育学部通信教育課程テキスト「特別支援論Ⅰ」、「特別支援論Ⅱ」、「発達心理学」（小河の授業で使用）

※「特別支援論Ⅰ」「特別支援論Ⅱ」「発達心理学」「特別支援論」履修者は配本テキストです。

購入本：『コンパス 子ども理解-エピソードから考える理論と援助-』（建帛社）

ISBN 978-4-7679-5132-4（藤重の授業で使用）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

B5版ノート（大学ノート）1冊（藤重の授業で使用）、購入本、のり・はさみ等の文具（藤重の授業で使用）。

《学生に対する評価》

受講態度及び試験等により、総合的に評価します。

試験は各担当教員の最終時に実施します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【小河】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務に従事

【藤重】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	保育総合演習	担当教員	藤重 育子
科目コード	40056	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育の基本を理解するとともに、保育を総合的に捉える視点を学ぶ。また、保育に関する今日的な課題について事例を通して学び、保育現場での対応を考える。さらに、子どもの遊びを豊かにするための保育技術の習得を目指す。

《授業計画》

1. 保育の基礎を学ぶ① — 保育の仕事と役割
2. 保育の基礎を学ぶ② — 養護の重要性と環境を通しての保育
3. 保育の基礎を学ぶ③ — 保育の計画と実践、評価
4. 保育の現代的課題 — 保育現場の現代的な課題について事例を通して学ぶ
5. 保育の知識と技術① — 様々な遊びを知る
6. 保育の知識と技術② — 様々な遊びに関する環境構成と援助を考える
7. 保育の知識と技術③ — 保育実践に必要な技術の習得に励む
8. まとめと試験

※受講人数により、変更する場合があります。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 2018年
※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

2歳頃の子どもと5歳頃の子どもがそれぞれ作って遊べるおもちゃを1つずつ製作する。
それぞれのねらいと特徴をレポートする（様式は自由）。

《学生持参品》

動きやすい服装、事前課題で製作したおもちゃ2つ、レポート

《学生に対する評価》

参加態度40%、実技演習30%、レポート課題30%の総合評価

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

こどもの保健を履修してからの受講が望ましい。

科目名	こどもの健康と安全	担当教員	藤田 美知枝
科目コード	40059	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

子どもの命を守り、健やかな育ちを支援する保育実践に必要な保健に関する知識・技術を修得することを目的として、保健的観点に基づく保育の環境整備、保育における保健的対応、健康・安全管理の実施体制等について具体的に理解する。

〈到達目標〉

1. 保健的観点をふまえた保育環境整備や援助について述べるができる。
2. 健康・安全管理の実施について述べるができる。
3. 体調不良や傷害が発生した場合の対応について述べるができる。
4. 感染症の予防と対策について述べるができる。
5. 保育における保健的対応について述べるができる。
6. 健康および安全管理の実施体制について述べるができる。

《授業計画》

- 1回：保健的観点を踏まえた保育環境及び援助
- 2回：保育における健康及び安全管理
- 3回：子どもの体調不良等に対する適切な対応
- 4回：救急処置および救急蘇生法
- 5回：感染症対策
- 6回：保育における保健的対応
- 7回：健康および安全管理の実施体制
- 8回：授業のまとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『子どもの健康と安全』

編集：遠藤郁夫/三宅健太

執筆：伊藤昭治/稲坂恵/遠藤郁夫/太田由紀枝/甲斐純夫/勝保すみれ/三宅健太
学建書院 ISBN 978-4-7624-0890-8C3047

《事前課題》

- ・乳幼児の成長・発達について理解しておくこと。

《学生持参品》

- ・購入本
- ・動きやすい服装

《学生に対する評価》

- ・単位認定試験・受講態度により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師としての勤務経験有

科目名	子育て支援	担当教員	藤重 育子
科目コード	40061	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。

子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など、支援の実際を学ぶ。

子育て支援の必要性、また重要視される背景について理解し、保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、子育て支援の実施について、事例を通して具体的に理解する。

《授業計画》

1. 保育士として子育て支援にかかわるために
2. 保育の専門性と子育て支援
3. 保育所を利用している保護者に対する子育て支援
4. 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働
5. 保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）
6. 地域の子育て家庭に対する支援
7. 子どもの虐待の予防と対応
8. 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解

《テキスト・購入本》

購入本：『保育者のための子育て支援セミナー』（建帛社） ISBN：978-4-7679-5106-5

配本テキスト：厚生労働省（編）『保育所保育指針解説』フレーベル館 ISBN：978-4-577-81448-2

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

厚生労働省（編）『保育所保育指針解説』フレーベル館 第4章「子育て支援」を必ず読んでおくこと。

《学生持参品》

『保育所保育指針解説』テキスト、購入本、B5版ノート(大学ノート)1冊、のり・はさみなどの文具

《学生に対する評価》

受講態度及び授業課題、単位認定試験の結果を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

養成課程科目

図書館司書・司書教諭・学芸員

科目名	ページ
図書館情報技術論	141
情報サービス演習	142
図書館情報資源概論	143
情報資源組織演習	144
情報メディアの活用	145
播磨の海浜生物	146
古文書学	147
博物館資料保存論	148
博物館展示論	149
博物館情報・メディア論	150

科目名	図書館情報技術論	担当教員	戸邊 俊哉
科目コード	70003	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）※希望する場合、対面での受講も可		

《授業の到達目標及びテーマ》

図書館業務に必要とされる基礎的な情報技術を習得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子書籍等について解説し理解を深めてもらう。そして新たに導入されていく情報技術を漠然と使用するだけでなく、自分でその仕組みや特徴を理解して使用できるようになっていくことを目標とする。それにより今後も進歩する技術に対応できるようになるとともに、情報社会にふさわしい司書になることを目指す。

また、図書館の情報技術とも親和性が高い日常利用している情報技術を演習問題に取り入れて関連付けることで、理解を深めていくことも目標とする。

《授業計画》

1. 「図書館情報技術論」の位置づけ、情報技術の重要性を理解する
2. 国立国会図書館のオンラインサービスを利用する
3. 検索エンジンの仕組みを理解する①
国立国会図書館のインターネット資料収集保存事業と岡崎市立中央図書館事件を参考に
4. 検索エンジンの仕組みを理解する②
情報の整理と保存の仕方について（転置索引を知る）
5. 図書館業務システムの現状を理解する
6. 図書館と電子書籍の関係を理解する① 電子書籍の仕組みを理解する
7. 図書館と電子書籍の関係を理解する② 電子書籍と著作権の問題を理解する
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『図書館情報技術論』

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《その他》

図書館情報技術論受講者は「遠隔（オンライン）」、「対面」いずれの方法での受講も可能です。希望する受講方法を「遠隔授業受講申請書⑩その他連絡、質問等」欄へ記入してください。

《学生に対する評価》

受講態度、提出物及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	情報サービス演習	担当教員	田中 伸樹
科目コード	70008	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

情報化社会の中であって、従来から図書館資料を収集保存し利用提供してきた実績がある図書館の、情報拠点としての役割はますます大きくなる。この授業では情報サービスの設計をはじめ、今までの情報サービスの中心であった（今後も情報サービスの中心を担う）レファレンス・サービスや情報検索サービスについて、質問の受付から回答にいたる過程を演習形式で行い、実践できる能力を養う。さらに、これから図書館の情報サービスとして重要性を増す、新たな情報技術を活用した情報発信型サービスについて、代表的なサービスであるパスファインダー（調べ方案内）などを作成することによって、今までの質問・回答という受け身的な情報サービスだけでなく、図書館側から情報を発信していくという、より発展した情報サービスを実践できる能力を身につける。

《授業計画》

まず、図書館全体としてどのように情報サービスやレファレンス・サービスを進めていくのか、取り巻く環境を考えて、具体的事例に基づいて検討することからはじめ、レファレンス・サービスの実践において重要なレファレンス・インタビューの理解を深める。その他、情報検索の実際を、国立国会図書館サーチや国立情報学研究所のデータベース CINI-Books、CINI-Researchなど種々のデータベースを利用して実践する。レファレンス・サービスについては、印刷資料であるレファレンス・ブックを評価したうえで、利用者からの質問を想定し、回答に使用する適切な情報源（印刷資料・電子資料）について考察し、また実践する。さらなる情報サービスについては、国立国会図書館のレファレンス協同データベースや「調べ方案内」などを参考にして「パスファインダー」を作成し、発信型情報サービスについて理解を深める。

1. 情報サービスの設計（レファレンスサービス体制づくり）情報源の種類（印刷媒体資料と電子情報源）
2. レファレンスコレクションの整備（レファレンスブックの評価と館内作成の二次資料）レファレンスサービスの技法と実際（レファレンスインタビューと事例集の作成）
3. 情報検索の技法と実際①（情報検索システムと検索方法図書・雑誌の所蔵検索）情報検索の技法と実際②（雑誌記事索引、新聞記事索引、新聞の所在）
4. 情報検索の技法と実際③（統計、法令、その他のデータベース）各種情報源の適正・迅速な選択① 事実検索－言葉、歴史情報を調べる
5. 各種情報源の適正・迅速な選択② 事実検索－地理情報・地名、人名・団体を調べる
各種情報源の適正・迅速な選択③ 事実検索－事典・年鑑・図鑑・白書・便覧・統計・法令を調べる
6. 各種情報源の適正・迅速な選択④ 文献検索－図書
各種情報源の適正・迅速な選択⑤ 文献検索－雑誌
7. 各種情報源の適正・迅速な選択⑥ 文献検索－新聞
8. 発信型情報サービスの理解 パスファインダーの作成 情報サービスの評価

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『情報サービス論及び演習』（学文社）中西 裕・松本直樹・伊藤民雄著

※平成26以前入学生は購入本となります。

その他：印刷プリント

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講に取り組む態度、提出物および単位認定試験等において総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	図書館情報資源概論	担当教員	田中 伸樹
科目コード	70009	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

21世紀に入るとともに、膨大な情報の量とそれを担うメディアの多様化に直面してきている。メディア総体を対象とする図書館では、具体的には、印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存の手法が拡大してきている。本授業では図書館業務に必要な情報資源トータルに関する知識等の基本を学ぶ。

《授業計画》

1. 印刷資料・非印刷資料の類型と特質（図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史含む）
電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質
2. 地域資料の特質、身近な図書館の例
行政資料（政府刊行物）、灰色文献の流通と収集の方法
3. 情報資源の生産（出版）
情報資源の流通と再販制度、商品と図書の違い
4. 図書館業務と情報資源に関する知識
コレクション形成の理論 価値論と要求論含む
5. 資料の選択・収集、コレクションの評価
コレクション形成の方法（選択ツールの利用、選定、評価）
6. 人文・社会科学分野の情報資源とその特性
科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性
7. 資料の受入・除籍・保存・管理
資料の装備・補修・排架・展示・点検
8. 図書館情報資源の拡大
まとめ・到達度確認

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 図書館情報資源概論 8』
その他：Webからの実例の提示も行います。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験80%、面接授業20%の基準により、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	情報資源組織演習	担当教員	田中 伸樹
科目コード	70011	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

メディアの多様化に伴い、従来からの方法では情報資源全般の組織化が到底不可能となっており、図書館の現場では新しい手法による組織化が種々考えられてきた。メタデータ及び記述範囲としての RDA 等の考え方である。

本授業では、多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。

《授業計画》

1. 書誌データ作成の実際
主題分析
2. 分類作業の基礎及びその実際
分類作業Ⅰ
3. 分類作業Ⅱ
分類作業Ⅲ
4. 統制語の適用
件名標目及びシソーラスの運用
5. 集中化・共同化による書誌データの作成
データ管理・検索システムの構築
6. メタデータについて
情報資源組織におけるメタデータ
7. Marc21、ダブリンコアと RDA
情報資源組織の今後
8. まとめ・到達度確認

《テキスト・購入本》

すべてプリント配布による。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

NDC（日本十進分類法）貸与します。

《学生に対する評価》

到達度テスト、単位認定試験により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	情報メディアの活用	担当教員	戸邊 俊哉
科目コード	70020	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）※希望する場合、対面での受講も可		

《授業の到達目標及びテーマ》

情報化社会において我々が利用できるメディアは多様であり、学校教育においてどのメディアを利用すればより効果的な学習に資するのを知る必要があります。このような状況において、学校における情報メディアのスペシャリストとして司書教諭が求められてきています。また、学校図書館の業務自体も情報化がすすめられており、学校図書館の専門的職務を担う教員である司書教諭には図書館と情報メディアの取り扱いに関する知識も求められています。本科目ではこのような情報化社会にふさわしい司書教諭になることを目標としています。

授業では従来の印刷媒体である図書の利用だけではなく、特にコンピュータやネットワーク情報資源などの利用方法・特徴について演習を踏まえつつ理解するとともに、どのようにそれを学校教育に活用していけばよいのを知ることを目標としています。

《授業計画》

1. 学校図書館の現状及び求められているもの
2. 学校図書館と情報メディア教育
3. 学校図書館と情報検索①（様々なオンラインサービスを知る）
4. 学校図書館と情報検索②（検索サイトの仕組み、効果的な検索方法を理解する）
5. 学校図書館からの情報発信
6. 学校図書館メディアと著作権
7. 学校図書館業務と情報メディアの活用
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『情報メディアの活用と展開』

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《その他》

情報メディアの活用受講者は「遠隔（オンライン）」、「対面」いずれの方法での受講も可能です。希望する受講方法を「遠隔授業受講申請書⑩その他連絡、質問等」欄へ記入してください。

《学生に対する評価》

受講態度、提出物及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	播磨の海浜生物	担当教員	佐名川 洋之
科目コード	70032	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

瀬戸内海・播磨灘の環境および生態系と生物の関係について理解を深め、近郊の海に生息する生物について、分類学的位置および生物学的特性などを学ぶ。また、海岸動物の採集と観察、種の査定や分類方法など、海洋生物の調査研究に必要な生物標本のハンドリングや基本スキルに関する演習を行う。

《授業計画》

テキスト（海岸動物図鑑）等の自習により、海岸動物の分類や生態、特徴など基本知識を学ぶ授業では次のような内容で講義と演習を行う

1. 生物の系統分類
2. 海岸生物の分類と学名
3. 播磨灘の自然
4. 播磨灘の生物
5. フィールドワーク1（海岸生物の調査）
6. フィールドワーク2（海岸生物の採集）
7. フィールドワーク3（海岸生物の分類）
8. フィールドワーク4（海岸生物の観察）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『磯の生き物図鑑』
必要に応じてプリントを配布する

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具、デジタルカメラ（あればよい）、動きやすく汚れてもよい服装、濡れてもよい靴、軍手、タオル、昼食、交通費など

《学生に対する評価》

授業態度および授業中に課すレポートの評点による総合評価

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：須磨海浜水族園学芸員

科目名	古文書学	担当教員	竹本 敬市
科目コード	70033	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

テーマ

日本史研究・教育に不可欠な古文書学に関する基礎的知識の理解と、地域史料として古文書を活用する能力の習得を主眼とする。

到達目標

- 1 日本の古代・中世・近世の史料に関する様式論、形態論、機能論などを学ぶ。
- 2 近世・近代を中心とする地方（じかた）史料の整理と保存・活用を学ぶ。
- 3 くずし字の解読方法について学ぶ。
- 4 古文書にもとづいた史料を教材として開発する方法、さらに博物館展示などの活用の仕方を学ぶ。

《授業計画》

1. 古文書の定義
2. 古代・中世・近世文書の形態・種類 文書の材料・形状・形態
3. 古文書の分類と様式 公家・武家・寺社・地方文書
4. 古文書の取り扱い 古文書閲覧の心得
5. 古文書の整理方法 古文書目録のとり方
6. 古文書の読み方 古文書の学習法
7. 古文書の整理と保存・活用 社会科教育と博物館の展示
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：「新版 古文書学入門」（佐藤進一著、法政大学出版局）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

提出物、試験、古文書の解読、古文書の取り扱いのスキルなどにより総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小、中、高等学校教諭、教育委員会指導主事、教育研修所長、教頭、校長としての勤務経験有

科目名	博物館資料保存論	担当教員	松下 正和
科目コード	70038	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

東日本大震災では、被災した博物館を支援する動きが、国から民間までの様々なレベルで全国展開した。また館内の被災資料対応にとどまらず、館外の被災した地域資料を受け入れ、一時保管し、応急処置し、整理するといった一連の流れの中で、資料を保全する担い手としての博物館機能が重要視されている。

博物館（屋内と屋外を問わず）における資料保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための修復に関する知識を習得し、また大規模な災害時においては、館内の資料とともに地域資料を保全しうる基礎的能力を養うことを目的とする。

《授業計画》

博物館資料の状態調査、保存環境、被災時の対策・平時からの防災対策、資料保存における博物館の役割などについて学ぶ。また、座学だけではなく、実物の歴史資料や被災資料の状態調査・応急処置体験や、防災に関するワークショップをおこなう予定である。

1. ガイダンス～文化財保護・修復の歴史
2. 文化財の材料と構造－資料の状態調査・現状把握
3. 博物館資料の保存環境（収蔵室と展示室）－温湿度・光、空調・空気汚染、生物被害とIPM
4. 資料の保全－修復と修理、梱包と輸送
5. 災害の防止と対策（火災、地震、風水害、津波、盗難等）
6. 博物館被害の実例－阪神淡路大震災から東日本大震災まで
7. 文化財の保存と活用
8. まとめ－博物館における資料保存の意義

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『文化財の保存環境』

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

資料取扱に関するスキルおよび提出物、試験などにより総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：被災地における被災文化財保全修復ボランティア、埋蔵文化財発掘調査、被災資料を保全する人材養成のワークショップ、大学・地域住民と連携した博物館展示業務に従事

科目名	博物館展示論	担当教員	佐名川 洋之
科目コード	70039	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

自然科学系の博物館を中心として、展示を構成する要素、企画段階から制作過程、完成後の利用までの各ステップにおいて、学芸員としての視点や関わり方を学ぶ。また、実際の博物館において展示評価の演習を行い、博物館展示や解説のあり方等について学び、展示とコミュニケーションについて、実践的で科学的な視点を養う。

《授業計画》

講義の主なテーマ

- ・博物館のあり方と学芸員
 - ・自然系博物館（動物園・水族館含む）の展示、日米比較
 - ・展示解説とコミュニケーション
 - ・展示評価（フィールドワークと演習）
1. 自然系博物館の展示と解説
 2. 自然系博物館の展示類型と日米比較
 3. 博物館展示とメディア・コミュニケーション
 4. 博物館展示の評価
 5. 博物館展示と評価の実際（フィールドワーク1）
 6. 博物館展示と評価の実際（フィールドワーク2）
 7. 博物館展示と評価の実際（フィールドワーク3）
 8. 博物館展示と評価の実際（フィールドワーク4）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『展示論－博物館の展示をつくる』
必要に応じて、プリントを配布する

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

デジタルカメラ（あればよい）、フィールドワークの交通費、入館料、昼食等

《学生に対する評価》

授業態度および授業中に課すレポートによる総合評価

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：須磨海浜水族園学芸員

科目名	博物館情報・メディア論	担当教員	松下 正和
科目コード	70041	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

実物資料の展示を主としていた博物館を取り巻く環境は、コンピュータやインターネットの登場による情報社会化に伴い、その情報の整理分類と保存様式に変化が生じている。このような ICT 社会の中において人と情報の出会いや旧来の知の構造も変化し、博物館もその対応が求められている。

この授業では、博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養うことを目的とする。また、現物の古文書史料を使って、その目録記述のあり方、デジタル化、簡易データベースの作成を行うことで、人文学系資料のドキュメンテーション方法を習得する。

《授業計画》

博物館における情報・メディアの理論・歴史・意義や、博物館におけるさまざまな情報発信のあり方、博物館と知的財産などについて講義をおこなう。また、座学だけではなく、古文書のデジタルカメラ撮影や目録カード取り、Excel への入力や簡易データベースの作成を行う予定である。

1. メディアの理論と歴史—メディアとしての博物館
2. 博物館活動の情報化（沿革、調査研究活動、展示・教育活動等）の現状と課題
3. 資料のドキュメンテーション—古文書の目録作成・デジタル撮影
4. 資料のドキュメンテーション—簡易データベース作成
5. デジタルアーカイブの現状と課題
6. 情報管理と情報公開
7. 知的財産権（著作権等）、個人情報（肖像権等）と権利処理の方法
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『展示論—博物館の展示をつくる』

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

USB メモリ

《学生に対する評価》

提出物、試験、ドキュメンテーションのスキルなどにより総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：被災地における被災文化財保全修復ボランティア、埋蔵文化財発掘調査、被災資料を保全する人材養成のワークショップ、大学・地域住民と連携した博物館展示業務に従事

XI . 保育教諭について

※科目別履修生（保育教諭コース）のみ対象です。

科 目 名	ページ
リズム表現	155
乳児保育	156

1. OCR提出による受講申請受付期間・開講科目及び開講日程について

○スクーリング受講申請受付期間

実施期	スクーリング開講期間	スクーリング受講申請受付期間
本校1期	令和5年8月1日(火)～9月30日(土)	令和5年6月5日(月)～6月19日(月)
本校2期	令和6年2月1日(木)～3月31日(日)	令和5年12月1日(金)～12月15日(金)

※上記の受付期間内に「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければ、スクーリング申請はできません。期間外の申請は、理由の如何を問わず受付ができません。受付は、締切日の消印有効です。

※学修サポートサイト(UniVision)にて受講申請を行う場合はpp.24～27をご確認ください(申請期間が異なります)。

○開講科目及び開講日程

◆本校スクーリング

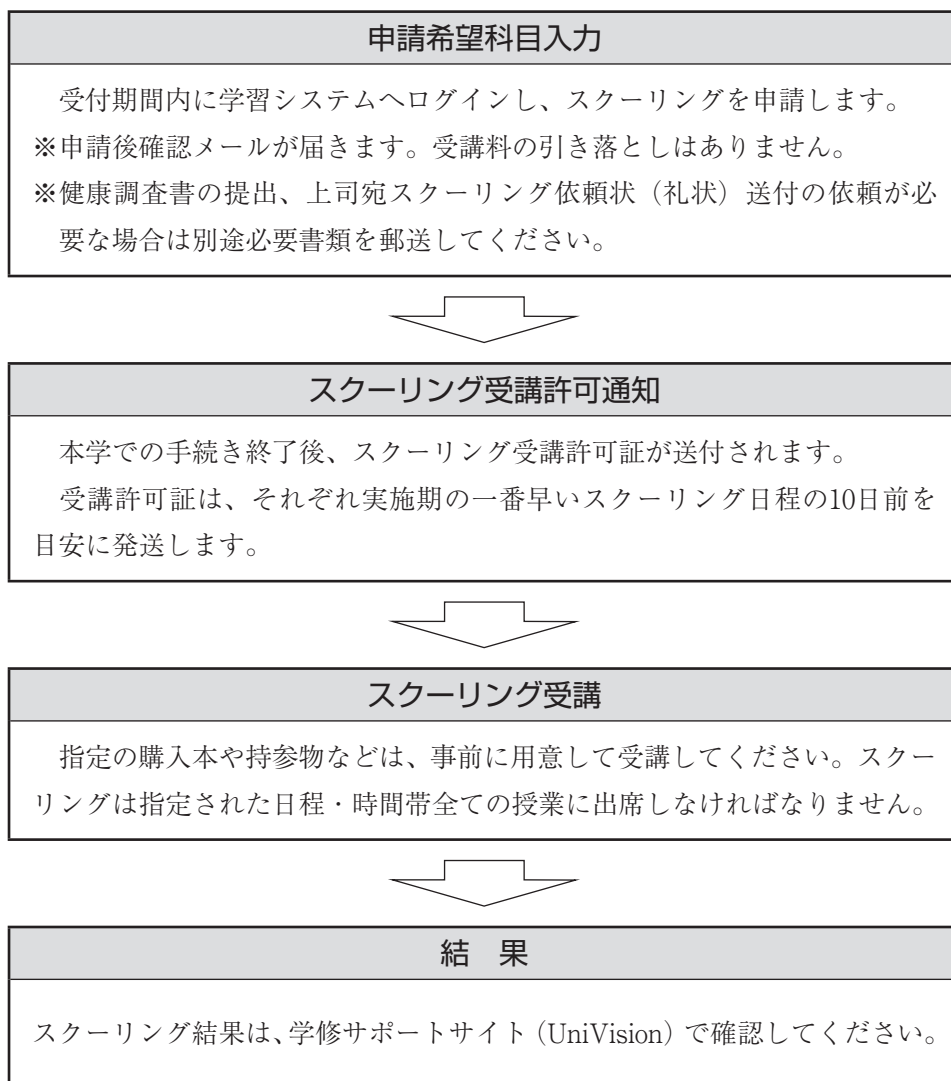
実施期	科目コード	科目名	開催日程
本校1期	20080	リズム表現	令和5年9月23日(土・祝) 9:00～18:00 令和5年9月24日(日) 9:00～13:00
	40047	乳児保育	令和5年9月17日(日) 14:00～18:00 令和5年9月18日(月・祝) 9:00～18:00
本校2期	20080	リズム表現	令和6年2月10日(土) 9:00～18:00 令和6年2月11日(日) 9:00～13:00
	40047	乳児保育	令和6年2月23日(金・祝) 14:00～18:00 令和6年2月24日(土) 9:00～18:00

※スクーリング受講料は、授業料に含まれているため納入は不要です。

2. 受講申請の方法

1 申請方法 学修サポートサイト (UniVision) による申請

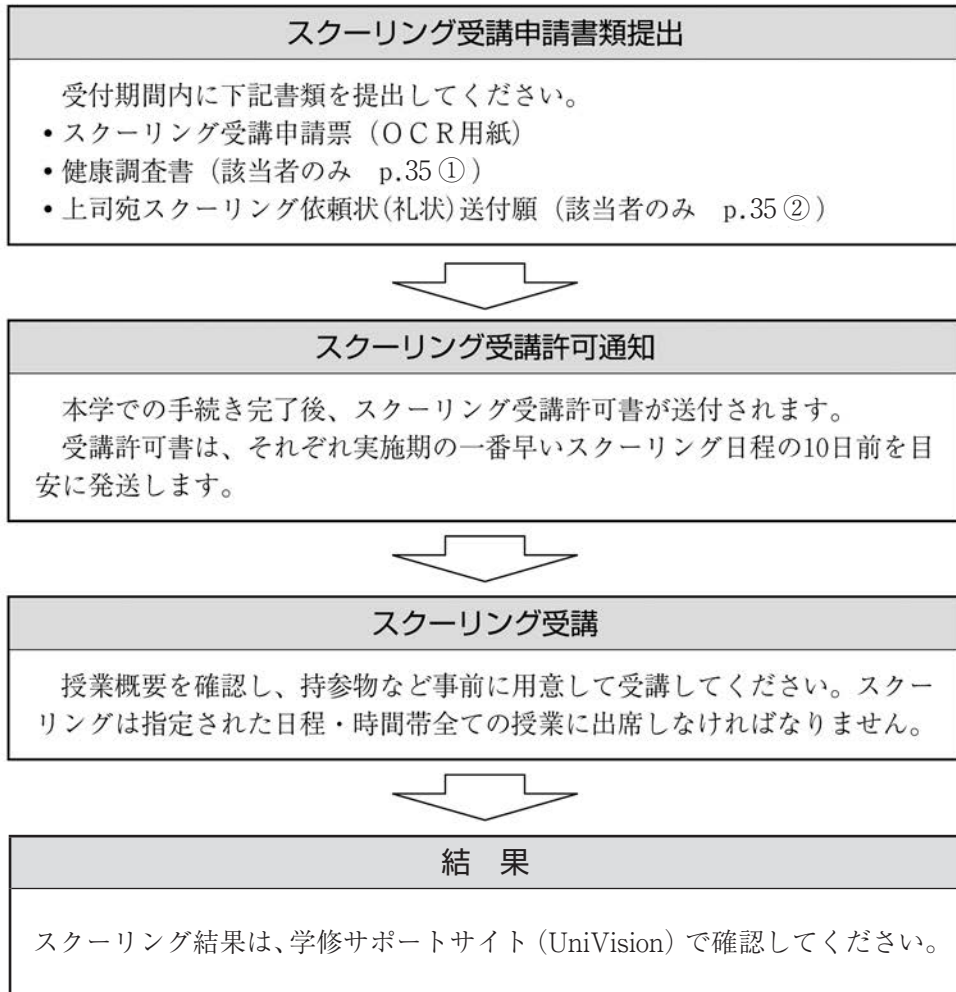
受講申請の流れ



※学修サポートサイト (UniVision) による受講申請手続きはpp.24～27をご確認ください。

2 申請方法 OCR提出による申請

(1) 受講申請の流れ



【注 意】

- 書類の不備・不足等があった場合は、受付ができませんので返却いたします。その際の連絡方法は、普通郵便での書面通知とし、電話連絡は一切いたしません。

(2) スクーリング受講申請時の提出書類 (OCR提出による受講申請)

①スクーリング受講申請票 [スクーリング受講申請票の記入方法]

- スクーリング受講申請票はOCR方式です。記入が不正確であれば電算機での判読はできないため、受講申請手続きをしても受講できない場合があります。記入後、必ず確認してください。
- 記入にあたっては、HBの鉛筆を使用し正確に記入してください。ボールペンや万年筆は使用不可です。また、誤って記入した部分を消す場合は、消しゴムであとが残らないようきれいに消してください。
- 枠には数字を正確に記入してください (申請票下部の数字記入例を参照してください)。

A71

スクーリング受講申請票

姫路大学 通信教育課程

スクーリング	0本校 1地方	実施期	
--------	---------	-----	--

学籍番号	フリガナ	氏名
------	------	----

所 属

電話番号 (携 帯)

振込票整理番号

No.	クラス	段階	科目コード	科 目 名	会場コード	会 場 名	受講料
1	⑥		⑦	⑧	⑨	⑩	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計							

(記入にあたっての注意)

①この帳票はコンピュータで処理するため、新ったり、汚したりしないこと。

②変更箇所(4桁以上)で記入すること。

③実施期・クラス・科目コード・科目名・会場コード・会場名・受講料は、スクーリングのしおりを参照し、正確に記入すること。

④段階は、「子どもと受講費戻し(ピアア)」の第1段階を受講する場合は「1」を、第2段階を受講する場合は「2」を記入すること。

⑤その他の科目を受講する場合は空欄にすること。

記入例 **0123456789C**

受 付	執 行	

折り返し厳禁

- ①本校:「0」を記入
- ②実施期:本校1期「01」
本校2期「02」
を記入
- ③学籍番号を記入
- ④氏名(フリガナ)を記入
- ⑤電話番号を記入
- ⑥クラス:「A」を記入
- ⑦科目コード:科目コードを
記入
- ⑧科目名:科目名を記入
- ⑨会場コード:「00000」
- ⑩会場名:姫路大学
- ※所属、振込票整理番号、段階、受講料は記入不用です。

3. 授業概要について

科目名	リズム表現	担当教員	藤重 育子
科目コード	20080	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講義では、子どもを対象とした表現遊びや表現運動を計画・実践するために必要な実践的力形成を目的とする。そのため、子どもの運動特性を理解したうえで、様々な表現遊びや表現運動を実際に行い、それらの指導上の留意点などについて説明する。また、実践力を高めるために、グループごとに簡単な表現遊びや表現運動を計画・実践し、お互いに評価しあうことも行う。

《授業計画》

1. 子どもの表現遊びとは
 2. うたあそび、リズムあそび①
 3. うたあそび、リズムあそび②
 4. 身体表現あそび①
 5. 身体表現あそび②
 6. 指導案作成と発表準備
 7. 表現遊びの発表①
 8. 表現遊びの発表②まとめ
- ※受講人数により変更する場合があります。

《テキスト・購入本》

特になし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動できる服装、ルーズリーフでないノート（B5もしくはA4）1冊、のり・はさみを含む文具一式、過去に「手遊びノート」等を作成したことのある人はそのノートも持参。

《学生に対する評価》

受講態度、発表の姿勢、提出物等を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	乳児保育	担当教員	國光 みどり
科目コード	40047	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりについて、実践的に理解する。
2. 養護及び教育の一体性を踏まえた3歳未満児の遊びや生活の環境構成等具体的な保育の保育方法について、実践的に理解する。
3. 乳児保育における援助・配慮の実際について具体的に理解する。
4. 乳児の健康・安全危機管理を踏まえた保育の実際を理解する。
5. 乳児保育の様々な計画を基礎とした指導案作成の方法を実践的に理解する。

《授業計画》

授業計画 スクーリングによる面接授業

1. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち
2. 個々の子どもに応じた援助、受容的・応答的な関わり
3. 0歳児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
4. 1～3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際（手作りおもちゃの立案、製作①）
5. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際（手作りおもちゃ製作②、発表・評価）
6. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
7. 子育て支援の連携法
8. 子育て支援事例研究

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『乳児保育Ⅰ』

購入本：厚生労働省『保育所保育指針解説』（最新版）（フレーベル館）

※その他講義内において適宜資料配布を行います。

《事前課題》

1. 配本テキスト第3章を熟読し、3歳未満児の発育・発達及び乳児の遊びと環境のあり方を理解してください。
2. 「1.」をふまえ、自分がスクーリング時に「手作りおもちゃ」を制作するための資料収集をしてください。図書館等で著書や保育雑誌を借りることができます。また、インターネットによる検索で様々な情報を得ることもできます。インターネットによる情報についてはそのまま使用するのではなく、自分自身が対象としたい子どもの発達を考慮し、インターネットの情報に必ずアレンジを加えてください。
3. 「手作りおもちゃ」の条件
 - 1) 必ず布を用いること。
 - 2) 色合いは子どもが認識しやすい原色（赤・黄・水・緑等）を使用する。※色落ちしない素材を選ぶ。
 - 3) 清潔を保つことのできるおもちゃ。（汚れたら洗濯することができる等）
 - 4) ボタン・飾り等がはずれたり取れたりして子どもが誤飲する事が無いよう安全面の工夫をする。

《学生持参品》

事前課題で収集した資料を基にし、授業内（2時間程度）に制作できるよう必要な資料、材料及び用具を忘れないよう持参してください。

《学生に対する評価》

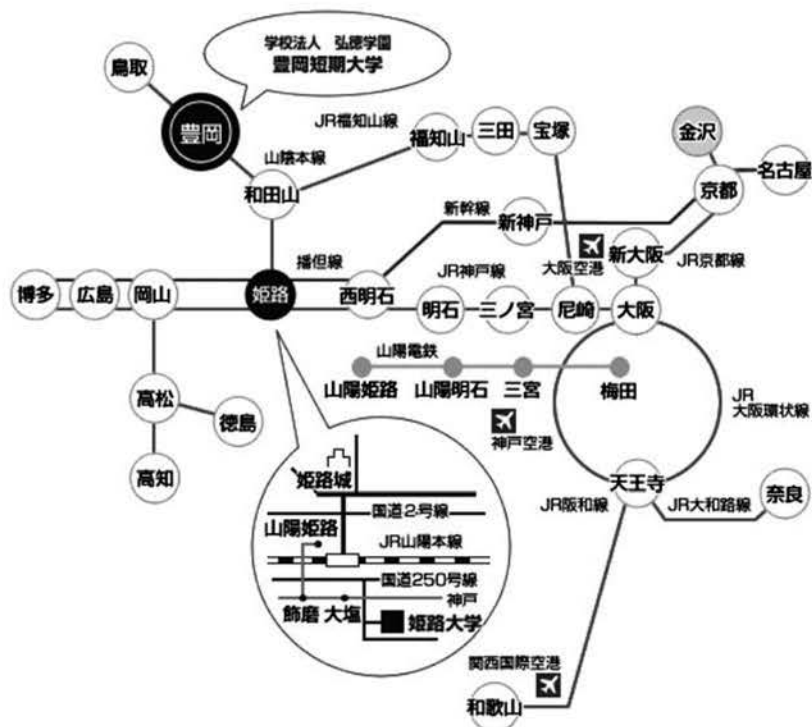
スクーリングにおける受講態度や提出物、単位認定試験結果等を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

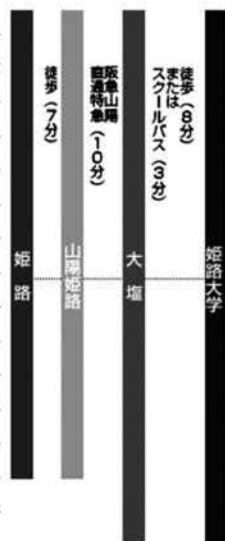
1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：幼稚園に14年、幼保連携型認定こども園に2年の実務経験有。
その間クラス持ち主任（2年）、専任副園長（4年）、園長（2年）に従事。

XII. 会場アクセス

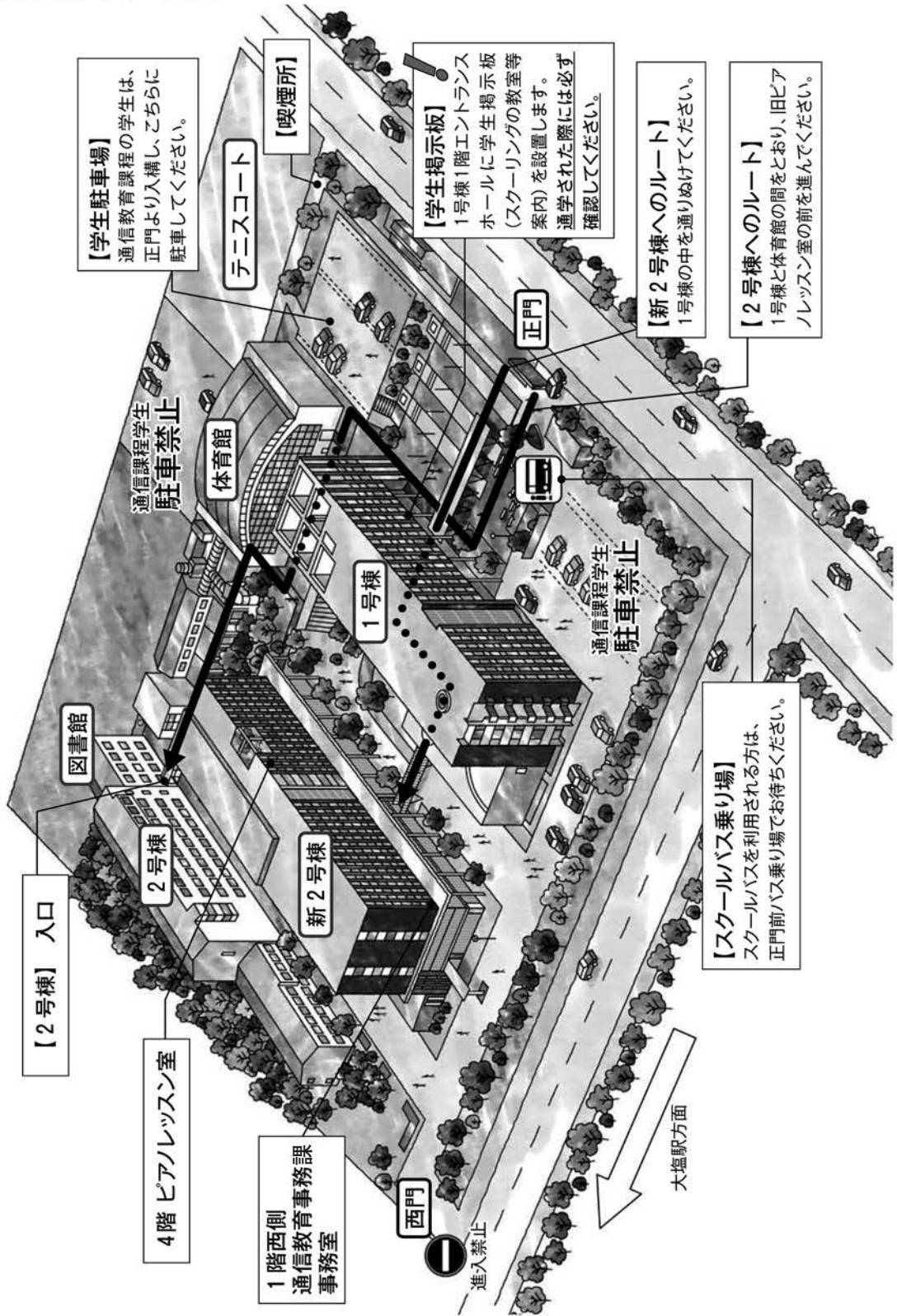
会場	住所	TEL
姫路大学	〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2	079-247-7393 (直通) 079-247-7301 (代表)



名古屋	新幹線のみ (85分)
京都	新幹線のみ (46分)
新大阪	新幹線のみ (30分)
新神戸	新幹線のみ (17分)
三ノ宮	JR山陽本線 (40分)
奈良	JRみやこ路 (41分) 京都下車・新幹線のみ (46分)
和歌山	JR特急オーシャンアロー (55分) 新大阪下車・新幹線のみ (30分)
金沢	JR特急サンダーバード (129分) 京都下車・新幹線のみ (46分)
鳥取	JR特急スーパーはくと (96分)
和田山	JR特急はまかぜ (66分)
岡山	新幹線のみ (21分)
高松	JR快速マリンライナー (55分) 岡山下車・新幹線のみ (21分)
広島	新幹線のみ (64分)
博多	新幹線のみ (138分)
梅田	阪神山陽直通特急 (78分)
三宮	阪神山陽直通特急 (49分)



姫路大学地図



【学生駐車場】
通信教育課程の学生は、
正門より入構し、こちらに
駐車してください。

【喫煙所】

【学生掲示場】
1号棟1階エントランス
ホールに学生掲示板
(スクーリングの教室等
案内)を設置します。
通学された際には必ず
確認してください。

【新2号棟へのルート】
1号棟の中を通りぬけてください。

【2号棟へのルート】
1号棟と体育館の間をとり、旧ピア
ノレッスン室の前を進んでください。

【2号棟】入口

4階ピアノレッスン室

**1階西側
通信教育事務課
事務室**

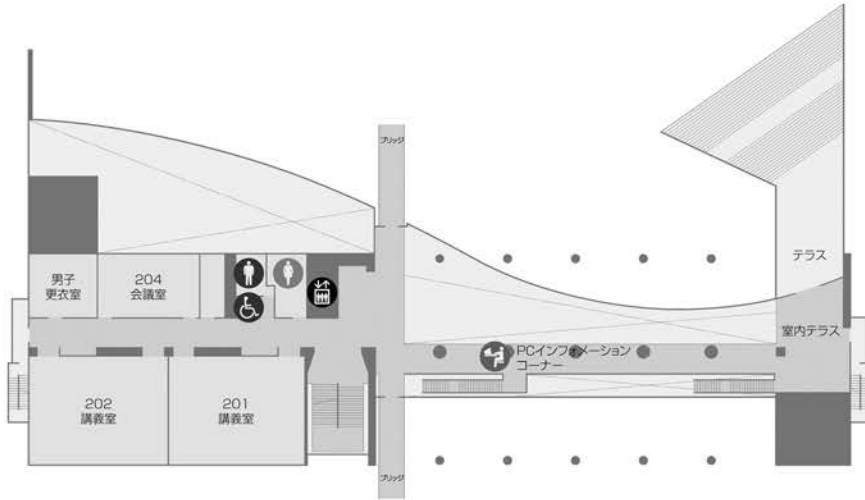
西門
進入禁止

進入禁止

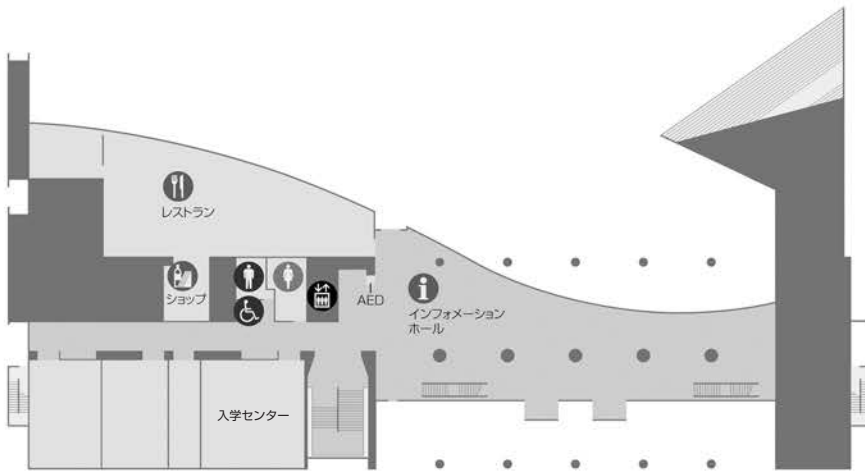
大塩駅方面

【スクールバス乗り場】
スクールバスを利用される方は、
正門前バス乗り場でお待ちください。

1号棟

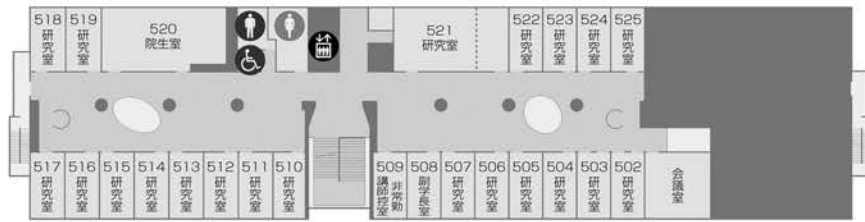


2_F

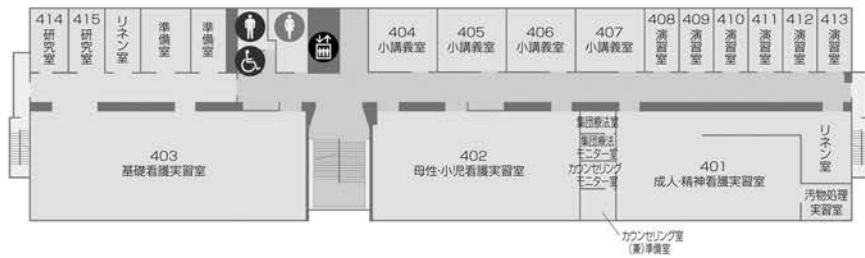


1_F

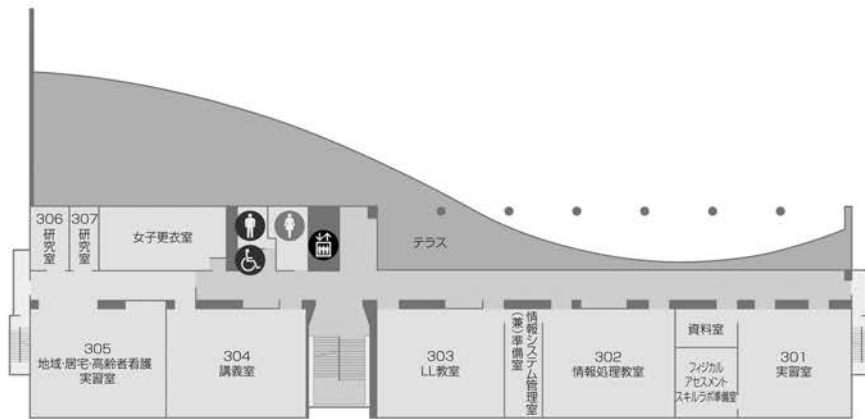
1号棟



5F

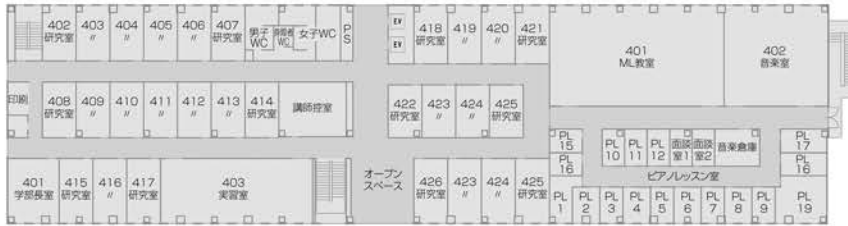


4F



3F

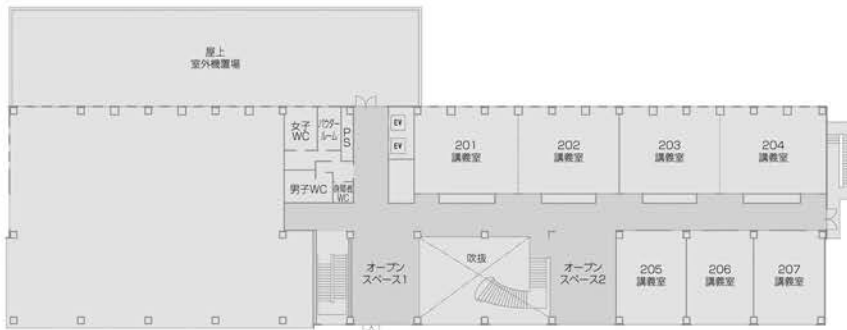
新2号棟



4_F



3_F

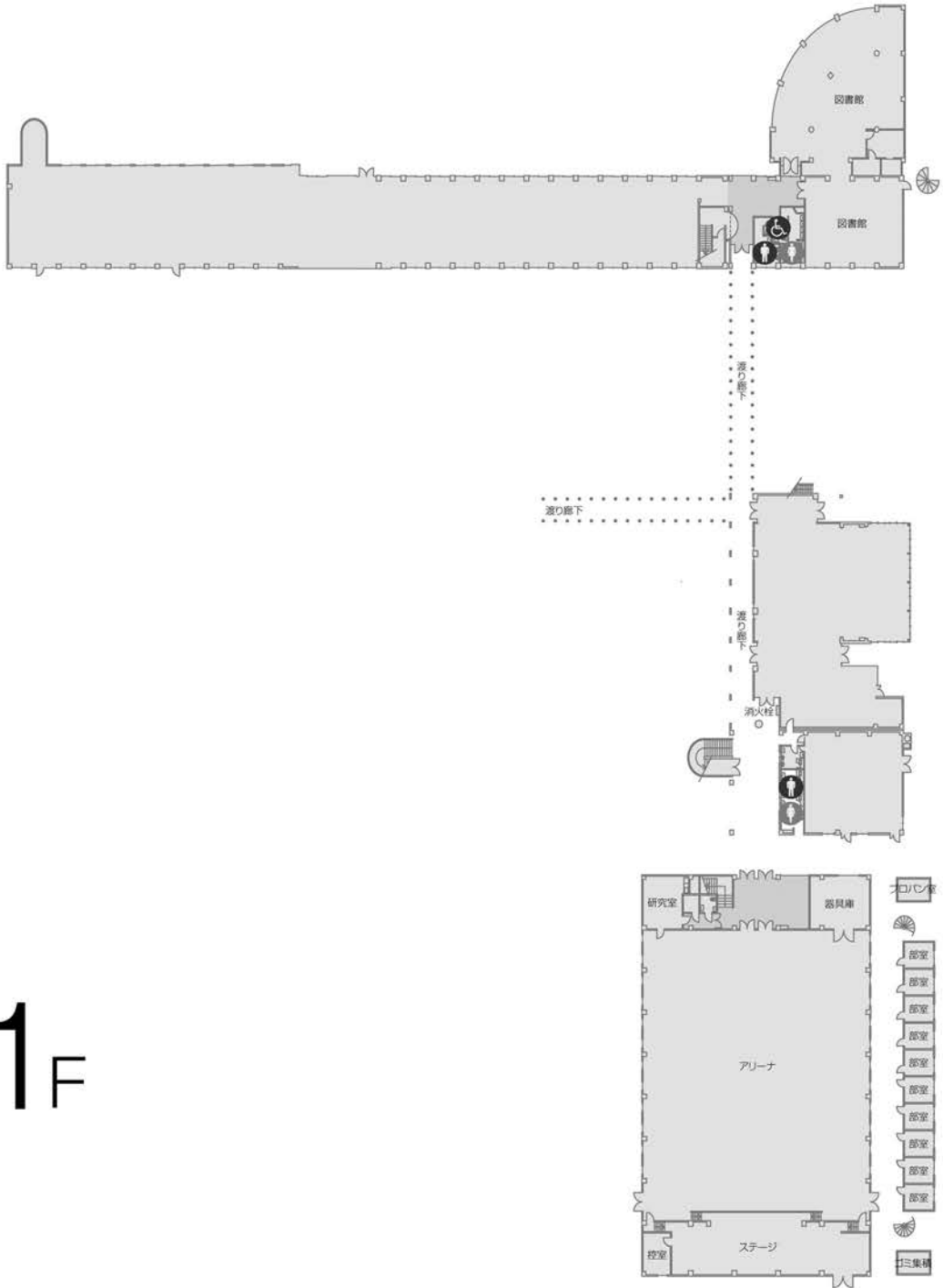


2_F



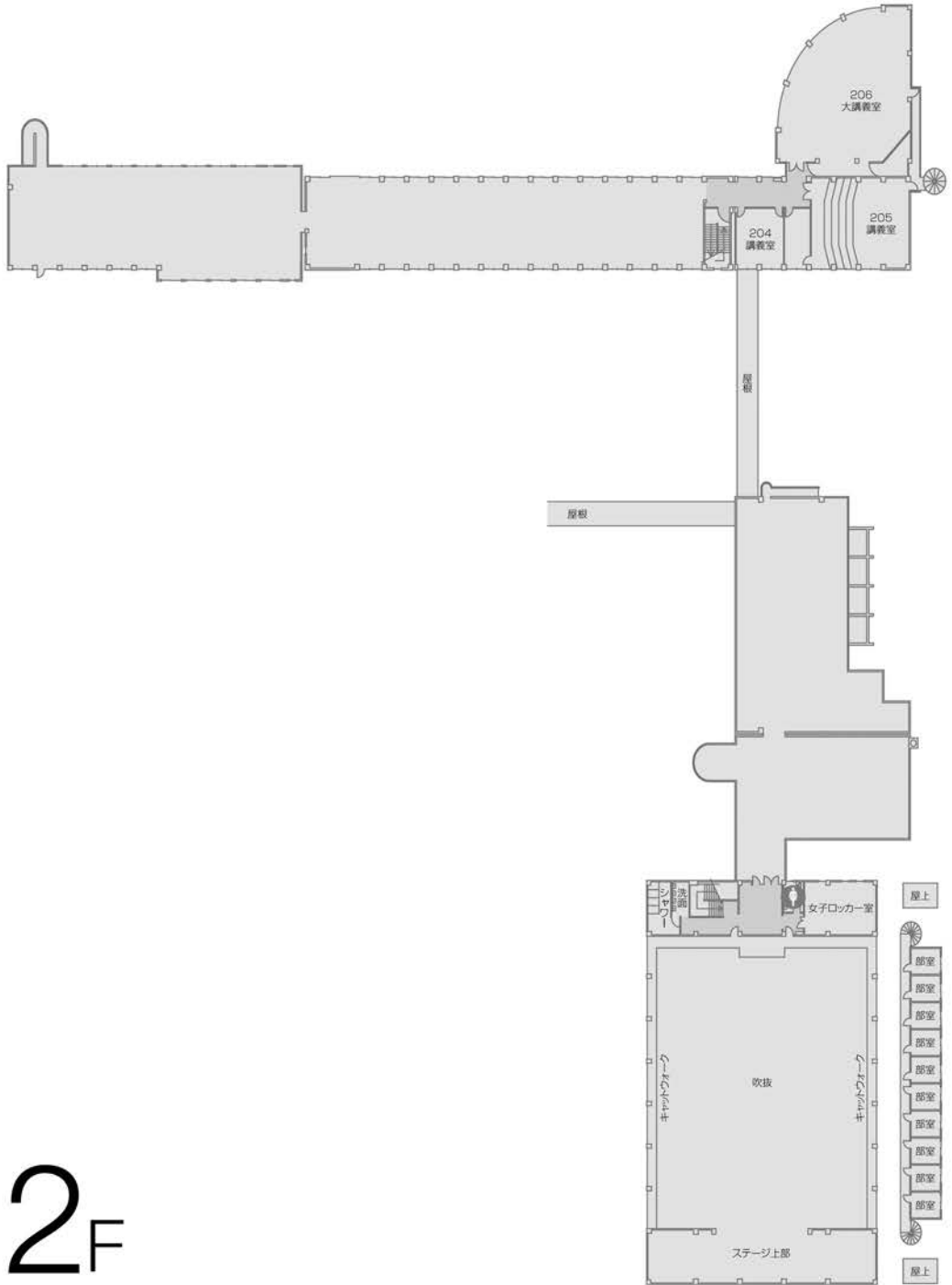
1_F

2号棟



1F

2号棟



2_F

XIII . 各種手続き用紙について

遠隔授業受講申請書（見本）	1 枚
遠隔授業受講申請書	3 枚
スクーリング欠席届	5 枚
本校スクーリング 健康調査書	3 枚
上司宛スクーリング依頼状（礼状）送付願	2 枚
諸経費納入整理票（3連綴り）	2 枚
日常健康チェック表	3 枚

※上記書類が不足する場合は、該当ページをコピーして利用してください。

遠隔授業受講申請書（見本）

遠隔授業受講申請書（遠隔で開講する科目を受講する場合必ず提出が必要です。）

スクーリング受講申請期間内に提出してください。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 当日連絡可能な電話番号 _____ 本校 1 期申請

p.44に記載の【遠隔授業受講要件】①～⑥、pp.17～20の記載事項を遵守できる場合のみ学校以外の場所で遠隔授業を受講することが可能です。「遠隔授業」対象科目を受講する場合、下記質問事項へ回答してください。必要に応じて「○」の記入、回答を記載してください。※同一科目で1日目と2日目で受講場所が異なる場合それぞれ記入してください。

NO	①遠隔授業受講科目名	②受講日時	③受講場所	④使用機器	⑤教員によるオリエンテーションの有無 ※ pp.17～26「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑥「⑤」で有の場合オリエンテーション日程 ※ pp.17～26「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑦「⑤」で有の場合受講は可能か	⑧「⑤」で有の場合オリエンテーション受講場所 ※教員によるオリエンテーションは必ず受講してください。	⑨科目ごとに準備物（必携品）、必要な環境等（大声で歌を歌うことができる等）が定められている場合、環境が整っている。 ※ pp.17～26「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑩その他連絡、質問等
例	音楽Ⅲ（声楽）	8/7（土）9：00～18：00 8/8（日）9：00～13：00	大学の通信機器を使用して受講する場合は必ずこちらに「○」を記入してください。	スマートフォン 大学の端末	有 ・ 無	後日決定	可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例	外国語（英語）指導法	8/18（水）14：00～18：00	自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無	オリエンテーションの実施日を転記してください。現時点で開催日程が未定の場合は「後日決定」と記載してください。後日通知された日程にて必ず参加してください。	不可能 た場合この科目	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	8/18は午前中に対面で実施される「図工科指導法」の受講を予定しているため初日のみ学校で遠隔授業を受講する。	
例	外国語（英語）指導法	8/19（木）9：00～18：00	自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		不可能 た場合この科目	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	事務に伝えておきたいこと、質問等を記載してください。内容によっては回答にお時間をいただく場合があります。	
例	社会科指導法	9/15（水）14：00～18：00 9/16（木）9：00～18：00	自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無	9/4（土）14：00～	可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例	音楽Ⅱ（ピアノ）	9/8（水）9：00～18：00	大学 その他（自宅近くのピアノレッスン室）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無	9/1（水）18：00～	可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン 大学の端末	有 ・ 無		不可能 た場合この科目	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例			自宅 大学 その他（ ）	スマートフォン 大学の端末	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例			大学 その他（ ）	スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		
例			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。	整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。		

1つの科目でも、1日目と2日目の受講場所が異なる場合、それぞれ別の枠に記入してください。

大学へ来校し受講するが使用端末は自分のものを使用する場合。

自宅や学校以外の場所で遠隔授業を受講される場合は具体的な場所を記載してください。発言ができる場所（声を出さることができる場所）、通信環境が整っていることが条件です。

オリエンテーションの実施日を転記してください。こちらに転記した日程のオリエンテーションに必ず参加してください。

遠隔授業受講申請書（遠隔で開講する科目を受講する場合必ず提出が必要です。）

スクーリング受講申請期間内に提出してください。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 当日連絡可能な電話番号 _____ 本校 _____ 期申請 _____

p.44に記載の【遠隔授業受講要件】①～⑥、pp.17～20の記載事項を遵守できる場合のみ学校以外の場所で遠隔授業を受講することが可能です。「遠隔授業」対象科目を受講する場合、下記質問事項へ回答してください。必要に応じて「○」の記入、回答を記載してください。※同一科目で1日目と2日目で受講場所が異なる場合それぞれ記入してください。

NO	①遠隔授業受講科目名	②受講日時	③受講場所	④使用機器	⑤教員によるオリエンテーションの有無 ※ pp.17～26「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑥「⑤」で有の場合オリエンテーション日程 ※ pp.17～26「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑦「⑤」で有の場合受講は可能か	⑧「⑥」で有の場合オリエンテーション受講場所 ※教員によるオリエンテーションは必ず受講してください。	⑨科目ごとに準備物（必携品）、必要な環境等（大声で歌を歌うことができる等）が定められている場合、環境が整っている。 ※ pp.17～26「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑩その他連絡、質問等
1			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
2			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
3			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
4			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
5			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
6			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
7			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
8			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
9			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
10			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
11			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
12			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
13			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
14			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
15			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	

（この線で切り取って使用してください。）

遠隔授業受講申請書（遠隔で開講する科目を受講する場合必ず提出が必要です。）

スクーリング受講申請期間内に提出してください。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 当日連絡可能な電話番号 _____ 本校 _____ 期申請 _____

p.44に記載の【遠隔授業受講要件】①～⑥、pp.17～20の記載事項を遵守できる場合のみ学校以外の場所で遠隔授業を受講することが可能です。「遠隔授業」対象科目を受講する場合、下記質問事項へ回答してください。必要に応じて「○」の記入、回答を記載してください。※同一科目で1日目と2日目で受講場所が異なる場合それぞれ記入してください。

NO	①遠隔授業受講科目名	②受講日時	③受講場所	④使用機器	⑤教員によるオリエンテーションの有無 ※ pp.17～20「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑥「⑤」で有の場合オリエンテーション日程 ※ pp.17～20「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑦「⑤」で有の場合受講は可能か	⑧「⑥」で有の場合オリエンテーション受講場所 ※教員によるオリエンテーションは必ず受講してください。	⑨科目ごとに準備物（必携品）、必要な環境等（大声で歌を歌うことができる等）が定められている場合、環境が整っている。 ※ pp.17～20「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑩その他連絡、質問等
1			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
2			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
3			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
4			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
5			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
6			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
7			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
8			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
9			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
10			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
11			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
12			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
13			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
14			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
15			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	

（この線で切り取って使用してください。）

遠隔授業受講申請書（遠隔で開講する科目を受講する場合必ず提出が必要です。）

スクーリング受講申請期間内に提出してください。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 当日連絡可能な電話番号 _____ 本校 _____ 期申請 _____

p.44に記載の【遠隔授業受講要件】①～⑥、pp.17～20の記載事項を遵守できる場合のみ学校以外の場所で遠隔授業を受講することが可能です。「遠隔授業」対象科目を受講する場合、下記質問事項へ回答してください。必要に応じて「○」の記入、回答を記載してください。※同一科目で1日目と2日目で受講場所が異なる場合それぞれ記入してください。

NO	①遠隔授業受講科目名	②受講日時	③受講場所	④使用機器	⑤教員によるオリエンテーションの有無 ※ pp.17～20「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑥「⑤」で有の場合オリエンテーション日程 ※ pp.17～20「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑦「⑤」で有の場合受講は可能か	⑧「⑥」で有の場合オリエンテーション受講場所 ※教員によるオリエンテーションは必ず受講してください。	⑨科目ごとに準備物（必携品）、必要な環境等（大声で歌を歌うことができる等）が定められている場合、環境が整っている。 ※ pp.17～20「遠隔授業」対象科目記載事項参照	⑩その他連絡、質問等
1			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
2			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
3			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
4			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
5			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
6			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
7			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
8			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
9			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
10			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
11			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
12			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
13			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
14			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	
15			自宅 大学 その他（ ）	パソコン・スマートフォン タブレット・大学の端末 その他（ ）	有 ・ 無		可能 ・ 不可能 ※不可能と回答された場合この科目は受講できません。		整っている ・ 整っていない ※整っていないと回答された場合この科目は大学以外の場所では受講できません。	

（この線で切り取って使用してください。）

スクーリング欠席届

(令和 年 月 日)

学籍番号			
氏名			
所属学校名 (該当者のみ記入)			
現住所	〒	—	電話番号 (携帯)

受講申込みをしましたが、私事のため欠席しますので、 次のとおり受講料の返金をお願いします。			
欠席する科目	欠席する期日	受講会場	
例) スポーツ (実技)	8/10 ~ 8/12	姫路大学	
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
上記の科目の受講時期	本校	期	
受講時期中の欠席届の提出 ※どちらかをチェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 初回→現金書留封筒を同封して下さい。		
	<input type="checkbox"/> 2回目以降→現金書留封筒の提出は不要です。		
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	※事前連絡 ・なし ・あり / FAX・メール

(この線で切り取って使用してください。)

※ご記入いただいた住所氏名等の個人情報は、本手続き処理以外には使用いたしません。
 ※返金の際、内訳の通知はおこないませんので、各自本控えを保管してください。

スクーリング欠席届

(令和 年 月 日)

学籍番号			
氏名			
所属学校名 (該当者のみ記入)			
現住所	〒	—	電話番号 (携帯)

受講申込みをしましたが、私事のため欠席しますので、 次のとおり受講料の返金をお願いします。			
欠席する科目	欠席する期日	受講会場	
例) スポーツ (実技)	8/10 ~ 8/12	姫路大学	
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
上記の科目の受講時期	本校	期	
受講時期中の欠席届の提出 ※どちらかをチェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 初回→現金書留封筒を同封して下さい。		
	<input type="checkbox"/> 2回目以降→現金書留封筒の提出は不要です。		
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	※事前連絡 ・なし ・あり / FAX・メール

(この線で切り取って使用してください。)

※ご記入いただいた住所氏名等の個人情報は、本手続き処理以外には使用いたしません。
 ※返金の際、内訳の通知はおこないませんので、各自本控えを保管してください。

スクーリング欠席届

(令和 年 月 日)

学籍番号			
氏名			
所属学校名 (該当者のみ記入)			
現住所	〒	—	電話番号 (携帯)

受講申込みをしましたが、私事のため欠席しますので、 次のとおり受講料の返金をお願いします。			
欠席する科目	欠席する期日	受講会場	
例) スポーツ (実技)	8/10 ~ 8/12	姫路大学	
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
上記の科目の受講時期	本校	期	
受講時期中の欠席届の提出 ※どちらかをチェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 初回→現金書留封筒を同封して下さい。		
	<input type="checkbox"/> 2回目以降→現金書留封筒の提出は不要です。		
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	※事前連絡 ・なし ・あり / FAX・メール

(この線で切り取って使用してください。)

※ご記入いただいた住所氏名等の個人情報は、本手続き処理以外には使用いたしません。
 ※返金の際、内訳の通知はおこないませんので、各自本控えを保管してください。

スクーリング欠席届

(令和 年 月 日)

学籍番号			
氏名			
所属学校名 (該当者のみ記入)			
現住所	〒	—	電話番号 (携帯)

受講申込みをしましたが、私事のため欠席しますので、 次のとおり受講料の返金をお願いします。			
欠席する科目	欠席する期日	受講会場	
例) スポーツ (実技)	8/10 ~ 8/12	姫路大学	
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
上記の科目の受講時期	本校	期	
受講時期中の欠席届の提出 ※どちらかをチェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 初回→現金書留封筒を同封して下さい。		
	<input type="checkbox"/> 2回目以降→現金書留封筒の提出は不要です。		
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	※事前連絡 ・なし ・あり / FAX・メール

(この線で切り取って使用してください。)

※ご記入いただいた住所氏名等の個人情報は、本手続き処理以外には使用いたしません。
 ※返金の際、内訳の通知はおこないませんので、各自本控えを保管してください。

スクーリング欠席届

(令和 年 月 日)

学籍番号			
氏名			
所属学校名 (該当者のみ記入)			
現住所	〒	—	電話番号 (携帯)

受講申込みをしましたが、私事のため欠席しますので、 次のとおり受講料の返金をお願いします。			
欠席する科目	欠席する期日	受講会場	
例) スポーツ (実技)	8/10 ~ 8/12	姫路大学	
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
上記の科目の受講時期	本校	期	
受講時期中の欠席届の提出 ※どちらかをチェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 初回→現金書留封筒を同封して下さい。		
	<input type="checkbox"/> 2回目以降→現金書留封筒の提出は不要です。		
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	※事前連絡 ・なし ・あり / FAX・メール

(この線で切り取って使用してください。)

※ご記入いただいた住所氏名等の個人情報は、本手続き処理以外には使用いたしません。
 ※返金の際、内訳の通知はおこないませんので、各自本控えを保管してください。

(持病のある方など、事前に提出した方がよい方のみ提出してください。)

本校()期スクーリング 健康調査書

本校スクーリング中の健康管理の為あなたの健康について調査します。

下記の事項について、記入してください。

- 現在治療している病気がありますか。あればその病名と治療法を記入してください。
 - はい 病名() 例：高血圧
治療法() 例：薬を飲んでいる。薬品名
 - いいえ
- 以前治療していた病気やその症状が今でもおこることがありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
 - はい 病名・症状() 例：腰痛
対処法() 例：コルセット装着
 - いいえ
- 治療はしていないが、かかりやすい病気やおこしやすい症状がありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
 - はい 病名・症状() 例：頭痛
対処法() 例：冷やす。薬を飲む。
 - いいえ
- その他、健康上の不安や悩みがありましたら、記入してください。

()

学籍番号		氏名	
所属学校名 (該当者のみ記入)			
スクーリング期間中の 連絡先	宿舎名		どちらかにご記入ください
	電話	()	
	携帯番号		
受講日			
受講科目			

※ 各科目ごとに1枚記入してください。不足する場合は各自コピーをしてご利用ください。

※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報、本手続処理以外には使用いたしません。

(この線で切り取って使用してください。)

(持病のある方など、事前に提出した方がよい方のみ提出してください。)

本校()期スクーリング 健康調査書

本校スクーリング中の健康管理の為あなたの健康について調査します。

下記の事項について、記入してください。

- 現在治療している病気がありますか。あればその病名と治療法を記入してください。
 - はい 病名() 例：高血圧
治療法() 例：薬を飲んでいる。薬品名
 - いいえ
- 以前治療していた病気やその症状が今でもおこることがありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
 - はい 病名・症状() 例：腰痛
対処法() 例：コルセット装着
 - いいえ
- 治療はしていないが、かかりやすい病気やおこしやすい症状がありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
 - はい 病名・症状() 例：頭痛
対処法() 例：冷やす。薬を飲む。
 - いいえ
- その他、健康上の不安や悩みがありましたら、記入してください。

()

学籍番号		氏名	
所属学校名 (該当者のみ記入)			
スクーリング期間中の 連絡先	宿舎名		どちらかにご記入ください
	電話番号	()	
受講日			
受講科目			

※ 各科目ごとに1枚記入してください。不足する場合は各自コピーをしてご利用ください。
※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報、本手続処理以外には使用いたしません。

(この線で切り取って使用してください。)

(持病のある方など、事前に提出した方がよい方のみ提出してください。)

本校()期スクーリング 健康調査書

本校スクーリング中の健康管理の為あなたの健康について調査します。

下記の事項について、記入してください。

- 現在治療している病気がありますか。あればその病名と治療法を記入してください。
 - はい 病名() 例：高血圧
治療法() 例：薬を飲んでいる。薬品名
 - いいえ
- 以前治療していた病気やその症状が今でもおこることがありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
 - はい 病名・症状() 例：腰痛
対処法() 例：コルセット装着
 - いいえ
- 治療はしていないが、かかりやすい病気やおこしやすい症状がありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
 - はい 病名・症状() 例：頭痛
対処法() 例：冷やす。薬を飲む。
 - いいえ
- その他、健康上の不安や悩みがありましたら、記入してください。

()

学籍番号		氏名	
所属学校名 (該当者のみ記入)			
スクーリング期間中の 連絡先	宿舎名		
	電話	()	どちらかにご記入ください
	携帯番号		
受講日			
受講科目			

※ 各科目ごとに1枚記入してください。不足する場合は各自コピーをしてご利用ください。

※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報、本手続処理以外には使用いたしません。

(この線で切り取って使用してください。)

上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願

(令和 年 月 日提出)

学 籍 番 号			
氏 名			
現 住 所	〒 -		
電 話 番 号			
この度、スクーリングに出席するにあたり、大学より下記の通り依頼状(礼状)を送付して下さるようお願いします。			
送 付 先	勤 務 先 の 住 所	〒 - TEL() -	
	勤 務 先 名 称 (会 社 名 など)		
	上 司 の 職 名 と 氏 名	職 名	氏 名
発 行 希 望 書 類	希望する内容にチェックをつけてください。		発行手数料 返信用封筒
	<input type="checkbox"/> 依頼状の発行を希望する		500円 1 通
	<input type="checkbox"/> 礼状の発行を希望する		500円 1 通
	<input type="checkbox"/> 依頼状・礼状の両方の発行を希望する		1000円 2 通
発行を希望する実施期	本校 期		
※スクーリング受講日については、受講申請をもとに記入します。			
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	

(この線で切り取って使用してください。)

※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報は、本手続処理以外には使用いたしません。

上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願

(令和 年 月 日提出)

学 籍 番 号			
氏 名			
現 住 所	〒 -		
電 話 番 号			
この度、スクーリングに出席するにあたり、大学より下記の通り依頼状(礼状)を送付して下さるようお願いします。			
送 付 先	勤 務 先 の 住 所	〒 - TEL() -	
	勤 務 先 名 称 (会 社 名 など)		
	上 司 の 職 名 と 氏 名	職 名	氏 名
発 行 希 望 書 類	希望する内容にチェックをつけてください。		発行手数料 返信用封筒
	<input type="checkbox"/> 依頼状の発行を希望する		500円 1 通
	<input type="checkbox"/> 礼状の発行を希望する		500円 1 通
	<input type="checkbox"/> 依頼状・礼状の両方の発行を希望する		1000円 2 通
発行を希望する実施期	本校 期		
※スクーリング受講日については、受講申請をもとに記入します。			
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	

(この線で切り取って使用してください。)

※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報は、本手続処理以外には使用いたしません。

(。5050)の線で切り取って使用してください。

諸経費納入整理票

【通信教育事務課】 年 月 日

学籍番号	年	
氏名	年	
項目	単価(円)	通数
学生証(身分証明書)再発行手数料		
証明書		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
()	()	()
テキスト		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
補助教材		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
合計金額	円	
領収No.	受領印	
備考		

※金額等訂正したものは無効です。記入間違いが生じた場合は再度作成してください。
 ※ボールペンで記入してください。
 ※3連で1組になりますので、3連とも記入してください。
 ※記載の個人情報(目的以外)には使用しません。

諸経費納入整理票

【経理・財務課】 年 月 日

学籍番号	年	
氏名	年	
項目	単価(円)	通数
学生証(身分証明書)再発行手数料		
証明書		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
()	()	()
テキスト		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
補助教材		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
合計金額	円	
領収No.	受領印	
備考		

※金額等訂正したものは無効です。記入間違いが生じた場合は再度作成してください。
 ※ボールペンで記入してください。
 ※3連で1組になりますので、3連とも記入してください。
 ※記載の個人情報(目的以外)には使用しません。

領収書

【本人送付用】 年 月 日

学籍番号	年	
氏名	年	
項目	単価(円)	通数
学生証(身分証明書)再発行手数料		
証明書		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
()	()	()
テキスト		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
補助教材		
()	()	()
()	()	()
()	()	()
合計金額	円	
領収No.	受領印	
備考		

※金額等訂正したものは無効です。記入間違いが生じた場合は再度作成してください。
 ※ボールペンで記入してください。
 ※3連で1組になりますので、3連とも記入してください。
 ※記載の個人情報(目的以外)には使用しません。

(。5。6。7。8。9。0)の線で切り取って使用してください。

諸経費納入整理票

【通信教育事務課】 年 月 日

学籍番号	年 月 日	
氏名	年	通数
項目	単価(円)	通数
学生証(身分証明書)再発行手数料		
証明書		
()		
()		
()		
()		
テキスト		
()		
()		
()		
補助教材		
()		
()		
()		
合計金額	円	
領収No.	受領印	
備考		

※金額等訂正したものは無効です。記入間違いが生じた場合は再度作成してください。
 ※ボールペンで記入してください。
 ※3連で1組になりますので、3連とも記入してください。
 ※記載の個人情報(目的以外)には使用しません。

諸経費納入整理票

【経理・財務課】 年 月 日

学籍番号	年 月 日	
氏名	年	通数
項目	単価(円)	通数
学生証(身分証明書)再発行手数料		
証明書		
()		
()		
()		
()		
テキスト		
()		
()		
()		
補助教材		
()		
()		
()		
合計金額	円	
領収No.	受領印	
備考		

※金額等訂正したものは無効です。記入間違いが生じた場合は再度作成してください。
 ※ボールペンで記入してください。
 ※3連で1組になりますので、3連とも記入してください。
 ※記載の個人情報(目的以外)には使用しません。

領収書

【本人送付用】 年 月 日

学籍番号	年 月 日	
氏名	年	通数
項目	単価(円)	通数
学生証(身分証明書)再発行手数料		
証明書		
()		
()		
()		
()		
テキスト		
()		
()		
()		
補助教材		
()		
()		
()		
合計金額	円	
領収No.	受領印	
備考		

※金額等訂正したものは無効です。記入間違いが生じた場合は再度作成してください。
 ※ボールペンで記入してください。
 ※3連で1組になりますので、3連とも記入してください。
 ※記載の個人情報(目的以外)には使用しません。

日常健康チェック表

所属 通信教育課程 学籍番号 _____ 氏名 _____

・毎日朝夕2回体温を測定し、症状があるときは✓してください。

日付	/	/	/	/	/	/	/
日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							

日付	/	/	/	/	/	/	/
日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							

(この線で切り取って使用してください。)

日常健康チェック表

所属 通信教育課程 学籍番号 _____ 氏名 _____

・毎日朝夕2回体温を測定し、症状があるときは✓してください。

日付	/	/	/	/	/	/	/
日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							

日付	/	/	/	/	/	/	/
日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							

（この線で切り取って使用してください。）

日常健康チェック表

所属 通信教育課程 学籍番号 _____ 氏名 _____

・毎日朝夕2回体温を測定し、症状があるときは✓してください。

日付	/	/	/	/	/	/	/
日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							

日付	/	/	/	/	/	/	/
日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							
体温	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃	時分 ℃
倦怠感(だるさ)							
頭痛							
関節・筋肉痛							
息苦しさ							
咽頭痛							
咳・くしゃみ							
嗅覚障害							
味覚障害							
吐き気・嘔吐							
下痢							
その他の症状							

(この線で切り取って使用してください。)

姫路大学

通信教育課程

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2
TEL 079-247-7393 (直通)
TEL 079-247-7301 (代表)
FAX 079-247-7394
E-mail kyoiku@koutoku.ac.jp